

2011 Year's Report

一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団

目 次

平成23年度 財団ハイライト	1
事業ピックアップ	2

① ドーンセンター情報ライブラリー	2
② 女性のための電話・面接相談	4
③ 「啓発講座事業」	12
④ 「情報」「相談」「啓発」事業の連携	14
⑤ 「Women Pioneers—女性先駆者たち」	16
⑥ 「女性芸術劇場と文化表現」	18
⑦ 「東日本大震災被災者支援」	20

§ 1 財団の概要	22
-----------	----

§ 2 財団の運営	25
-----------	----

- 1 理事会の開催
- 2 評議員選定委員会の開催
- 3 プロジェクト2011
- 4 他機関との連携
- 5 職員研修の実施

§ 3 広報・PR	28
-----------	----

- 1 広報事業
- 2 賛助会・サポーター制度運営
- 3 視察の受入れ

§ 4 事業概要	
----------	--

1 大阪府男女共同参画推進事業	35
-----------------	----

- 1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業 【大阪府（府民文化部）受託事業】
- 2 女性の抱える問題に関する相談事業 【大阪府（府民文化部）受託事業】
- 3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業 【大阪府（府民文化部）受託事業】

2 女性のキャリア形成支援事業（女性の能力開発・ネットワーク事業）	54
-----------------------------------	----

- 1 働く女性の仕事塾「はなみずきキャリア塾Ⅲ」 【在日米国商工会議所（ACCJ）関西支部助成事業】
- 2 はなみずきキャリア塾：特別編 【はなみずき基金事業】
- 3 はなみずきキャリア塾：ポッドキャストプロジェクト 【はなみずき基金事業】
- 4 はなみずきツアー 【はなみずき基金事業】

3 経済的に困難な女性のための就労支援事業（女性の能力開発・ネットワーク事業）	61
---	----

- 1 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練 【大阪府（商工労働部）受託事業】
- 2 働きづらさに悩む若い女性のためのしごと準備講座 【マイクロソフト株式会社助成事業】

4 女性に対する暴力対策等人材養成支援事業	63
-----------------------	----

- 1 2011フェミニストカウンセリング専門講座 【賛助会費充当事業】
- 2 スーパービジョン講座 【自主事業】
- 3 配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ 【内閣府・NWE C共催事業】

5 文化表現事業	68
----------	----

- 1 ドーン・シネマクラブ&イコラーム・シネマクラブ 【はなみずき基金事業】
- 2 第17回女性芸術劇場 【はなみずき基金事業】
- 3 表現ワークショップ 【自主事業】

6 国際協力事業	73
1 海外スタディツアー	【ヒューライツ大阪・大阪府立大学共催事業】
2 講演会「アメリカの女性起業家に学ぶ」	【関西アメリカン・センター共催事業】
7 女性の健康支援事業	76
1 不妊専門相談センター事業	【大阪府（健康医療部）受託事業】
8 次世代育成事業	79
1 夏期インターンシップ・プログラム	【自主事業】
2 研修・実習・職場体験等の受入れ	【自主事業】
9 販売事業	82
1 「ウィメン・パイオニアズ」DVD&ブックレット販売	【自主事業】
2 海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売	【自主事業】
3 オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売	【自主事業】
10 講師派遣・アウトリーチ	86
1 講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託	【自主事業】
11 NPO・市民活動支援事業	89
1 共催事業・後援事業	【自主事業】
2 ポスタープリントサービス	【自主事業】
12 東日本大震災被災者支援事業	92
1 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業	【内閣府受託事業】
2 被災地から関西に避難されてきた女性のためのサポート・グループ	【自主事業】
13 ドーンセンター指定管理事業	97
1 ドーンセンターの概要	
2 ドーン運営共同体の概要	
3 指定管理業務	【大阪府（府民文化部）受託事業】
4 一時保育事業	【自主事業】
14 東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業	108
1 東大阪市立男女共同参画センターの概要	
2 施設管理業務	【東大阪市受託事業】
3 東大阪市主催事業	【東大阪市受託事業】
§ 5 平成23年度 事業実施一覧	133
§ 6 平成23年度 決算	135
1 財源構成	
2 事業活動支出の内訳	
3 収支計算書	
4 貸借対応表	
§ 7 平成23年度 メディア掲載一覧	138
§ 8 参考資料	141
1 財団法人大阪府男女共同参画推進財団設立趣意書	
2 財団法人大阪府男女共同参画推進財団寄附行為	
3 財団法人大阪府男女共同参画推進財団のあゆみ	

平成23年度 財団ハイライト

2011年

- 4月・イコラーム（東大阪市立男女共同参画センター）指定管理業務開始
 - ・ドーンセンター指定管理業務（2期目）開始
指定管理者：ドーン運営共同体（財団が代表）
 - ・大阪府男女共同参画推進事業（2年目）開始
ドーンセンター情報ライブラリー、電話・面接相談事業の運営
 - ・大阪府不妊専門相談センター事業（3年目）開始
 - ・「はなみずきキャリア塾Ⅲ」開催（～3月）
- 5月・「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」開催（～10月）
 - ・「はなみずきキャリア塾：メンタルヘルス編」開催（～3月）
 - ・「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム＜基礎編＞」開催（～6月）
 - ・「ドーン&イコラーム・シネマクラブ」開催（5・7・10・12・2月）
- 7月・「『Women Pioneersー女性先駆者たち』完成披露試写会」開催
- 8月・学校教員のための研修プログラム「学校現場とデートDV」開催
 - ・「夏期インターンシップ・プログラム」実施（～9月）
 - ・「海外スタディツアー：韓国編」実施
 - ・三重県伊賀市「女性リーダー養成講座」開催（～2月）
- 9月・「被災地から関西に避難されてきた女性のためのサポート・グループ」開催（～3月）
- 10月・第64回理事会にて、一般財団法人への移行について議決
 - ・「女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム」開催
 - ・男性向け啓発講座「心が折れない男の生き方」開催
 - ・大阪女学院大学・短期大学「人権教育講座」開催
- 11月・「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム＜応用編＞」開催
- 12月・「2011フェミニストカウンセリング専門講座」開催（～3月）
 - ・内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業」落札

2012年

- 1月・「はなみずきキャリア塾：リラクゼーション・ボディワーク編」開催（～3月）
 - ・「表現ワークショップ」開催（～2月）
 - ・「スーパービジョン講座」開催（～2月）
 - ・「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業」開始（～3月）
- 2月・「山沢栄子ポスター展」開催（～3月）
 - ・企業向け啓発講座「企業の持続的成長のための処方箋」開催（～3月）
- 3月・第17回女性芸術劇場「光をあつめて」公演
 - ・女子学生向け啓発講座「働くことは生きること」開催
 - ・平成24年度「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」落札
 - ・「賛助会員の集い」開催
- 4月・一般財団法人に移行

「ドーンセンター情報ライブラリー」

～公共図書館との差別化をはかり一層の専門図書館化～

「公共図書館との差別化」の取り組み

平成20年8月以降進められてきたドーンセンター情報ライブラリーの「公共図書館との差別化」の方針を踏まえ、平成22年度から24年度のライブラリー運営にあたっては、「男女共同参画関連分野の専門図書館」機能の強化をはかっています。重点的な取り組みとして、以下の3つを意識しています。

<重点的な取り組み>

①最適な情報の収集と整理、データベース化

②指導的立場の方々への専門的な情報相談

③ライブラリー機能を活用したプログラムの実施

【最適な情報の収集と整理、データベース化】

限られた予算の中で最適な資料を選択し、提供にあたっては的確かつスピーディに取捨選択できるよう収集・整理・データベース化することで、必要な情報へのアクセスをサポートしています。また、「研修・講座企画」、「授業の教材づくり」、「論文執筆」などにも役立つ情報を提供していくために、商業ルートでは流通していない資料も含めて、幅広く収集しています。

購入予算のない各種団体のミニコミ紙は、財団ニュースレター『DAWN通信』との交換で寄贈いただいています。また、情報へのアクセスをサポートしてきた実績が、「ドーンセンターに所蔵されれば広く活用される」との信頼につながってきていると考えられ、最近では、「このたび報告書を作成したのでドーンセンターに送りたい」といったお問い合わせもいただくようになっています。

インターネット上で公開された情報は、ドーンセンターHPの「女性情報ステーション」に掲載し、キーワード検索をすることができるよう整備しています。新たに追加した情報を登録者に配信する「情報メールサービス」（月1回）も行っています。

ドーンセンター
HPの「女性情報
ステーション」



【指導的立場の方々への専門的な情報相談】

行政・学校関係者などを対象に、情報相談を通じた「ビジネス支援」に力を入れ、具体的な課題解決をサポートしています。こうした取り組みは、国立国会図書館でもお勧めレファレンス事例として取り上げられています。

行政・学校関係者など地域で影響力のある指導的立場にあるの方々への情報提供サービスをきめ細かく行うことで、男女共同参画社会づくりへの波及効果が期待できると考えています。

<情報相談件数：利用者別>

	H23年度		H22年度	
	件数	%	件数	%
一般利用者	324	45.1	261	35.1
女性関連施設・施策担当者	109	15.2	129	17.4
その他行政	90	12.5	112	15.1
学校関係者・研究者	109	15.2	124	16.7
学生	54	7.5	66	8.9
企業	14	1.9	27	3.6
報道関係者	6	0.8	12	1.6
外国人	13	1.8	12	1.6
合 計	719	100.0	743	100.0

行政・学校関係者の情報相談内容としては、「人材及び学習情報の提供」、「特定テーマの資料案内及び情報」、「ライブラリーの活動や運営に関する情報」が多くなっています。「人材及び学習情報の提供」の具体的な内容は、講師紹介・人材情報、講座の組み方等へのアドバイス、教材・学習情報などで、「特定

テーマの資料案内及び情報内容」の詳細は、該当する資料の紹介、資料リストの作成、文献等の代行検索などです。「ライブラリーの活動や運営に関する情報」については、資料の収集方針や方法、資料の整理方法、情報システムやライブラリー活動に関することなどとなっています。

<行政・学校関係者の情報相談内容（平成23年度）>

	女性施策担当者		その他行政担当者		学校関係者・研究者	
	件数	%	件数	%	件数	%
A 利用案内	8	7.3	5	5.6	7	6.4
B 検索指導	0	0.0	0	0	1	0.9
C 資料の所蔵・所在調査	22	20.2	6	6.7	16	14.7
D 特定テーマの資料案内及び情報	14	12.8	17	18.9	32	29.3
E 人材及び学習情報の提供	40	36.7	49	54.4	27	24.8
F グループ及び行政の事業に関する情報	3	2.8	2	2.2	5	4.6
G ライブラリーの活動や運営に関する情報	22	20.2	11	12.2	21	19.3
合 計	109	100.0	90	100.0	109	100.0

【ライブラリー機能を活かしたプログラムの実施】

「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム」や「学校教員のための研修プログラム」など行政・学校関係者対象の研修では、ライブラリー資料の活用をプログラムに組み込み、情報相談をお受けしながら学びをサポートしています。また、所蔵資料を活用した大学生向け人権学習プログラムや、読書会などを開催しています。

来館者アンケートの結果

「専門図書館としての機能」に評価

年1回実施している来館者アンケートの結果から、平成22、23年度ともに、「男女共同参画関連分野の専門図書館」としてライブラリーを利用している教員・研究職、公務員、団体職員、会社員の情報相談への満足度が高いことが明らかになっています。

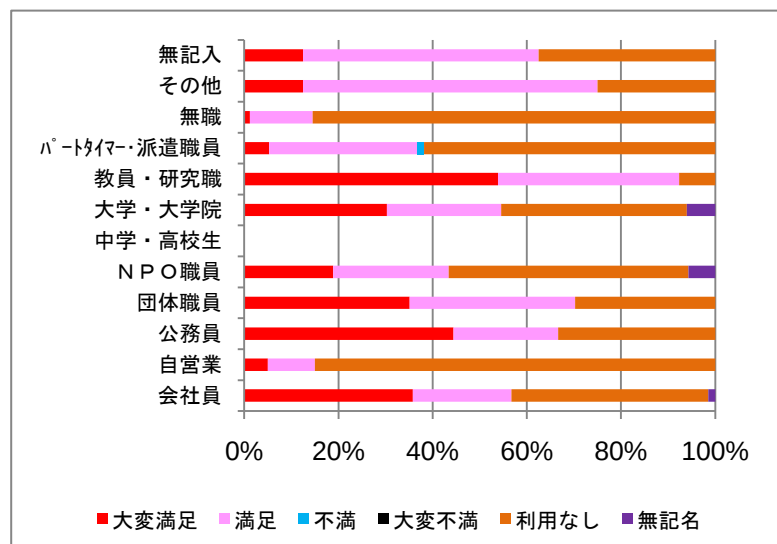


大阪女学院大学人権研修でのオリエンテーション（上）



「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム」で行政資料の活用方法を学ぶ

<情報相談満足度：職業別（平成23年度）>



事業ピックアップ②

「女性のための電話・面接相談」

～電話相談は「こころ」の悩み、面接相談は「性・暴力被害」～

相談システムを構築し、質と専門性を保証

ドーンセンター「女性のための電話・面接相談」には、市町村窓口をはじめ、医療、福祉、学校、司法・警察など関係機関からの紹介による相談が増加傾向にあり（平成23年度の面接相談では29.5%）、女性相談の専門機関として地域の信頼に応えていく必要があります。そのため、相談システムを構築することで、個別の相談をバックアップし、相談の質と専門性を確保しています。

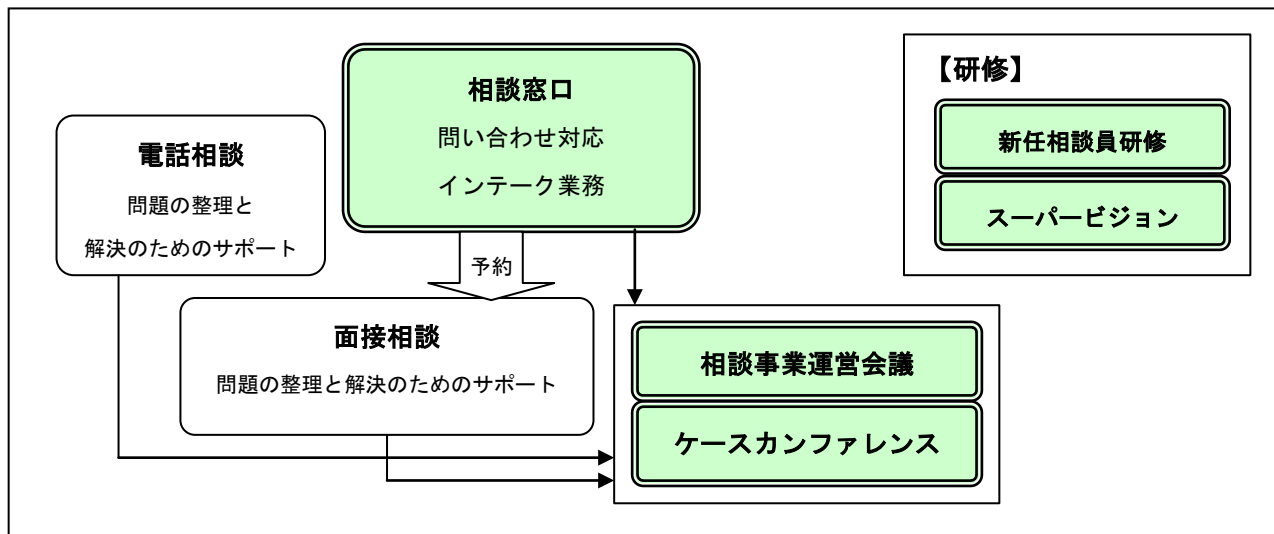
【相談窓口】 相談希望者に対して最初に聞き取りを行うインテーク業務や面接相談の予約、必要に応じて適切な機関の紹介・情報提供などを行います。関係機関からの問い合わせ対応及び各種相談窓口情報を収集・整備も行っています。

【相談事業運営会議】 定期的に開催し情報共有を行うとともに、運営の課題を検討しています。

【ケースカンファレンス】 複数の相談員で援助方針を検討しています。

【スーパービジョン】 相談の専門性を高めるために臨床現場に即したスキルアップを図っています。

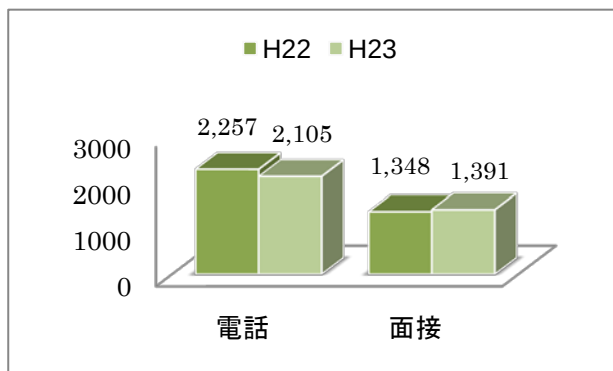
<相談システム体制>



平成22、23年度の総相談件数

平成22年度の総相談件数は、電話2,257件、面接1,348件（合計3,605件）であり、平成23年度の総相談件数は、電話2,105件、面接1,391件（合計3,496件）でした。

<総相談件数：相談形態別>



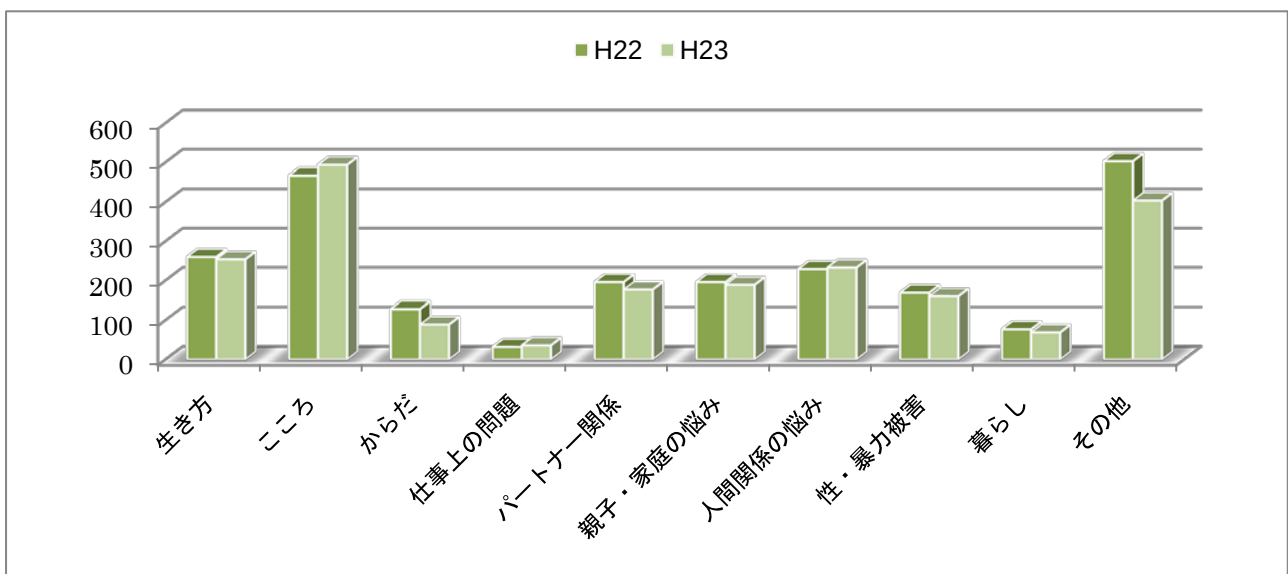
**電話相談は「こころ」の悩みが多く
面接相談は「性・暴力被害」が多い
：主訴別件数**

【電話相談】 平成22年度は、「こころ」(20.7%)、「生き方」(11.5%)、「人間関係」(10.1%)、「パートナー関係」及び「親子・家庭」(8.7%)、「性・暴力被害」(7.5%)の順に多く、平成23年度も、「こころ」(23.5%)、「生き方」(12.1%)、「人間関係」(11.1%)、「親子・家庭」(9.0%)、「パートナー関係」(8.4%)、「性・暴力被害」(7.6%)となっています。なお、「その他」が22.3% (H22)、19.2% (H23)

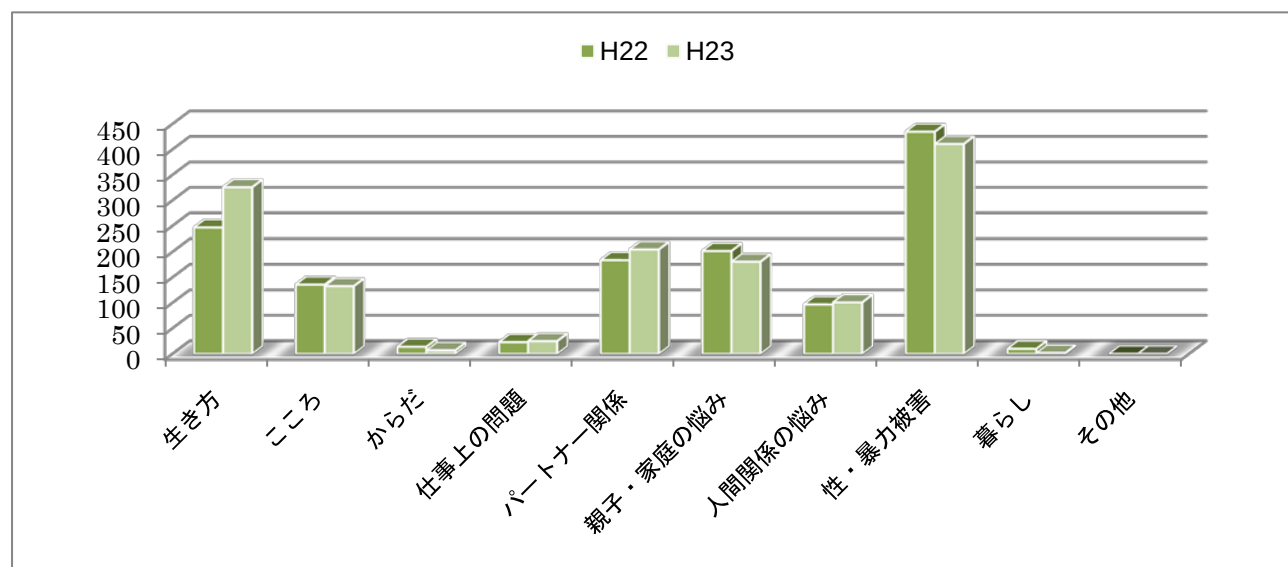
23)であり、主に無言電話が集計されています。

【面接相談】 平成22年度は、「性・暴力被害」(32.2%)、「生き方」(18.3%)、「親子・家庭」(15.0%)、「パートナー関係」(13.6%)、「こころ」(10.1%)、「人間関係」(7.2%)の順に多く、平成23年度は、「性・暴力被害」(29.5%)、「生き方」(23.4%)、「パートナー関係」(14.7%)、「親子・家庭」(13.0%)、「こころ」(9.6%)、「人間関係」(7.3%)となっており、「パートナー関係」と「親子・家庭の悩み」が入れ替わったことを除けば、同様の傾向を示しています。

＜電話相談：主訴別件数＞ n=2,257 (H22) n=2,105 (H23)



＜面接相談：主訴別件数＞ n=1,348 (H22) n=1,391 (H23)



電話相談は「50代」が多く
面接相談は「30代」が多い
：年代別件数

【電話相談】 平成22年度は、「50代」(25.0%)、「40代」(21.5%)、「30代」(14.5%)の順に多く、平成23年度は、「50代」(26.4%)、「40代」(23.6%)、「30代」(16.8%)と同様の傾向を示しています。なお、相談の中で把握できた場合のみの記録であるため、「不明」の割合が高くなっています。

【面接相談】 平成22年度は、「30代」(36.1%)、「40代」(31.1%)、「50代」(12.4%)の順に多く、平成23年度は、「30代」(35.9%)、「40代」(31.7%)、「50代」(13.9%)と同様の傾向を示しています。

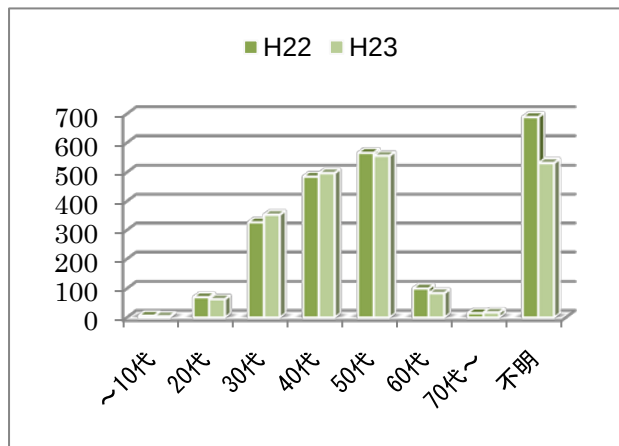
電話相談は「居住地不明」が多く
面接相談は「大阪市内」が多い
：地域別件数

【電話相談】 平成22年度は、「不明」(51.1%)、「東部大阪」(14.4%)、「他府県(近畿1府4県)」(9.7%)の順に多く、平成23年度は、「不明」(46.6%)、「北大阪」(14.7%)、「他府県(近畿1府4県)」(12.5%)となっています。相談の中で把握できた場合のみの記録であるため、半数近くが「不明」となっています。

【面接相談】 平成22年度は、「大阪市内」(33.9%)、「東部大阪」(23.5%)、「北大阪」(18.3%)の順に多く、平成23年度は、「大阪市内」(36.7%)、「東部大阪」(24.9%)、「北大阪」(16.2%)と同様の傾向を示しています。来所が必要な面接相談では、近隣からの相談者が多くなるものと考えられます。

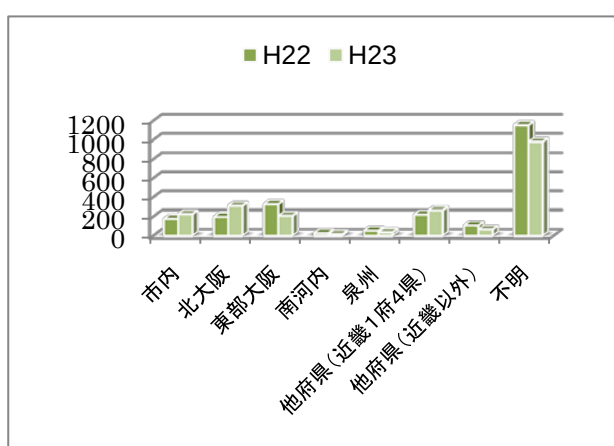
＜電話相談：年齢別件数＞

n=2,257 (H22) n=2,105 (H23)



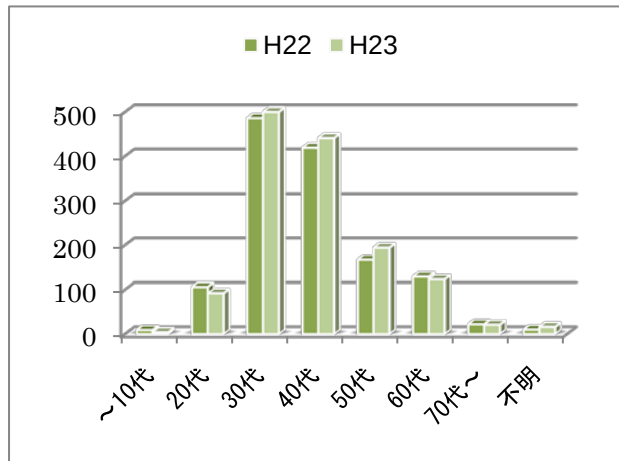
＜電話相談：地域別件数＞

n=2,257 (H22) n=2,105 (H23)



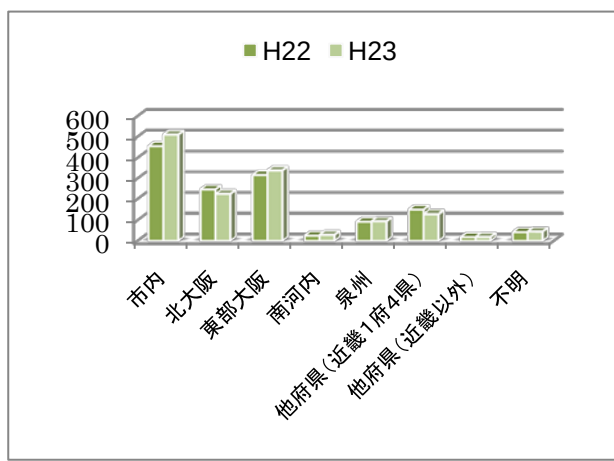
＜面接相談：年齢別件数＞

n=1,348 (H22) n=1,391 (H23)



＜面接相談：地域別件数＞

n=1,348 (H22) n=1,391 (H23)



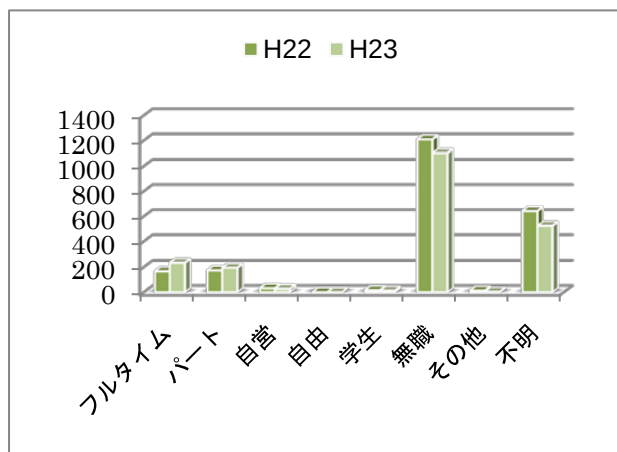
**電話・面接相談ともに「無職」が多い
：職業別件数**

【電話相談】 平成22年度は、「無職」(53.6%)、「パート」(7.8%)、「フルタイム」(7.4%)であり、平成23年度は、「無職」(52.4%)、「フルタイム」(11.2%)、「パート」(9.3%)と、「無職」が半数以上を占めています。なお、相談の中で把握できた場合のみの記録であるため、「不明」の割合が高くなっています。

【面接相談】 平成22年度は、「無職」(42.0%)、「フルタイム」(27.8%)、「パート」(22.0%)の順に多く、平成23年度も、「無職」(40.3%)、「フルタイム」(29.8%)、「パート」(19.6%)と同様の傾向を示し、「無職」が4割以上となっています。

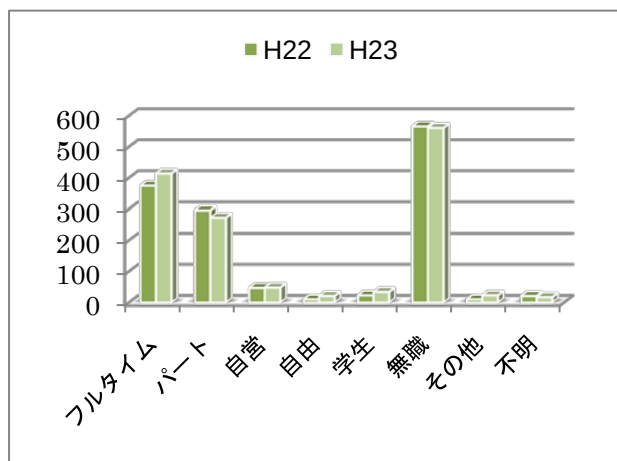
＜電話相談：職業別件数＞

n=2,257 (H22) n=2,105 (H23)



＜面接相談：職業別件数＞

n=1,348 (H22) n=1,391 (H23)



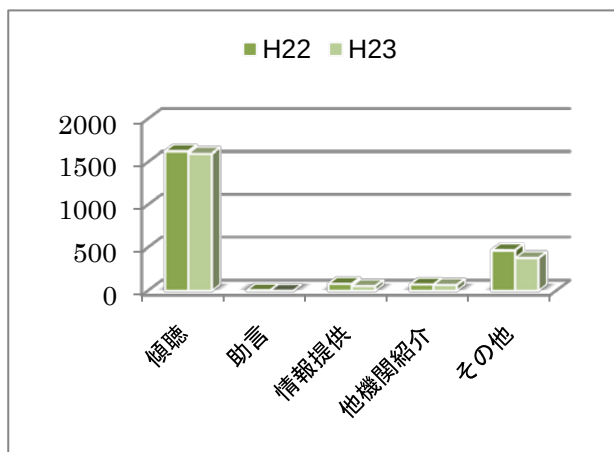
**電話相談は「傾聴」による悩みの整理
面接相談は「継続」的なカウンセリング
：相談の対応・結果別件数**

【電話相談】 対応別件数について、平成22年度は、「傾聴」(72.0%)、「情報提供」(3.6%)、「他機関紹介」(3.3%)であり、平成23年度は、「傾聴」(75.9%)、「他機関紹介」(3.3%)、「情報提供」(2.6%)で、「傾聴」が7割以上を占めています。

【面接相談】 結果別件数について、平成22年度は、「継続」(86.9%)、「終結」(12.0%)、「他機関紹介」(0.4%)であり、平成23年度は、「継続」(87.7%)、「終結」(11.9%)、「他機関紹介」(0.3%)と同様の傾向を示し、「継続」となるケースが8割以上を占めています。

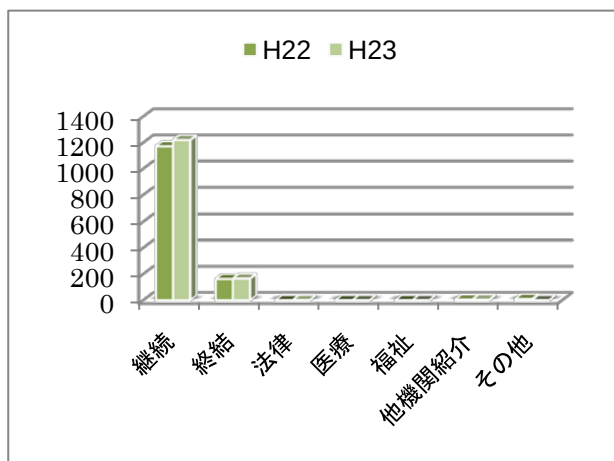
＜電話相談：対応別件数＞

n=2,257 (H22) n=2,105 (H23)



＜面接相談：結果別件数＞

n=1,348 (H22) n=1,391 (H23)



相談の多くを、ここで解決にみちびく

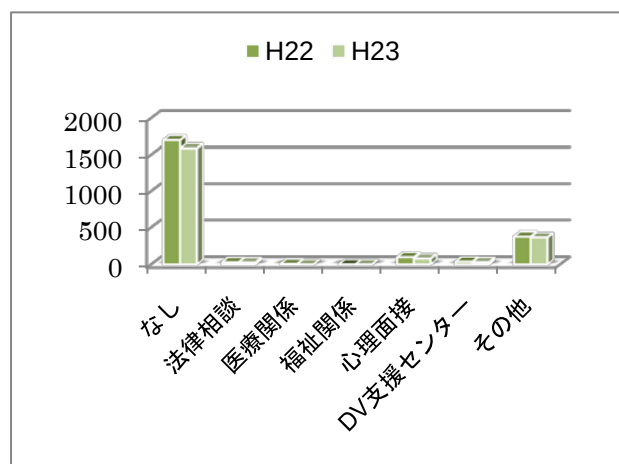
：紹介先別件数

【電話相談】 平成22年度は、「なし」(75.2%)、「心理面接」(4.4%)、「DV支援センター」(1.7%)であり、平成23年度は、「なし」(75.5%)、「心理面接」(3.8%)、「DV支援センター」(1.5%)と同様の傾向を示しています。

【面接相談】 平成22年度は、「なし」(92.7%)、「法律相談」(3.6%)、「医療関係」(1.0%)であり、平成23年度は、「なし」(94.8%)、「法律相談」(2.5%)、「医療関係」(1.1%)と同様の傾向を示しています。

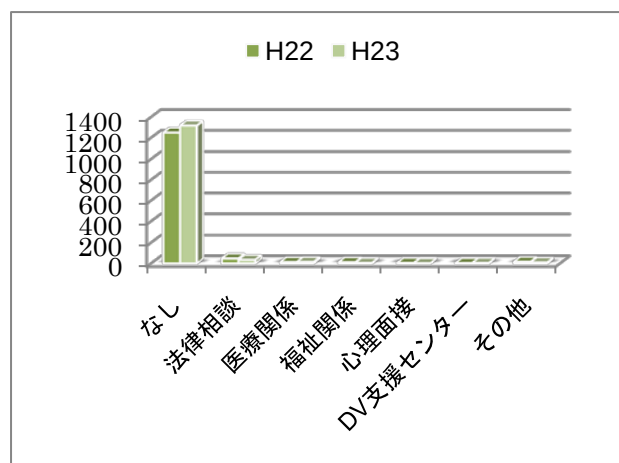
<電話相談：紹介先別>

n = 2,257 (H22) n = 2,105 (H23)



<面接相談：紹介先別>

n = 1,348 (H22) n = 1,391 (H23)



市町村窓口、医療機関からの紹介が多い

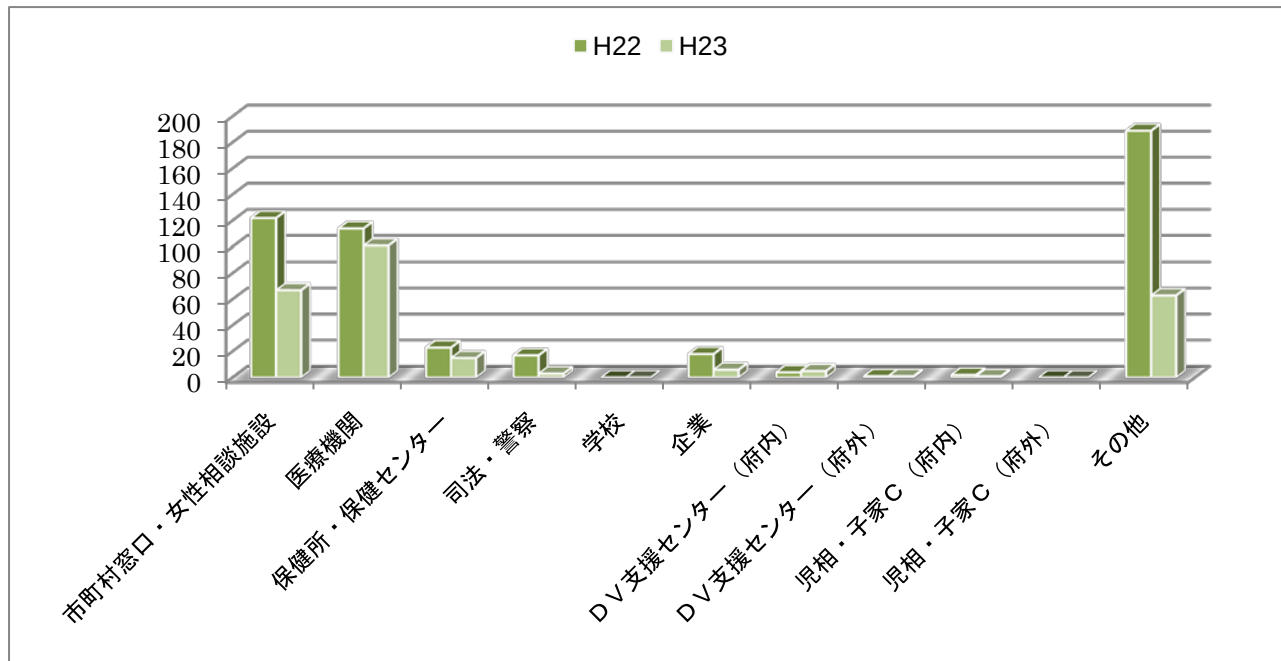
：紹介元別件数

「他機関からの紹介」による相談のうち、紹介元の内訳を示しています。

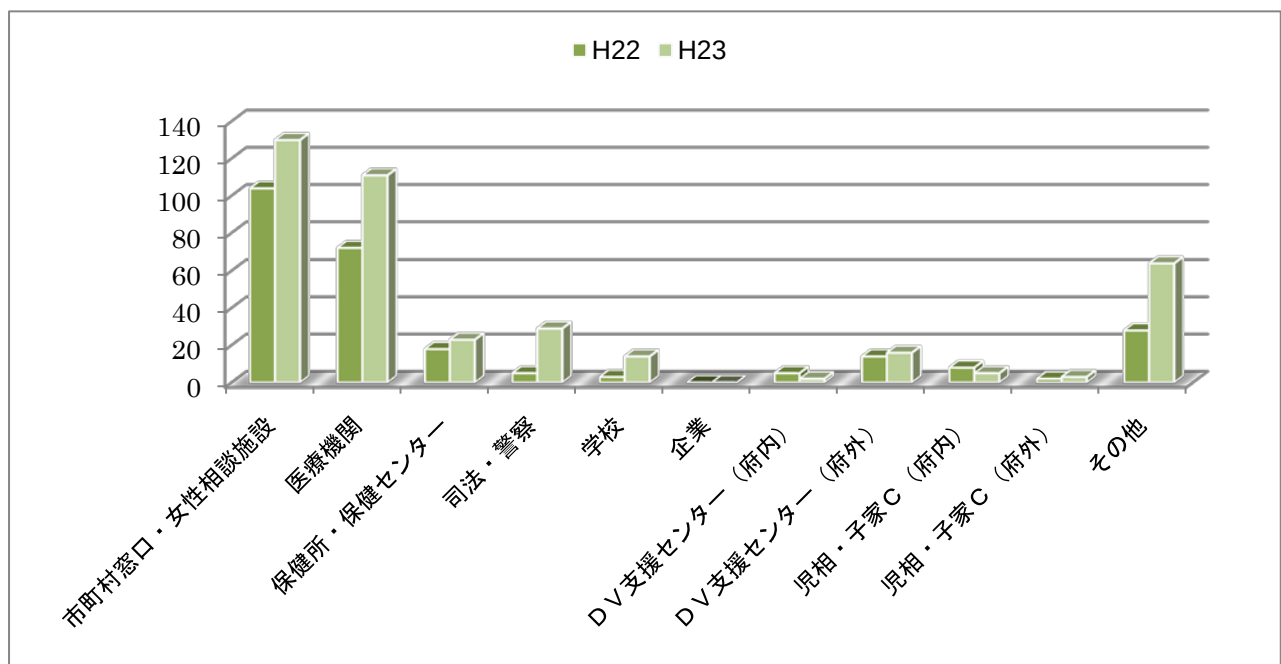
【電話相談】 平成22年度の「他機関からの紹介」は490件(全体の23.5%)であり、その内訳は、「市町村窓口・女性相談施設」(24.9%)、「医療機関」(23.3%)、「保健所・保健センター」(4.7%)、「司法・警察」(3.5%)となっています。平成23年度の「他機関からの紹介」は262件(全体の11.6%)であり、その内訳は、「医療機関」(38.5%)、「市町村窓口・女性相談施設」(25.6%)、「保健所・保健センター」(5.7%)、「DV支援センター(府内)」(1.9%)となっています。なお、平成22年度の「その他」が多いのは、他機関からの紹介による相談以外のものが一部が集計されたことによるもので、平成23年度以降、統計の取り方の統一に努めています。

【面接相談】 平成22年度の「他機関からの紹介」は259件(全体の18.6%)であり、その内訳は、「市町村窓口・女性相談施設」(40.2%)、「医療機関」(27.8%)、「保健所・保健センター」(6.9%)、「DV支援センター(府外)」(5.4%)となっています。平成23年度の「他機関からの紹介」は387件(全体の29.5%)であり、その内訳は、「市町村窓口・女性相談施設」(32.7%)、「医療機関」(28.0%)、「司法・警察」(7.3%)、「保健所・保健センター」(5.8%)となっています。

<電話相談：紹介元別件数> n=490 (H22) n=262 (H23)



<面接相談：紹介元別件数> n=259 (H22) n=387 (H23)



相談現場からみえるジェンダー問題

：ジェンダー問題別件数

相談の内容が、ジェンダー問題に起因すると相談員が認めたもの（複数選択あり）について集計をしています。

【電話相談】 平成22年度の「ジェンダー問題に起因すると認められる相談件数」は1,591件であり、その内訳は、「役割逸脱不安」(31.2%)、「母娘関係」(16.7%)、「夫婦間暴力(DV)」(16.1%)、「依存症」(11.3%)、「共依存」(5.8%)、「いじめ・パワハラ」(5.7%)、「幼児期虐待(性虐待以外)」(4.0%)、「家庭内暴力(夫婦間以外)」(3.0%)、「性被害(セクハラ以外)」(1.7%)、「デートDV」(1.0%)、「拒・過食」「性虐待(幼児・年少期)」及び「虐待的傾向」(0.8%)、「セクシュアルハラスメント」(0.6%)、「セクシュアリティ」(0.3%)となっています。

平成23年度の「ジェンダー問題に起因すると認められる相談件数」は1,910件であり、その内訳は、「役割逸脱不安」(26.6%)、「母娘関係」(21.3%)、「夫婦間暴力(DV)」(15.4%)、「依存症」(12.6%)、「幼児期虐待(性虐待以外)」及び「いじめ・パワハラ」(5.0%)、「共依存」(4.3%)、「家庭内暴力(夫婦間以外)」(3.7%)、「性被害(セクハラ以外)」(1.7%)、「デートDV」(1.6%)、「性虐待(幼児・

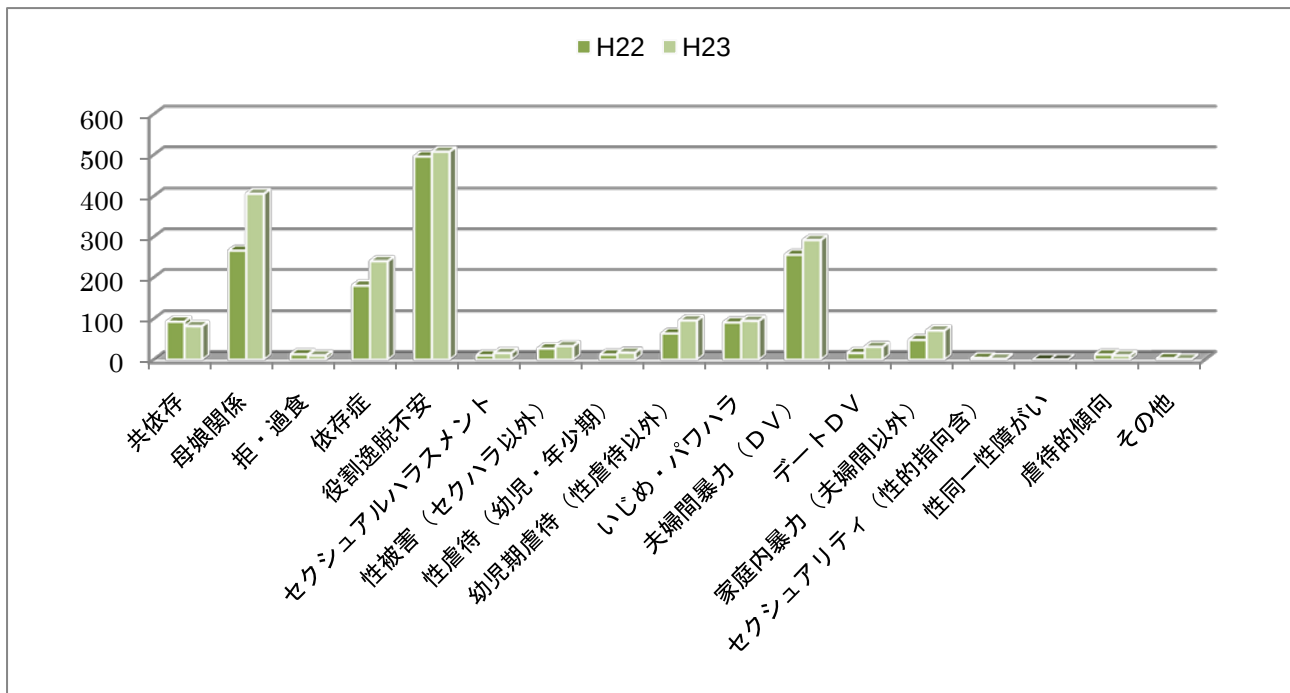
年少期)」(0.9%)、「セクシュアルハラスメント」

(0.8%)、「拒・過食」及び「虐待的傾向」(0.5%)、「セクシュアリティ」(0.1%)となっています。

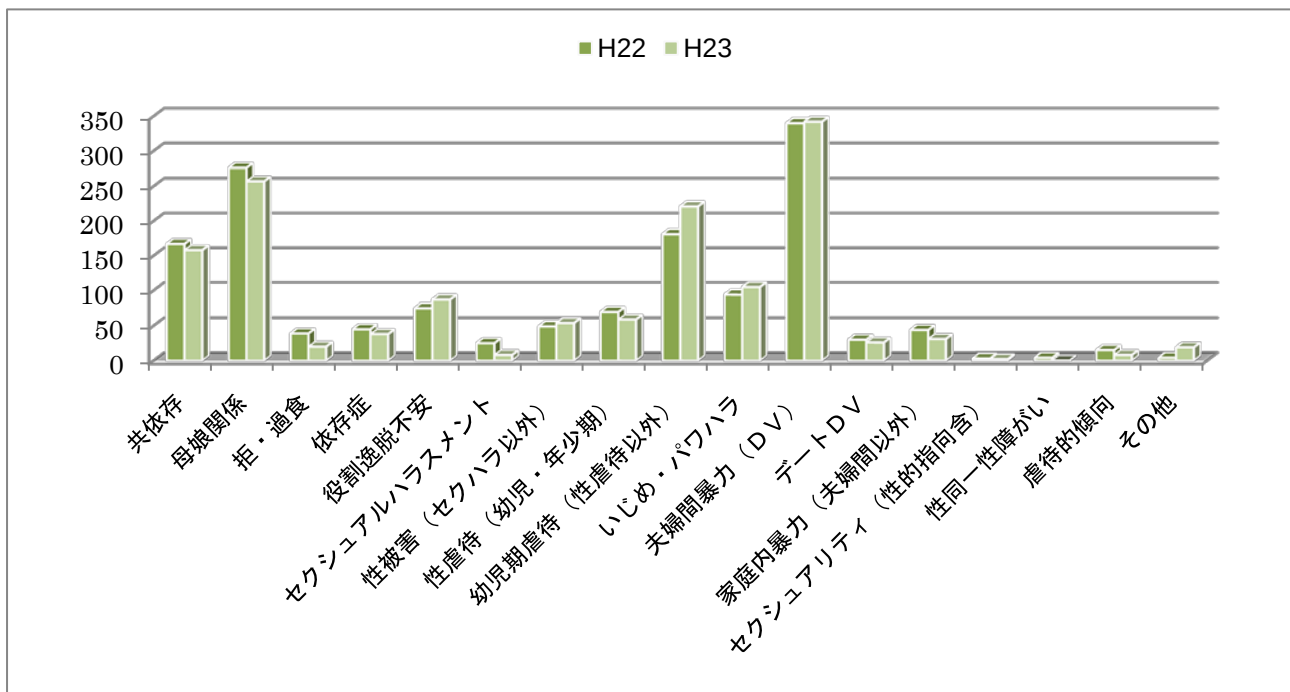
【面接相談】 平成22年度の「ジェンダー問題に起因すると認められる相談件数」は1,461件であり、その内訳は、「夫婦間暴力(DV)」(23.3%)、「母娘関係」(18.9%)、「幼児期虐待(性虐待以外)」(12.4%)、「共依存」(11.5%)、「いじめ・パワハラ」(6.5%)、「役割逸脱不安」(5.1%)、「性虐待(幼児・年少期)」(4.8%)、「性被害(セクハラ以外)」(3.4%)、「依存症」(3.1%)、「家庭内暴力(夫婦間以外)」(3.0%)、「拒・過食」(2.7%)、「デートDV」(2.1%)、「セクシュアルハラスメント」(1.7%)、「虐待的傾向」(1.0%)、「性同一性障がい」(0.3%)、「セクシュアリティ」(0.2%)となっています。

平成23年度の「ジェンダー問題に起因すると認められる相談件数」は1,435件であり、その内訳は、「夫婦間暴力(DV)」(23.8%)、「母娘関係」(17.9%)、「幼児期虐待(性虐待以外)」(15.4%)、「共依存」(11.0%)、「いじめ・パワハラ」(7.3%)、「役割逸脱不安」(6.1%)、「性虐待(幼児・年少期)」(4.1%)、「性被害(セクハラ以外)」(3.8%)、「依存症」(2.6%)、「家庭内暴力(夫婦間以外)」(2.2%)、「デートDV」(1.8%)、「拒・過食」(1.4%)、「セクシュアルハラスメント」及び「虐待的傾向」(0.6%)、「セクシュアリティ」(0.1%)となっています。

＜電話相談：ジェンダー問題別件数（複数選択あり）＞ n = 1,591 (H22) n = 1,910 (H23)



＜面接相談：ジェンダー問題別件数（複数選択あり）＞ n = 1,461 (H22) n = 1,435 (H23)



「啓発講座事業」

～重点テーマと重点対象設定による事業展開～

重点テーマに即したプログラムを 指導的立場の方を対象に提供

近年の社会動向を踏まえ、「女性の経済的・社会的エンパワメント」「次世代の育成」「ワークライフバランスの推進」の3つを重点テーマに企画しています。地域や組織、次世代に対して影響力をもつ行政・学校・企業関係者などを対象に研修を行うことで、波及効果を狙っています。

男女共同参画施策に関わる職員

・男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム：基礎編、応用編

女性相談に関わる担当者・相談員

・女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム

学校教員

・学校教員のための研修プログラム

企業の人事労務担当者

・企業向けセミナー

「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム」では、世界や国の動向を視野に入れながら、地域課題に即した事業を展開する方法を学び、「女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム」では、女性のエンパワメントのための相談対応の基本をお伝えしています。「学校教員のための研修プログラム」では、次世代への影響力のある小・中・高校教員を対象に、学生がキャリア形成する力を身につけることを目的とした教材づくり（H22）や、デートDV予防啓発研修（H23）を開催しました。「企業向けセミナー」では、女性を活かすコーチングスキルを学ぶセミナー（H22）や、女性登用を推進するための理論や実践例を紹介するセミナー（H23）を開催し、企業で働く女性

のエンパワメントとワークライフバランスの推進をめざしています。

重点対象の設定

平成22年12月に策定された国の「第3次男女共同参画基本計画」では、男女共同参画の裾野をひろげるために、男性や子ども・若者世代に積極的にアプローチすることが強調されています。「次世代向け講座」では、身近なロールモデルの体験談を聞き、生き方の選択肢を広げる機会を提供しています。「男性向け講座」では男性のメンタルヘルスとワークライフバランスについて考える講座を実施しました。

若い世代

・「自分らしい生き方・働き方を考える」（2010）
・「働くことは生きること」（2011）

男性

・「心の折れない男の生き方」（2011）

ワークショップによる

「課題解決型」プログラムを重視

これまでの「知識習得・意識啓発型」から、「課題解決型」の実践的活動へと、施策が転換しつつあります。啓発講座事業でも、講義型だけでなくワークショップを積極的に取り入れ、アイデア出しや企画の疑似体験、ディスカッションなど参加型の運営を行っています。



ワークショップの様子
学校教員研修（上）
施策担当者研修（左）

参加者の声をご紹介します！

男女共同参画 施策に関わる 職員のための 研修プログラム ＜基礎編＞

- ・すぐに実践に活かせる内容が良かったです
- ・全体的なお話から講座企画まで、センター業務に関わる全般が理解できました
- ・情報・相談・講座の企画がどう関連しているのか理解できました。当センターは改善すべき所がたくさんあることに気づきました
- ・講義とワークショップのバランスが良く、様々な方と意見交換ができました
- ・4月から勤務し始めたばかりですが、積極的に踏み出す第一歩になりました

- 「女性のキャリアとは」(H22)
 - ・キャリア形成の分析の仕方が良く分かった
 - ・分析シートを使ったワークは、とてもわかりやすかったです
 - ・他のセンターで働く方の意見を聞けて良かったです
- 「地域課題を読み解く」(H23)
 - ・統計資料をどのように読み解くか、大変参考になりました
 - ・今まで統計資料を活用してこなかったが今後は積極的に活用し、根拠のある講座を企画したい

男女共同参画 施策に関わる 職員のための 研修プログラム ＜応用編＞

女性のための 相談事業に関 わる担当者の ための研修プロ グラム

- ・自分を考え直す良い機会でした
- ・自分に正直に生きようと思いました
- ・最近心が折れそうな体験をしたため、大変参考になった
- ・男女共同参画事業には男性向けにも色々な企画があると知りました。上手に活用できればと思っています

男性向け講座 「心が折れない 男の生き方」

企業向け セミナー

ワークライ フバランス の推進

女性の経済 的・社会的 エンパワメ ント

次世代の育成

- ・「女性のための相談」がなぜ必要なのか、心にストンと落ち理解できました
- ・相談者の背景にある“社会”について気付きました。相談の視点としてとても大事なことだと思いました
- ・暴力被害者への理解、心理的なサポートの必要性を理解できました
- ・グループワークがとても良かった。引き出しが増えました
- ・さらに勉強するの必要を感じました

- 「社員を活かすコーチング」(H22)
 - ・行き詰まっていたので、気持ちが楽になりました
 - ・普段お会いしない方々の多様な意見が聞けました
- 「企業の持続的成長のための処方箋」(H23)
 - ・中小企業における女性の活用についてのポイントが明確に示されていました
 - ・カラーの違う2社の施策をお聞きし、興味深かった
 - ・男女に関わらず能力をきちんと評価しておられる企業の例はとても参考になりました

- 「『新13歳のハローワーク』を活用した教案づくり」(H22)
 - ・全員が積極的に参加して情報交換を行うことができました
 - ・いろんな校種の先生の日常や実践が聞けて良かったです
 - ・自己肯定や受容などがつついとおろそかになりがちであることは新しい発見でした
 - ・学校へ帰って、これをつなげていこうと思いました
- 「学校現場とデートDV」(H23)
 - ・デートDVについてよく理解できました
 - ・現場でよく見かける事例でイメージがわきやすかった
 - ・グループワークを通じて実際の授業をリアルに想像できた
 - ・グループワークを学校でも実施したいと思いました

学校教員のた めの研修プロ グラム

- 「自分らしい生き方・働き方を考える」(H22)
 - ・今後の自分の生き方、考え方を意識する良いきっかけになりました(20代・無職)
 - ・とても素敵なゲストに、幅広いお話を伺うことができた(20代・無職)
 - ・誰もが、色々な大変さを抱えて、一生懸命生きているんだと思った(20代・学生)
- 「働くことは生きること」(H23)
 - ・働く人の生の声が聞けて参考になりました(大学2年生)
 - ・これから働く際の視野が広がりました(大学4年生)
 - ・それぞれが「やりがい」を感じながら仕事されている姿にモチベーションが上がりました(無記入)

次世代向け 講座

「情報」「相談」「啓発」事業の連携

～事業連携の取り組み事例をご紹介します～

各事業で把握した課題・ニーズを相互に反映、 循環させる事業展開

ドーンセンターで実施している大阪府男女共同参画推進事業の3本柱「情報」「相談」「啓発」を、相互に連携させることで、効果的な事業展開をめざしています。あわせて、事業の運営にあたっては、以下の点を意識しながら行っています。

<事業運営にあたっての重点ポイント>

- ①男女共同参画をめぐる社会動向の把握
- ②多様な自主事業をリンクさせた総合的事业展開
- ③ドーンセンター施設機能を活かした事業展開
- ④事業の成果を評価・検証

男女共同参画をめぐる社会動向の把握 ～国の施策、市町村のニーズ～

【国の施策に沿った取り組み】

第3次男女共同参画基本計画で掲げられた「女性に対するあらゆる暴力の根絶」及び「男性にとっての男女共同参画」に即した事例をご紹介します。

平成22年度、内閣府「デートDV予防啓発指導者研修」を共催するとともに、内閣府「配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業（パープルダイヤル：性暴力・DV電話相談）」を受託しました。平成23年度は、内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業」を受託し、平成24年度も引き続き「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」の事務局を務めています。

国の積極的な暴力対策を受け、平成23年度「学校教員のための研修プログラム」ではデートDVをテーマに取り上げました。平成24年度は、より大阪府の実情に合わせた企画に改良していきます。

男性に向けた取組としては、平成23年度「メンタルヘルス」「ワークライフバランス」の2つを切り口に、啓発講座「心の折れない男の生き方」を企画、定員を超える方々にご参加いただき（定員充足率122%）ました。平成24年度は、「男性相談に関わる担当者のための研修プログラム」を開催し、男性問題への取り組みを地域に広めていく予定です。

【市町村のニーズ把握】

平成23年度は、東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）の指定管理業務、三重県伊賀市「女性リーダー講座」の受託を通して、市町村のニーズを直に把握できた年でした。

市町村センターの特色として、広報ツールが地域密着で、情報を確実に届けられることができるという強みがあります。一方、人材やネットワークが地域中心のため、新たなテーマでの事業展開に踏み出しにくいことがうかがえました。また、地域の人材養成を成功させる鍵は、いかに参加者をつなぎ、エンパワーできるかにかかっているといっても過言ではありません。講座の回を重ねるごとに学んで、気づいて、アクションにつながるようなサイクルを担当スタッフがファシリテートする連続講座運営を、市町村の人材養成プログラムにも反映することができました。今後は、「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム」において、こうした担当スタッフの役割に担当者自身が気づくことができるようなプログラムを提供し、男女共同参画の裾野を広げていきたいと考えています。

多様な自主事業をリンクさせた事業展開

【情報】×【啓発】×【各種自主事業】

行政・学校関係者向け研修プログラムでは、ライブラリーの資料活用をプログラムに組み込むことで、情報相談によるビジネス支援機能をPRし、ライブラリーの利用を促しています。また、各種講座の開催に合わせて、関連資料を集めた企画展示コーナーを設置し、資料をリスト化して参加者に配布することで、講座受講と情報活用による学習効果のアップをめざしています。その他、情報相談事例を分析することでニーズを把握し、企画に反映させています。

【キャリア塾】×【情報】

働く女性のワークとライフの充実をめざす「はなみずきキャリア塾」の参加者を対象に、ライブラリーツアーを実施しています。働く女性にとっても活用できる資料があることをPRし、情報との出会いを生み出しています。

【Women Pioneers】×【情報】

平成23年7月に完成したDVD&ブックレット『Women Pioneers』の読書会を、ライブラリーの書庫で開催しました。パイオニアに関連する資料の現物を展示し、資料リストを配布することで読書会の雰囲気が盛り上がりとともに、蔵書資料の有効活用にもつながりました。

【啓発】→【スーパービジョン講座】

相談の現場ではさまざまな課題に直面し、相談員自身にも迷いや悩みが生じます。そのため、臨床に基づいた研修の機会、よりよい相談を行うためにも、援助者が燃え尽きることなく仕事を継続するためにも大切です。「女性のための相談に関わる担当者のための研修プログラム」で基礎を身につけた後のステップアップ講座として、相談事業で実施してきたスーパービジョンのノウハウを活かし、市町村や関係機関の方々に向けた「スーパービジョン講座」を提供しています。

ドーンセンター施設機能を活かした事業展開

【女性芸術劇場】×【情報】×【ドーンセンター】

女性写真家の草分け・山沢栄子の生涯を描いた第17回女性芸術劇場「光をあつめて」の開催により、ドーンセンター設立時にホールに常設された山沢栄子作品の陶板画を改めてクローズアップするとともに、1階ロビーでは「山沢栄子ポスター展」を開催しました。また、ライブラリーコレクション「女性の表現作品集」による企画展を開催しました。

【母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練】

×【情報】×【相談】×【啓発】×【ドーンセンター】

は、パソコンと仕事準備講座を組み合わせた「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」は、就職に向けた実践プログラムです。参加者の中には、DV被害経験や親からの被虐待経験を持つ方もおられ、講師・スタッフも含めたサポート体制を意識しています。ライブラリー機能をはじめ、「相談」「啓発」のノウハウをフル活用した事業です。また、センターのスペースの広さと施設機能の豊富を活かし、目的に応じて会議室を使い分けています。長期にわたる講座のため、会議室を移動し、気分転換をはかれることが、受講者が継続して受講していくための利点ともなっています。



パソコン講座の様子

事業の成果を評価・検証

【情報】ライブラリー来館者アンケート及び、情報相談分析を実施しています。

【相談】電話・面接相談統計の分析をしています。

【啓発】講座ごとにアンケートを実施しています。連続講座では、コミュニケーション・カードを用いて、意見や要望を取り入れた運営を行っています。

事業ピックアップ⑤

「Women Pioneers—女性先駆者たち」

～DVD&ブックレット制作の舞台裏～

35年前のオリジナルインタビュー資料発掘！

平成22年の夏、35年前に製作された女性パイオニア10人へのインタビュー映像を、現代に蘇らせるプロジェクトが発足しました。事の始まりは、日頃からお世話になっている産経新聞社の石野伸子さんから「35年前の貴重な映像資料が眠っている。なんとか活かすことはできないか」との相談をいただいたことでした。

この映像を製作した渡辺晴子さん（HKW代表、社団法人日本外国特派員協会監事）は、「この映像資料を、次の世代に活かしてくれるのなら」と、オリジナル素材を寄贈してくださいました。

アメリカの人たちに

日本の素晴らしい女性を紹介したい

平成23年7月に開催した完成披露試写会で、渡辺さんが、この映像を製作したいきさつを語ってくださいました。渡辺さんは、アメリカの大学院に在籍していましたが、その頃「日本の女性は素晴らしいのに、アメリカでは知られていない」と感じたそうです。そこで、放送ジャーナリストの縫田曄子さんとともにY-H基金を設立。渡辺さんはカメラを担ぎ、日本の各界の女性パイオニアにインタビューをして回りました。インタビューを務めた縫田さんは、東京のNHK女性初の解説者、自治体初の女性局長でもあり、今から考えると、パイオニアがパイオニアにインタビューをして制作されたものといえます。

1975年に完成し、当時アメリカで女子教育に力を入れていた大学を、東海岸から西海岸まで何十回も上映会を開催して好評を得ましたが、日

本に帰国後は上映のためのつてがなく、お蔵入りとなっていたそうです。

最近そのオリジナル資料が見つかり、知り合いの石野さんに、何気なくお話されたそうです。私たちが海外女性監督の映像作品の収集・加工・販売事業を行ってきたことをご存知だった石野さんは、「財団なら、何とか蘇らせることができるのではないか」と考え、お話をくださったのでした。

DVD&ブックレット

『Women Pioneers』ができるまで

オリジナルインタビュー資料が私たちのもとに到着したのが、平成22年の夏のこと。ちょうど大学・大学院生7名がインターンシップに来ており、一人1～2作品を担当して、映像チェックや、手書きの台本のデータ化作業をしました。「“婦人”という言葉に抵抗がある」と率直な感想を述べたり、「旧字体が読めない」など悪戦苦闘しながら、このプロジェクトに参画しました。

さらに、各パイオニアやその専門分野に近い研究をしている若手研究者の協力を得て、映像に解説をつけたり、テロップを入れたり、またブックレットの年表作成をすることで、現代版として蘇らせました。



受取時の映像資料（上）
手書き原稿ファイル（左）

“教材”として使えるものに

全国の女性関連施設、関連機関、大学などで教材として活用いただけるものを意識して編集しました。「ウィメンズアクションネットワーク (WAN)」の協力により、3分間のダイジェスト版映像を作成、WANのウェブサイト上に数カ月間掲載されました。主に、大学の図書館や研究室にご購入いただいています。



「DVD全10巻
ダイジェスト版」
より

各紙で紹介記事が掲載されました

- ・産経新聞 2011年6月23日 朝刊

見出し：「わが道切り拓いた先駆者 女性10人の声よみがえる インタビューDVD復刻 7月2日、大阪で完成披露試写会」

- ・朝日新聞 2011年7月1日 朝刊

見出し：「女性先駆者10人 業績をDVD化」

- ・毎日新聞 2011年8月1日 朝刊

見出し：「女性先駆者の姿DVDに 市川房江ら10人のインタビュー 大阪の研究者ら35年ぶり再編集」

貴重な映像の活用×若手研究者に活躍の場を

このプロジェクトに若手の研究者に関わっていただいたのには理由がありました。若手研究者の皆さんに、DVDを使った講座やワークショップを行っていただくことで、映像資料の有効活用と同時に、若手研究者に活躍の場を提供することにもなると考えたのです。高知県のある女性グループが、第3巻『市川房枝と婦人参政権のあゆみ』の上映会を開催した際には、この巻を担当した、林葉子さん（同志社大学人文科学研究所嘱託研究員／池坊短期大学等非常勤講師）が講演を行いました。

また、ドーンセンターにおいても、「DVD上映＆読書会」を開催し、それぞれの制作に関わった研究者が小講義をしました。こうしたDVDを活用した企画があちこちで展開され、この貴重な資料が広く活用されることをめざしていきます。



2011年7月の完成披露試写会
渡辺さん、石野さんと若手研究者のみなさん



Women Pioneers

——女性先駆者たち——

■ DVD全10巻（日・英 各約30分）
各巻5,000円（全巻セット40,000円）

■ ブックレット（日・英二カ国語）
全1巻1,800円（年表付き）

制作・著作（1975～76年）：HKW（代表 渡辺 晴子）
DVD編集制作（2011年）：（財）大阪府男女共同参画推進財団

【ご購入・お問合わせ】

財団法人大阪府男女共同参画推進財団

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49
ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

TEL 06(6910)8615 FAX 06(6910)8624

URL: <http://www.ogef.jp> / E-mail: jigyodawncenter.or.jp

「女性芸術劇場と文化表現」

～ “文化を通じた啓発” から “文化そのものの意義” に着目～

第17回女性芸術劇場「光をあつめて」

平成23年度で17回目をむかえた「女性芸術劇場」は、女性写真家の草分け・山沢栄子を題材にした「光をあつめて」の公演を行いました。

大大阪時代を舞台に活躍した日本の女性写真家・山沢栄子。大正－昭和－平成と、旺盛な探求心で写真に人生をささげた姿を現代に蘇らせました。

実力のある脚本・演出家書き下ろしたオリジナル公演で、「写真と演劇の融合」を試みました。また、各界のパイオニア4人が日替わりゲストとして出演し、好評を得ました。

- ・演出：深津篤史（桃園会主宰・劇作家・演出家）
- ・脚本：高橋 恵（虚空旅団主宰・劇作家・演出家）
- ・ゲスト出演：
玉岡かおる（作家）
大崎喜子（元オリンピック水泳日本代表、
国際水泳殿堂入り）
白井文（元尼崎市長、現グンゼ株式会社取締役）
竹中恵美子（経済学者、大阪市立大学名誉教授）

ドーンセンターと山沢栄子

ドーンセンターと山沢栄子にはゆかりがあります。7階ホールのホワイエには、山沢栄子作品の陶板画が設置されているのです。センター設立計画の段階から「女性による文化表現」を重視し、センターには、女性表現者による作品が4つ設置されました。その一つが山沢栄子作品です。今回の公演にあわせて、当時ディレクターとして設置にかかわった The Third Gallery Aya の綾智佳さんによるギャラリートークも実施しました。



ギャラリートークの様子
(山沢栄子作品が壁一面にひろがる7階ホールで)

関連企画でドーンセンター機能をフル活用

【山沢栄子ポスター展】

今回の公演に合わせて、山沢栄子が晩年期に制作した抽象写真をポスター化した18作品の展覧会を、ドーンセンター1階ロビーで開催しました。



1階ロビーがアート空間に



公演の様子

【情報ライブラリー企画展示】

ライブラリーコレクション「女性表現作品集」から山沢栄子をはじめ女性写真家による作品集を展示しました。

女性写真家による作品集を展示



【写真ワークショップ】

山沢栄子が晩年期に制作した抽象写真の手法を体験しながら、山沢栄子を知る機会となりました。

【はなみずきキャリア塾Ⅲの参加者が鑑賞】

3月のキャリア塾Ⅲ第2部「ライフを楽しむ」として、「光をあつめて」を鑑賞し、舞台芸術に触れる機会を提供しました。

多数のメディアに掲載されました

- ・産経新聞 2012年1月16日 朝刊
- ・大阪日日新聞 2012年2月3日
- ・日本経済新聞 2012年2月10日 朝刊
- ・毎日新聞 2012年2月14日 朝刊
- ・読売新聞 2012年2月23日 朝刊
- ・毎日新聞 2012年2月28日 朝刊
- ・朝日新聞 2012年3月14日 夕刊
- ・産経新聞 2012年3月15日 夕刊

- ・産経新聞 2012年3月17日 夕刊
- ・朝日ファミリー 2012年3月23日
- ・京都新聞 2012年3月23日 朝刊
- ・毎日新聞 2012年3月23日 夕刊
- ・神戸新聞 2012年3月23日 朝刊
- ・日本経済新聞 2012年4月3日 夕刊

女性芸術劇場の意義

「女性芸術劇場」は、財団の主要事業の一つである文化表現事業のメインイベントです。男女共同参画に向けて、「女性の視点による文化表現を通じた社会変革」をミッションに平成6年度から開催してきました。

啓発に重きをおいた時代を経て、今では、文化そのものの価値に着目した企画・制作・公演を行っています。文化表現事業に取り組む中で、多様な価値を融合させた創造活動のプロセスの中に、本来的に変革の要素が含まれていることを実感するようになったからです。そのプロセスには、鑑賞者が受け取るということも含まれており、これは文化表現以外の事業にも当てはまります。研修やセミナーなどあらゆる事業において、この相互のプロセスを重視することが、個人や組織、社会の変化を生み出すと考えています。

文化表現事業に取り組んできたことが、他の事業展開を開かれたものにしてくれました。これからも参加と創造、そして相互作用の場づくりに取り組んでいきます。

●第17回女性芸術劇場「光をあつめて」 鑑賞者の声

- ・面白い舞台でした。見に来て良かったです（10代・学生）
- ・純粋に楽しめ、感動できる作品でした（20代・無記入）
- ・1人の女性の人生を通じて時代の移り変わりまで描かれている、非常に文化的な公演で、良い刺激でした（30代・会社員）
- ・内容も演者の方々の演技もとても心にひびきました。不思議な感覚になりました（30代・カメラマン）
- ・おもしろかったです。大阪発信のお芝居がもっと見たいです（30代・無記入）
- ・写真をテーマにした劇というのが興味深かったです（40代・会社員）
- ・多くのメッセージがこめられた一つ一つの台詞をもう一度聞きたい。ゲスト出演もおもしろかった（40代・美術家）
- ・美術論・人生論がいっぱい詰まっていてしみじみ感じ入りました。歌唱のうまいのにも驚いた（40代・会社員）
- ・ひとりの自立した個人に着目した時代史として上質の舞台に仕上がっていました。カメラの擬人化という手法も面白かったと思います（60代・会社役員）

「東日本大震災被災者支援」

～ “東北3県での相談事業” と “関西に避難されている方へのサポート” ～

東北3県で被災者のための相談事務局を務める

平成23年度は、内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業」を受託し、2月11日から3月31日まで、東北3県（岩手・宮城・福島）で相談を実施し、財団は事務局を担いました。この事業は、国、地方公共団体、現場で相談を担う女性団体や全国の女性関連施設の相談員の力を結集させた事業でした。

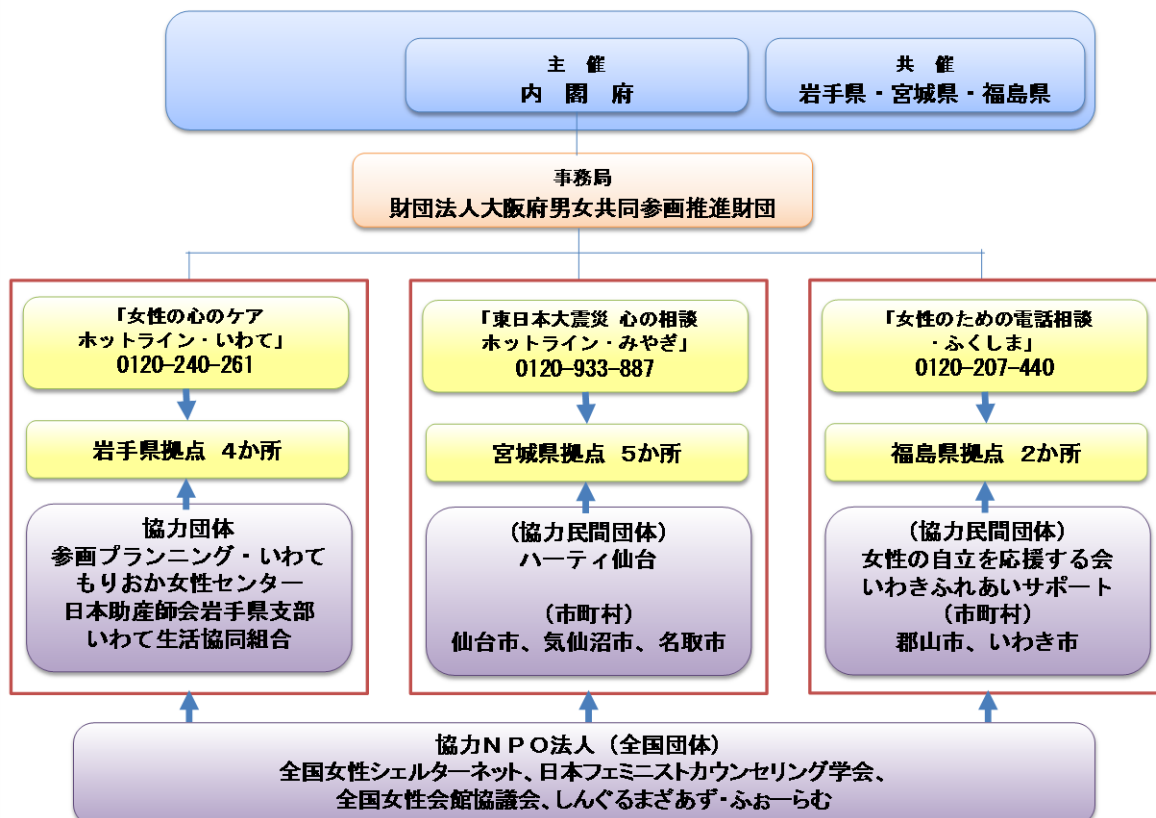
それぞれが持つ強みと専門を十分に理解しながら個々が持つ想いと力をつなぎ、人と物と資金を調整することが私たちの仕事です。これまでの相

談事業の運営経験と、多様な機関との協働コーディネート経験で培ったノウハウを駆使しながら、これこそが、協働時代の財団の役割であると再確認することができました。

東北地域に生まれたネットワークを活かして

平成24年度は、女性の自立を応援するため、東北の女性起業家の物産展をドーンセンターで開催しようと準備をすすめています。また、今後は、相談員養成プログラムなどを提供していくことができるのではないかと考えています。

実施体制図



関西に避難している方のための サポート・グループを開催

震災以後、4月に東日本大震災女性ネットワーク募金への寄附を行い、その後も被災地のために何ができるか模索する中、現地を視察してこられた財団アドバイザーの本多利子さんから、「東北から関西に避難している被災者のためのサポート・グループをやりましょう」と企画提案をいただきました。現地に行かなくても支援はできるのだとの思いを強くし、9月からスタートしました。

賛助会費を活用して 交通費・保育料を無料に

今回、参加者のほとんどが小さなお子さんを連れて避難をされてきた方でした。グループの開催にあたっては、参加者の経済的負担を考慮し、賛助会員のみなさんからいただいた会費を活用して、交通費、保育料の全額を財団で負担しました。見知らぬ土地での生活の中、子どもと離れて自分のことを語れる場がある意味は大きかったようです。大阪の文化になじまず「生活できているのはこのグループがあるから」とおっしゃる方もいました。ファシリテーターには、本多さんをはじめ、ドーンセンターで相談にあたっている相談員が交代で入りました。

クッキング企画や冬物フリマを開催

12月には、ドーンセンターの調理室を活用して、親子でクリスマス料理を楽しみました。また、冬物を集めたフリーマーケットを開催し、「これで冬が越せる」と喜んでいただきました。



みんなで作ったクリスマス料理

「情報をいかに届けるか」に苦心 口コミでひろがる

関西に避難している方にサポート・グループの案内を届けたくても、当初はそのルートがつかめませんでした。大阪府や県人会、NPOセンターなどの支援者に届けたり、社会福祉協議会で被災者のためのお茶のみ会があることを知り、そこで案内を配布しました。当初は4名の参加者でしたが、徐々に口コミで広がり、最終的には10名になりました。また、開催期間も当初は9月～12月の予定でしたが、期間を延長して3月まで開催しました。平成24年度も引き続き開催する予定です。

●「関西に避難されている女性のためのサポート・グループ」参加者の声

- ・毎回こちらで悩みや不安を共有・共感でき、元気を頂いて帰れます。託児で2人の子ども達もみて頂いて、私はゆっくりお話が出来ますし、子ども達も同じような年頃で、同じ境遇だったりするので、安心して預けられます。子どもも毎回うきうきして「こどものへや」で待っていてくれます。本当に母子避難で大阪に来た私には救いの場所でした。
- ・参加の度に悩みや問題が変わってはいるのですが、この集まりで、その都度、問題を解決してられました。まだ、いつ福島に家族そろって帰れるか、まるでメドが立ちませんが、それまで継続して続けて頂ければ本当に有難いです。今後は、私のように子どもをかかえて避難して来られる他のお母さんで困っている方がいたら、私がここで助けて頂いたように、何か力になればと思います。

§ 1 財団の概要

1 基本理念・目的

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための専門的で総合的な支援機能を果たしていくことを財団運営の目的とする。

<運営方針 ー3つのCー>

Continue 継続のC

20世紀に起きた女性の社会参加・参画への理念と熱意、ジェンダー格差是正のための意識改革、女性のエンパワメントの意欲などを継承する。

Collaborate 協働のC

NPOや企業、学校など様々な団体・機関と協働して課題に取り組む。

Change 変革のC

男女共同参画社会づくりを阻む社会慣行や制度を変革する事業を展開する。

2 設立年月日 平成6（1994）年4月1日

3 基本財産 1億円（大阪府全額出資）

4 所在地 大阪府中央区大手前1丁目3番49号

5 主要事業

- （1）女性に関する情報の収集及び提供に関する事業
- （2）女性の抱える問題に関する相談事業
- （3）男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業
- （4）女性の能力開発・ネットワーク事業
- （5）女性に対する暴力対策等人材養成支援事業
- （6）文化表現事業
- （7）調査研究事業
- （8）国際協力事業
- （9）女性の健康支援事業
- （10）次世代育成事業
- （11）指定管理事業

6 役員

理事長	時岡禎一郎	学校法人大阪女学院監事
理事	尼川 洋子	人と情報を結ぶWEプロデュース 代表
	上田理恵子	株式会社マザーネット 代表取締役社長
	金光 哲司	財団法人大阪府男女共同参画推進財団 事務局長

	川中 大輔	シチズンシップ共育企画 代表
	木下みゆき	財団法人大阪府男女共同参画推進財団 統括ディレクター
	高田 昌代	神戸市看護大学 教授
	段林 和江	弁護士
	畑 律江	毎日新聞 学芸部編集委員
	早瀬 昇	社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事
監 事	田上 時子	特定非営利活動法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長
	林 紀美代	公認会計士

※50 音順、肩書は 2011.4 現在

7 アドバイザー

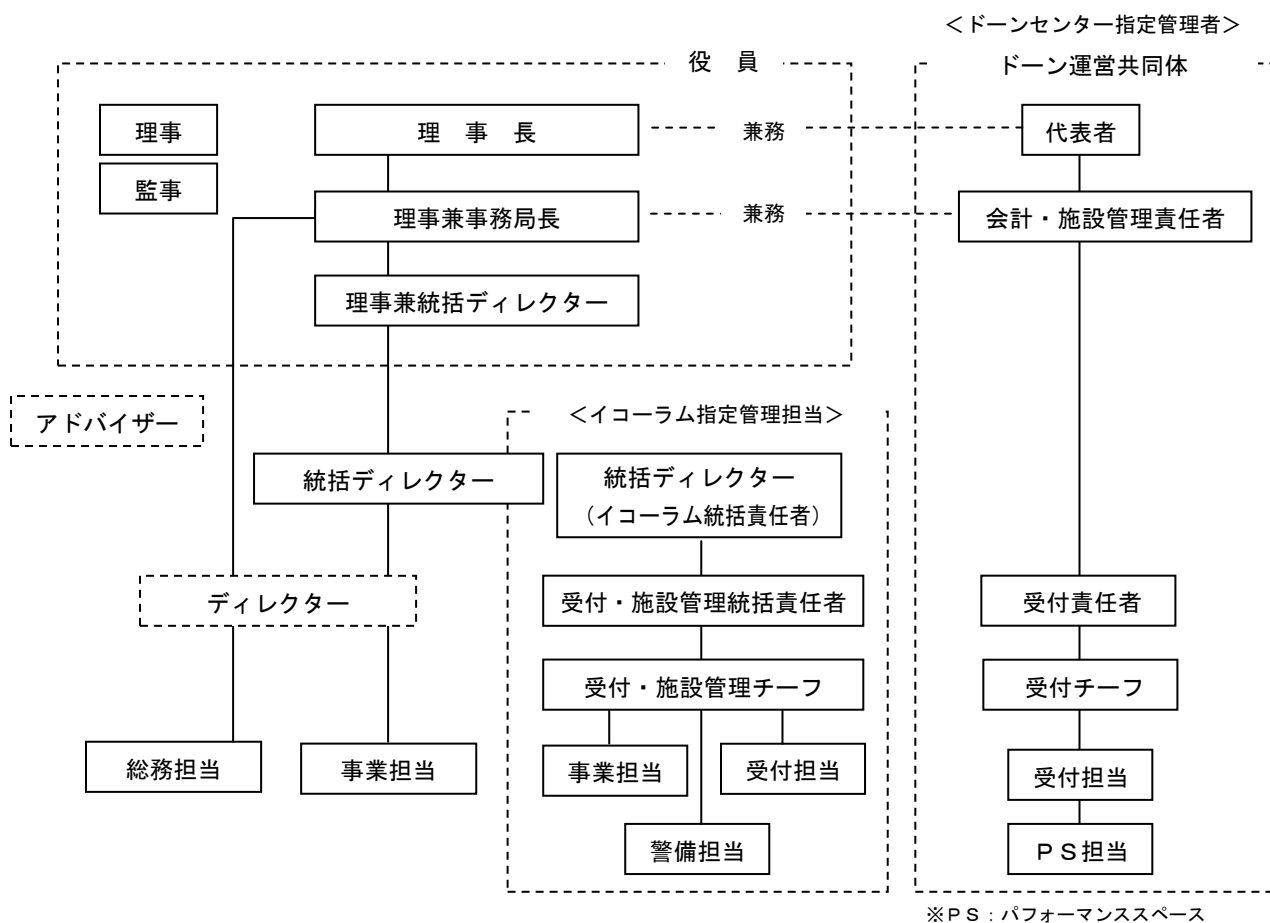
事業企画を行うにあたり、助言や必要に応じたコーディネートを担うアドバイザーを委嘱した。

(委嘱期間：2011年4月～2012年3月)

川喜田好恵	日本フェミニストカウンセラー協会代表理事・カウンセラー
黒瀬友佳子	帝人クリエイティブスタッフ株式会社 人財部 ダイバーシティ推進室長
本多 利子	臨床心理士
宮本由起代	特定非営利活動法人心のサポート・ステーション代表理事、大阪心のサポートセンター代表
ローラ・デールズ	西オーストラリア大学アジア研究学部准教授

※50 音順、肩書は 2011.4 現在

8 組織体制



- 9 職員数** 常勤役員×2名、プロパー職員（常勤役員2名含む）×4名、
 契約職員×22名（20名）、非常勤職員×6名（12名）、期間雇用職員×1名（0名）
 ※2011.4 現在。（ ）内は 2012.3.31 現在

（1）財団事務局

事務局長 金光 哲司（運営担当理事）
 統括ディレクター 木下 みゆき（企画担当理事）
 統括ディレクター 仁科 あゆ美
 ディレクター 阿部 茜
 管理担当チーフ 小村 幹夫（～2011.4.30）
 事業スタッフ 扇田 敬裕、山名 玲子（～2012.2.29）、近藤 裕子、堀 亜紀子、
 平野 敬子、吉川 真希子、外川 恵、但馬 美果（2011.10.1～）
 石道 尚子
 総務スタッフ 矢島 孝子、
 総務兼事業スタッフ 中野 有希、松崎 理沙（2011.4.17～）

（2）東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）担当

統括責任者 小林 洋子
 受付・施設管理総括責任者 武田 勝行
 受付・施設管理チーフ 栗田 まりこ
 事業総括責任者 多幾山 昭子（～2011.4.30）
 事業スタッフ 大野 かおる（～2012.1.31）、中臣 桂子、森松 明子（2011.8.1～2012.2.29）
 受付・事業スタッフ 山名 玲子（2012.3.1～）石川 香緒里（2011.5.11～）
 受付・警備スタッフ 松澤 和彦

（3）ドーン運営共同体担当

受付責任者 岸部 孝子、棚瀬 美幸
 受付チーフ 幸野 智彦
 受付スタッフ 藤原 彩果、石川 敬子、竹林 香織、但馬 美果（～2011.9.30）、
 馬場 恵、香川 倫子、後藤 小寿枝（2012.3.1～）
 PSスタッフ 河村 都、大西 博樹、田村 憲一（2011.5.28～）、橋本 匡（2012.2.7～）、
 林 裕介（2012.3.1～）、

※2011.4 現在

§ 2 財団の運営

1 理事会の開催

(1) 第62回理事会

- 開催日 平成23年6月1日(水) 10:00～12:00
- 議 題 ①平成22年度収支補正予算について
②平成22年度事業報告及び収支決算について
③平成23年度収支補正予算について
④新法人の評議員の推薦について
- 報 告 ①平成22年度ドーン利用促進事業共同体収支決算について
③ドーン利用促進事業共同体の最終決算について
③東大阪市立男女共同参画センター(イコーラム)の事業報告について
④ウィメン・パイオニアズのDVD及びブックレットについて

(2) 第63回理事会(臨時)

- 開催日 平成23年7月15日(金) 14:00～15:40
- 議 題 ①新法人の代表理事について
②新法人の定款の変更の案(案)について
③震災被災者支援事業について
④平成23年度収支補正予算
- 報 告 ①新財団法人移行後の評議員の選任について
②平成22年度財団自己評価書について
③各年度事業報告等の改善についての考え方
④ウィメン・パイオニアズのDVD及びブックレットについて

(3) 第64回理事会(臨時)

- 開催日 平成23年10月20日(木) 14:00～16:00
- 議 題 ①一般財団法人への移行申請について
②一般財団法人移行後の理事・監事の選任について
③就業規則の改定について
④平成23年度新規事業及び収支補正予算について
- 報 告 ①平成24年度事業計画(案)について

(4) 第65回理事会(臨時)

- 開催日 平成24年1月13日(金) 10:00～11:00
- 議 題 ①一般財団法人移行後の理事・監事の選任について
②内閣府事業受託に伴う平成23年度収支補正予算について
- 報 告 ①一般財団法人への移行申請について
②一般財団法人移行後の諸規程(案)について
③最近の主催事業について

(5) 第66回理事会

開催日 平成24年3月22日(木) 10:00～11:50

- 議 題
- ①平成23年度収支補正予算について
 - ②一般財団法人移行の登記申請について
 - ③一般財団法人移行後の諸規程の改正について
 - ④平成24年度事業計画及び収支予算について
 - ⑤一般財団法人移行後の業務執行理事の選任について
 - ⑥一般財団法人移行後の非常勤理事長及び常勤理事の報酬について
 - ⑦退職積立金の取崩しについて

報 告 ①平成23年度事業報告について

2 評議員選定委員会の開催

開催日 平成23年7月1日(金) 10:05～10:40

選定委員 木村 涼子、田上 時子、中村 彰、仁科 あゆ美、森 英子

- 議 題
- ①議長選出の件
 - ②最初の評議員選出の件

3 プロジェクト2011

(1) 東日本大震災被災者支援の取り組み

①「東日本大震災女性センターネットワーク募金」に寄附

2011年3月11日の東日本大震災に際して被災者の方々を応援・支援する女性関連施設(女性センター、男女共同参画センター等)の事業を支援するための「東日本大震災女性センターネットワーク募金」に30万円の寄附を行った。

②「被災地から関西に避難されてきた女性のためのサポート・グループ」の開催

被災地から関西に避難されている女性が集い、生活の変化に伴うストレス、故郷への思い、家族のこと、慣れない土地で暮らす中でのさまざまな悩みなどを語り合える場を提供することを目的に、9月～12月の日程で開催し、その後翌3月まで延長した。

参加者の交通費、なごめる場を提供するための軽食とお茶の経費、保育料を財団で負担し、参加者への経済的負担がかからないよう配慮した。12月にはクリスマスフリーマーケットを開催し、必要な日用品を提供した。また、ファシリテーターには、財団アドバイザーやカウンセラーがボランティアで担当した。

③内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力(集中)相談事業」受託者への応募

入札公告期間 平成23年12月7日(水)～12月19日(月)

入札説明会 平成23年12月14日(水)

入札・改札 平成23年12月20日(火)

結 果 事業受託者として決定

契約期間 平成23年12月21日(水)～平成24年3月31日(土)

④内閣府「平成24年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」受託者への応募

入札公告期間 平成24年3月6日(火)～3月16日(金)

入札説明会 平成24年3月13日(火)

入札・改札 平成24年3月21日(水)

結 果 事業受託者として決定
 契約期間 平成24年4月1日（日）～平成25年2月28日（木）

（2）新法人への移行に向けて

平成20年12月に「新公益法人制度」が施行されたことを受け、新法人への移行に向けた検討を行ってきた結果、「一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団」に移行することを決定した。

理事会承認 第64回理事会（平成23年10月20日）議決
 移行申請日 平成24年1月4日（水）
 移行承認日 平成24年3月13日（火）
 移行日 平成24年4月1日（日）

4 他機関との連携

関係機関相互の情報交換・ネットワーク形成を図ることで、事業及び法人運営の充実を図った。

- （1）特定非営利活動法人全国女性会館協議会 団体会員
- （2）大阪府内女性関連施設連絡協議会 会員
- （3）社団法人おおさか人材雇用開発人権センター 会員
- （4）社団法人日本図書館協会 会員
- （5）専門図書館関西地区協議会 会員
- （6）大阪府外郭団体代表者懇話会 会員
- （7）大阪府男女共同参画推進ネットワーク 会員（2011年11月～）

5 職員研修の実施

（1）内部研修

	月 日	研修名	共同体	イコラーム	財団事務局
1	10月12日（水） 10:30-12:00	「男女共同参画の基本的理解」 講師：清野博子さん	5名	2名	9名
2	10月20日（木） 14:30-15:30	「人権入門」 講師：朴君愛さん	4名	2名	6名
3	10月20日（木） 16:00-17:00	「人権入門」 講師：朴君愛さん	4名	3名	8名
4	10月26日（水） 10:00-12:00	「コミュニケーション術、電話応対」 講師：柴山順子さん	6名	3名	9名
5	11月1日（火） 14:00-15:00	「大阪の男女共同参画の歴史、ドーンの役割」 講師：越堂静子さん	5名	3名	8名

（2）外部研修への派遣

	月 日	研修名	参加者数
1	9月29日（木）・30日（金）	第52回日本母性衛生学会「男女共同参画社会の在り方と問題点」	1名
2	2月4日（土）・5日（日）	日本ファンドレイジング協会主催 「ファンドレイジング・日本2012」	1名

§ 3 広報・PR

1 広報事業

財団の活動内容や事業成果等を広く発信するため、ホームページを運営し、ニュースレターを発行した。

(1) ホームページ (<http://www.ogef.jp/>) の管理・運営

①目 的 当財団の活動内容等を広く情報公開することを目的にホームページを運営する。

②アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年度	3,617	4,291	3,880	3,238	3,854	3,320	3,896	3,506	2,830	4,303	3,636	5,072	45,443
H22年度	2,980	2,471	6,041	7,053	4,795	5,319	3,720	3,644	3,768	4,027	3,492	3,432	50,742

(2) ニュースレター『DAWN通信』の発行

①目 的 賛助会員やご寄附いただいた方などの支援者に向けて活動報告等を行うことを目的に、ニュースレターを発行する。

②発行頻度 季刊

③発行部数 3,000部

④内容等

No.	発行日	内容
第9号	平成23年 4月1日	特集「明るく元気な大阪のために：2つのセンター指定管理の考え方」 トピックス：ドーンセンターとイコーラムで総合的な事業展開 〈執筆〉時岡禎一郎（（財）大阪府男女共同参画推進財団 理事長）
第10号	平成23年 7月1日	特集「35年の時を経て、貴重な映像が蘇る—DVDと書籍、同時刊行！」 トピックス：被災者支援、いま私たちにできること 〈執筆〉高田昌代（神戸市看護大学 教授）
第11号	平成23年 10月1日	特集「女性のエンパワメントのためのスタディツアー：韓国編」 トピックス：「参加の力」を信じよう 〈執筆〉早瀬 昇（（社福）大阪ボランティア協会 常務理事）
第12号	平成24年 1月1日	特集「第17回女性芸術劇場：光をあつめて」 トピックス：前に進むために 〈執筆〉尼川洋子（人と情報を結ぶWEプロデュース 代表）

2 賛助会・サポーター制度運営

(1) 賛助会事務局の運営

- ①賛助会 P R
- ②入会受付・賛助会カードの発行
- ③ニュースレターの発送（年4回）
- ④賛助会員優待事業の案内

第18回女性芸術劇場「光をあつめて」／ドーン・シネマクラブ／2011フェミニストカウンセリング専門講座 等

- ⑤「賛助会員の集い」の開催

(2) 平成23年度入会状況

	会員種別	入会件数	口数
1	個人会員	110 名	157
2	団体会員（非営利）	28 団体	31
3	団体会員（企業）	7 企業	16

(3) 賛助会員一覧（平成24年3月31日現在）

①個人会員

尼川 洋子／荒木 美子／池田 幸雄／石元 清英／伊田 久美子／伊藤 誠／内屋 幸治
馬越 かよ子／梅澤 知子／岡田 昌子／尾後 裕子／梶川 富美子／川上 清／川崎 佳代子
北山 博一／木山 美佳／九門 りり子／倉田 清／黒瀬 友佳子／黒田 まさ子／伍賀 偕子
小谷 晴美／小松 満貴子／三枝 泉／志水 紀代子／清水 由喜／正路 怜子／外川 恵
竹中 恵美子／竹林 克巳／田代 眞朱子／田中 潤子／田中 良正／谷岡 文香／中崎 郁子
中村 彰／夏原 晃子／名取 千里／西辻 達也／橋本 博雅／服部 道代／肥田 和子
藤井 三樹生／藤田 良和／二木 洋子／淵田 智／本多 利子／米谷 優子／萬田 久美子
溝上 久美子／森 栄子／森 俊江／森村 暁子／柳井 真智子／山中 紀代子
山本 隆夫／吉岡 重彰 匿名希望 53名

②非営利団体

BPW 大阪クラブ
I 女性会議大阪
大阪心のサポートセンター
大阪難聴児親の会（あゆみ会）
オパールネットワーク大阪
おんなの目で大阪の街を創る会
カウンセリングニューやあやあ
劇団シルバームーン
高齢社会をよくする女性の会・大阪
国際女性年大阪連絡会
（社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会西日本支部
女性グループ翼
女性のエンパワメントをサポートする会

NPO法人生きがい大阪
 NPO法人大阪府中途失聴・難聴者協会
 NPO法人関西こども文化協会
 NPO法人心のサポート・ステーション
 NPO法人日本交流分析協会 関西支部
 NPO法人ハーティ
 NPO法人リトミック研究センター／大阪第一支局
 NPO法人グループみこし
 浪花勘亭流同好会
 働く女性の人権センター いこる
 柳寿会 他4団体

③企業会員

株式会社学校事務機センター
 株式会社グランビスタ ホテル&リゾート ホテル大阪ベイタワー
 株式会社ゼロワン
 株式会社タツミ
 三菱電機ビルテクノサービス株式会社
 司法書士事務所 ともえみ 他1社

※50 音順、敬称省略

(4) 賛助会員の集い

①目 的 日頃から賛助会員として様々な立場で当財団事業を支援してくださっている方々が一堂に会し、財団の現況説明や賛助会充当事業の実施報告をはじめ、会員相互および財団スタッフが交流する機会を持つ。これにより、賛助会員がより一層、当財団の趣旨に賛同していただくとともに当財団の存在を身近なものと捉え、これからも引き続き支援者であっていただくことに繋げる。

②日 時 平成24年3月28日(水) 19:00～21:00

③場 所 ドーンセンター視聴覚スタジオ (5F)

④対 象 賛助会員

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 申込者数：17名



		テーマ／講師	参加者数
1	3月28日(水)	1) 理事長挨拶 2) 賛助会費充当事業の実績報告 3) 理事からのコメント(畑理事) 4) 財団の事業報告(財団スタッフ) 5) DVD『Women Pioneers: 女性先駆者たち』ダイジェスト版鑑賞 6) 会員リレートーク 7) 会員とスタッフの交流・懇談 8) 新規賛助会員募集協力依頼	17名

3 視察の受入れ

視察の受入れを行い、ドーンセンター及び財団事業についての説明を行った

<受入れ実績>

	月 日	内容	受入数
1	5月17日(火)	静岡県くらし・環境部県民生活局	職員2名
2	6月2日(木)	大阪女子短期大学生活科学科	教員2名 学生17名
3	7月20日(水)	大阪市議会議長	議長1名 秘書1名
4	7月27日(水)	岐阜県可児高校	教員1名 生徒11名
5	9月2日(金)	大阪市立助産師学院「助産学実習」	教員2名 学生19名
6	11月10日(木)	岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」	2名
7	12月2日(金)	大阪教育大学生涯教育計画論専攻学生2回生	教員1名 学生20名
8	12月7日(水)	社会団体海外研修「女性と社会」 主催：特別政府機関“特任長官室” 主幹：韓国放送通信大学	研修生30名 職員4名 サポート3名
9	12月21日(水)	社民党仙台市議団行政視察	議員4名

§ 4 事業概要

1 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業

【事業概要】

- (1) 目 的 女性に関する情報を収集、整理、加工し、データベース化するとともに、これらを活用して、多様な情報ニーズに的確に対応した情報を提供する。
- (2) 日 時 平成23年4月1日～平成24年3月31日
- (3) 場 所 ドーンセンター 情報ライブラリー（2F）

【事業内容・実績】

(1) ドーンセンター情報ライブラリーの運営

女性関係の図書・雑誌・行政資料・視聴覚資料等の閲覧・視聴・貸出サービスを行うほか、利用者からの情報相談に応じる。情報ライブラリーの運営にあたっては、「大阪府立男女共同参画・青少年センター情報ライブラリー管理運営要領」に基づき行う。

- ①開館日時 火・水・木・土曜日 9:30～17:30
金曜日 9:30～20:00

②利用状況

<入館者数・ビデオ館内・貸出・返却・予約・新規登録>

	入館者数	ビデオ館内	貸出	返却	予約	登録(※1)
4月	2,139	123	1,014	928	24	21
5月	1,924	107	767	702	15	38
6月	2,368	165	824	931	15	41
7月	2,275	114	931	750	17	29
8月	2,372	111	748	926	5	24
9月	2,132	84	731	638	24	45
10月	1,983	56	822	755	16	23
11月	1,813	85	573	663	18	8
12月	1,452	63	490	525	28	10
1月	1,415	64	508	554	18	13
2月	1,758	63	574	559	20	20
3月	2,069	98	709	817	8	13
H23年度	23,700	1,133	8,691	8,748	208	285
H22年度	26,366	1,459	10,956	10,856	243	307

※1 ライブラリーカード新規登録者数（カード登録者数 計21,821人）

<資料別貸出冊数>

分 類	平成23年度 (H24.3.31現在)	平成22年度 (H23.3.31現在)
図書・雑誌(冊)	5,129	6,759
行政資料(冊)	354	262
視聴覚資料(点)	3,208	3,935
合 計	8,691	10,956

<情報相談>

ライブラリースタッフが、図書・資料・データベース等を活用して、検索指導や来館・電話・メールによる情報相談に応じる。

分 類	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
利用案内	4,267	4,880
検索指導	232	255
資料の所蔵・所在調査	1,145	1,076
特定テーマの資料案内	458	720
人材・学習情報の提供	138	282
グループ・施設情報の提供	54	119
ライブラリー活動・運営情報の提供	102	150
その他	5	0
合 計	6,401	7,482

<府内公共図書館協力貸出サービス>

非来館者に対するサービス拡充のため、大阪府立図書館の協力により、府内公共図書館への協力貸出サービスを行う。

府内公共図書館への貸出（冊）	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
	2	7

<大阪市立男女共同参画センター（クレオ大阪）との相互貸借サービス>

非来館者に対するサービス拡充のため、府市連携により、所蔵資料の相互貸借サービスを行う。

クレオ大阪との相互貸借（冊）	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
	27	4

③図書・資料の蔵書数

		平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
図 書（冊）		42,126	41,742
行政資料（冊）		12,889	12,633
視聴覚資料（点）		2,229	2,191
	ビデオ	1,679	1,688
	DVD	516	421
	カセットブック	34	34
雑誌（冊）		50,524	49,380
	タイトル数	1,675	1,636

(2) 人材情報データベースの管理運営

審議会や各種委員会委員候補となる様々な分野の女性人材や女性問題等の専門家に関するデータベースを管理運営し、依頼によって照会に応じる。

＜既存データの更新＞ 年 1 回

＜人材情報を提供した情報相談件数＞ 計 9 9 件

(3) ドーンセンターホームページの管理運営

ドーンセンターホームページ (<http://www.dawncenter.or.jp/>) の管理運営に係る統括者として、センターで実施される事業案内・トピックス等をホームページで情報提供する。

トップページへのアクセス数	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
	296, 854	321, 315

＜メニュー別アクセス数＞

メニュー名称	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
事業案内	43, 133	44, 103
施設案内	250, 509	257, 799
講座・イベント	113, 971	148, 260
情報ライブラリー	679, 477	762, 542
女性情報ステーション	68, 946	88, 257
出版物	70, 487	85, 361
事業統計	22, 982	31, 071
リンク集	8, 844	10, 866
Introduction in English	58, 667	77, 941
携帯電話による施設利用状況アクセス	5, 235	4, 564
合 計	1, 322, 251	1, 510, 764

(4) 情報配信サービス

①メールマガジン『e-DAWN』の発行

ドーンセンターの最新ニュースを伝えるメールマガジンを月 2 回発行。

登録者数 (人)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
	1, 217	1, 286

②情報メールサービスの配信

インターネット上で発信された情報から、男女共同参画に関わる活動や学習に活かせるものをピックアップし、月 1 回メールで配信。

登録者数 (人)	平成 23 年度 (H24. 3. 31 現在)	平成 22 年度 (H23. 3. 31 現在)
	219	213

(5) 視察・体験学習・フィールドワーク等の受入れ

情報ライブラリーの所蔵資料を活用し、学びの機会を提供した。

	日時	内容	参加者数
1	4月23日(土)	ライブラリーツアー(はなみずきキャリア塾Ⅲ受講生)	10名
2	4月26日(火)～ 28日(木)	職場体験(JOB プラザ OSAKA)	2名
3	5月24日(火)	ライブラリーツアー(「母子家庭のお母さんなどを対象とした 職業訓練」5月開講コース受講生)	15名
4	6月2日(木)	フィールドワーク(大阪女子短期大学)	学生17名 教員2名
5	6月2日(木)	情報ライブラリー視察(クレオ大阪東)	1名
6	6月28日(火)～ 7月5日(火)	職場体験(JOB プラザ OSAKA)	1名
7	7月8日(金)	ライブラリーツアー(「母子家庭のお母さんなどを対象とした 職業訓練」7月開講コース受講生)	13名
8	7月8日(金)	フィールドワーク(大阪私立学校人権教育研究会)	15名
9	7月27日(水)	情報ライブラリー視察(岐阜県立可児高等学校)	13名
10	8月9日(火)～ 8月12日(金)	新任教員研修(大阪府立吹田高等学校、大阪府立吹田東高等 学校)	5名
11	9月1日(木)	情報ライブラリー視察(滋賀県男女共同参画センターG-NET しが、草津市人権政策部人権センター 男女共同参画担当)	2名
12	9月2日(金)	フィールドワーク(大阪市立助産師学院)	20名
13	9月16日(金)	ライブラリーツアー(「母子家庭のお母さんなどを対象とした 職業訓練」9月開講コース受講生)	10名
14	10月14日(金)	フィールドワーク(大阪府立西成高等学校)	生徒18名 教員2名
15	10月27日(木)～ 10月28日(金)	大阪女学院大学「人権教育講座」	学生30名 教員2名
16	11月9日(水)	ライブラリーツアー(真宗大谷派大阪教習所)	6名
17	11月24日(木)～ 12月9日(金)	同志社大学図書館司書課程実習	2名
18	11月29日(火)～ 12月2日(金)	職場体験(JOB プラザ OSAKA)	1名
19	12月2日(金)	フィールドワーク(大阪教育大学)	学生20名 教員1名
20	12月7日(水)	情報ライブラリー視察(韓国機関主催研修プログラム)	37名
21	12月10日(土)	ライブラリーツアー 琉球大学図書館	2名
22	12月21日(水)	情報ライブラリー視察(仙台市議会委員)	5名
23	3月1日(木)～ 3月30日(金)	職場体験(JOB プラザ OSAKA)	1名
			計253名

(6) 情報ライブラリー所蔵資料のテーマ展示

ドーンセンターで開催する大阪府および当財団主催の関連事業に合わせて選書し、展示した。

	テーマ	展示資料数	配布リスト数
4 月	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム	131	300
	2010 年度貸出ランキング	178	300
	はなみずきキャリア塾Ⅲ 関連資料	150	300
6 月	シングルマザーの仕事と支援	119	-----
	「男女共同参画週間」関連図書	131	200
	不妊のこと話し合ってみませんか	130	-----
7 月	よりよい関係をつくるために：交際相手からの暴力防止	71	300
	Women Pioneers---女性先駆者たち	150	-----
8 月	パートナー関係のこと、話しあってみませんか（不妊専門相談センター関連資料）	52	300
	シングルマザーの仕事と支援	119	-----
10 月	読書の秋 大阪出身の女性作家	120	-----
	女性に対する暴力をなくす運動 2011	121	200
	シングルマザーの仕事と支援	119	200
12 月	作家 田辺聖子の著書コーナー	112	-----
1 月	光をあつめて「女性芸術劇場 山沢栄子」	23	-----
	女性歌人たちの百人一首	56	-----
	企業の持続的成長のための処方箋：キーワードは女性社員の活躍	114	300
2 月	Women Pioneers---女性先駆者たち	306	200

(7)『Women Pioneers—女性先駆者たち』DVD鑑賞&読書会

- ①目 的 当財団がDVDならびにブックレットを制作した『Women Pioneers』を用い、女性の社会的地位、労働問題、男女共同参画といった今の時代に繋がる問題を考え、歴史的流れを理解する。
- ②日 時 平成24年2月17日(金)～3月16日(金)
18:00～20:00 全3回
- ③場 所 ドーンセンター情報ライブラリー書庫・グループブース(2F)
- ④参加費 資料代として1,000円
- ⑤内容・参加実績 定員:20名、申込者数:16名、参加者数:14名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月17日(金)	消費者運動と食の安全 (Women Pioneers 第2巻 高田ユリと消費者運動) お話: 鈴木彩加 (大阪大学大学院人間科学研究科)	6名
2	3月2日(金)	今昔・理系女子 (Women Pioneers 第6巻 阿武貴美子 科学の世界に挑む) お話: 織田暁子 (京都大学大学院文学研究科、 日本学術振興会特別研究員) ゲスト: 黒田桂菜 (大阪府立大学大学院工学研究科、IRIS メンバー)	4名
3	3月16日(金)	女性と政治 (Women Pioneers 第3巻 市川房枝と婦人参政権のあゆみ) お話: 林葉子 (同志社大学人文科学研究所嘱託研究員、 池坊短期大学等非常勤講師)	9名
			(延)19名

IRIS (I'm a Researcher In Science) は、小・中・高校生に科学の楽しさを伝える大阪府立大学の理系の女子大学院生チーム

2 女性の抱える問題に関する相談事業

【事業概要】

- (1) 目 的 女性の直面しているさまざまな問題について、相談カウンセリングを通じ、女性の自立と主体的な生き方に向け、必要な援助と解決のためのサポートを行う。
- (2) 日 時 平成23年4月1日～平成24年3月31日
- (3) 場 所 ドーンセンター サポート・カウンセリングルーム（3F）

【事業内容・実績】

(1) 女性のための面接相談

- ①日 時 火～金曜日 17:00～21:00
土・日曜日 10:00～18:00
- ②相談員 専門の女性カウンセラー
- ③相談件数

<主訴・年代別相談件数>

		平成23年度										平成22年度	
主訴／年代		～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計	(%)	合計	(%)
生き方		1	24	111	121	43	21	3	2	326	23.4	247	18.3
こころ		0	7	48	39	19	12	4	4	133	9.6	136	10.1
からだ		0	0	2	1	1	3	0	0	7	0.5	14	1.0
仕事上の問題		1	1	5	10	5	2	0	1	25	1.8	23	1.7
パートナー関係		0	8	85	60	32	17	3	0	205	14.7	184	13.6
親子・家庭の悩み		0	6	38	62	36	30	6	3	181	13.0	202	15.0
人間関係の悩み		1	9	43	40	5	2	0	1	101	7.3	97	7.2
性・暴力被害		1	37	167	108	52	36	5	5	411	29.5	435	32.3
暮らし		0	0	1	0	1	0	0	0	2	0.1	10	0.7
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
H23 年度	合計	4	92	500	441	194	123	21	16	1,391	100.0	1,348	100.0
	(%)	0.3	6.6	35.9	31.7	13.9	8.8	1.5	1.2	100.0			
H22 年度	合計	9	106	486	419	167	129	22	10	1,348			
	(%)	0.7	7.9	36.1	31.1	12.4	9.6	1.6	0.7	100.0			

<月別相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年度	122	120	114	127	114	107	120	121	111	111	105	119	1,391
H22年度	114	111	125	120	113	103	118	101	108	96	115	124	1,348

(2) 女性の悩み電話相談

①日 時 火～金曜日 17:00～20:00

土・日曜日 10:00～16:00

②相談員 女性相談員

③相談件数

<主訴・年代別相談件数>

		平成 2 3 年度										平成 2 2 年度	
主訴／年代		～10代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70代～	不明	合計	(%)	合計	(%)
生き方		0	3	47	65	116	6	4	13	254	12. 1	260	11. 5
こころ		2	15	109	126	169	21	2	50	494	23. 5	467	20. 7
からだ		2	2	7	13	59	1	0	5	89	4. 2	128	5. 7
仕事上の問題		0	5	9	9	7	1	0	5	36	1. 7	32	1. 4
パートナー関係		0	7	52	46	34	22	3	13	177	8. 4	196	8. 7
親子・家庭の悩み		0	5	29	59	75	13	3	5	189	9. 0	196	8. 7
人間関係の悩み		0	14	44	106	45	8	1	15	233	11. 1	229	10. 1
性・暴力被害		0	11	42	60	24	11	3	9	160	7. 6	169	7. 5
暮らし		0	0	11	13	25	0	1	19	69	3. 3	77	3. 4
その他		0	1	3	0	1	1	0	398	404	19. 2	503	22. 3
H23 年度	合計	4	63	353	497	555	84	17	532	2, 105	100. 0	2, 257	100. 0
	(%)	0. 2	3. 0	16. 8	23. 6	26. 4	4. 0	0. 8	25. 3	100. 0			
H22 年度	合計	6	70	327	485	565	100	15	689	2, 257			
	(%)	0. 3	3. 4	14. 5	21. 5	25. 0	4. 4	0. 7	30. 5	100. 0			

<月別相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年度	182	166	173	202	172	160	194	156	169	159	174	198	2,105
H22年度	225	189	216	202	203	167	182	163	180	163	169	198	2,257

<留守電件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年度	465	527	402	369	413	532	445	480	399	489	550	395	5,466
H22年度	391	387	404	445	472	460	372	422	315	406	496	508	5,078

（３）相談事務局の運営

①目 的 相談に関する問い合わせや面接相談の予約受付業務及び相談来訪者対応を行うとともに、より適切な相談機関につなぐためのインテークや情報提供業務を行う。

②日 時 火～金曜日 １３：３０～１８：００ １８：４５～２１：００
土・日曜日 ９：３０～１３：００ １３：４５～１８：００

③対応件数

<問い合わせ・予約受付等件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H23	H22
相談予約等	168	148	157	144	126	126	151	165	118	127	142	179	1,751	1,748
インテーク	22	28	24	23	41	60	11	5	18	18	25	20	295	196
事務電話	41	35	34	42	56	29	35	44	41	44	42	46	489	609
来訪者対応	127	148	119	127	118	113	125	122	119	114	136	121	1,489	1,410
H23 年度	358	359	334	336	341	328	322	336	296	303	345	366	4,024	3,963
H22 年度	358	312	350	341	351	292	352	318	334	286	318	351	3,963	

<留守電件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23 年度	102	148	111	84	111	110	97	81	19	57	129	110	1,159
H22 年度	105	108	126	131	142	106	130	120	97	109	106	136	1,416

（４）相談員会議の開催

①目 的 相談事業に関わる相談員及び事務局スタッフが定期的に集まり、相談事業運営会議およびケース検討会を実施することで、相談事業の質と専門性の維持・向上を図る。

②日 時 原則第 1 火曜日 １４：００～１６：００ ※休館日にあたる場合は翌週に振替え

③出席者 電話・面接相談員、相談事務局、統括ディレクター、事務局長

※その他、議題に応じて関係者が出席

④内容・出席者数

	月 日	議 題	出席者数
1	4月5日（火）	平成23年度業務推進体制について／相談事業の運営について	16名
2	5月10日（火）	平成23年度面接相談・電話相談の実施体制について ケース検討：DVの後遺症に苦悩する女性の事例	13名
3	6月7日（火）	法人移行について ケース検討：パートナーとの関係に葛藤を抱える女性の事例	13名
4	7月5日（火）	評議委員の選考について／節電について ケース検討：生殖医療	12名
5	9月6日（火）	フェミニストカウンセリング専門講座及び被災女性サポート・グループについて ケース検討：「自分が人を不幸にする」「悪いことの元凶は自分」という思いに苦しむ女性の事例	13名
6	10月4日（火）	来年度の相談事業の方向性について	12名

		ケース検討：結婚を前提とした交際相手の癖に悩む女性の事例	
7	11月1日（火）	関係機関との連携会議の報告 ケース検討：自分は負け組だという価値観から逃れられない女性の事例	14名
8	12月6日（火）	被災地におけるメンタルケアの実践報告 ケース検討：アクティングアウトを繰り返す女性の事例	16名
9	3月6日（火）	次年度の相談事業について ケース検討：「寂しさが募ると死にたくなる…自殺企図のある女性のケース」	14名

（５）相談員研修の実施

①目的 電話・面接相談を担当する相談員を対象に、スーパービジョンの機会をつくることで、相談事業の質と専門性の維持・向上を図る。また、新たに相談員を雇用した場合は、一定期間の研修を行う。

②日時 随時

③対象 電話・面接相談員、相談事務局スタッフ

④内容

＜新任相談員・スタッフ研修＞

	月 日	内容	参加者数
1	8月26日（金）	DV・デートDV防止に向けて～DVと子どもへの影響～	1名
2	8月27日（土）	ファシリテーション・スキル講座	1名
3	9月12日（月）	内部職員研修（男女共同参画・世界の動きと私の生き方・働き方）	2名
4	10月19日（水）	内部職員研修（コミュニケーション・パーソナリティ）	1名
5	10月19日（水）	男性向け講座：心が折れない男の生き方	1名
6	12月3日（土） ・17日（土）	フェミニストカウンセリング専門講座：理論コース	2名

＜スーパービジョン＞

	月 日	内容	参加者数
1	1月18日（水） 2月8日（水）	スーパービジョン講座・DV被害者支援編	1名
2	1月24日（火） 2月21日（火） ・28日（火）	スーパービジョン講座	2名

（６）広報

①リーフレットの作成、関係機関への配布等

月	媒 体 等
4月	関係機関への配布 3,000部 財団ニューズレター『DAWN通信：第9号』掲載
6月	神戸学院大学ハラスメント相談室へリーフレット送付

10月	弁護士会主宰「東日本大震災による大阪府下への被災者の支援に関する懇親会」での配布
12月	日本司法支援センター大阪地方協議会での配布
随時	ドーンセンター館内リーフレット配架

②ホームページ・メールマガジンなどを活用したWEB発信

4月：ドーンセンターホームページ更新

③関係機関が発行する相談先一覧への掲載

月	媒 体
4月	堺市自殺対策事業リーフレット「相談機関一覧（悩み相談）2011年度版」
5月	日本司法支援センター大阪地方事務所「データベース登録」
6月	茨木市「ひとり親家庭に配布する冊子」 寝屋川市「DV相談カード」
7月	大阪府警察本部「相談窓口案内」
8月	和泉市「女性問題総合相談窓口」 大阪府警察本部「被害者の手引」
10月	豊中市「人権白書」 枚方市「配偶者からの暴力相談窓口」
11月	豊中市ホームページ「相談窓口」
12月	大阪府青少年・地域安全室「犯罪被害者向けリーフレット」 財団法人枚方市文化国際財団「外国人DV被害者支援情報」
1月	池田市「くらしの便利帳」
2月	大阪府警察本部府民安全対策課DV対策係「パンフレット」 堺市自殺対策事業「相談機関一覧2012年度版」
3月	枚方市立保健センター「すくすく子育て手帳」

④研修・講座受講生への案内

月	研修・講座名
5月	はなみずきキャリア塾：メンタルヘルス編
6月	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム：基礎編
8月	学校教員のための研修プログラム「学校現場とDV～暴力の連鎖を防ぐために～」
10月	女性のための相談事業に関わる担当者の為の研修プログラム 災害を受けて東北から関西に来られた女性のためのサポート・グループ 交際相手からの暴力の予防啓発指導者の為の研修 2011ACCJ KANSAI Walk-A-Thon
11月	男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム：応用編
12月	フェミニストカウンセリング専門講座
1月	スーパービジョン講座 スーパービジョン講座：DV被害者支援編

（7）社会資源情報の収集と提供

月	研修・講座名
4月	大阪弁護士会「東日本大震災被災者向け無料法律相談」

	上六公証役場「離婚給付契約に必要な書類」 大阪司法書士会「女性と子どものための専門相談」「借金問題電話相談」等 一般財団法人DVサバイバーアドボカシーセンター「知っておこう“保護命令”の申し立て」
5月	内閣府男女共同参画局「配偶者暴力加害者対応マニュアル」
6月	大阪弁護士会「外国人法律相談」「生活保護法律相談」 “共生社会をつくる”セクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク「セクシュアル・マイノリティ悩み相談ホットライン」「親と教師のためのセクシュアル・マイノリティ入門ハンドブック」
7月	W・Sひょうご「8月集中 デートDV電話相談」 立命館大学リーガルクリニックⅡ「女性と人権」
8月	摂食障害の子どもをもつ親たちの自助グループ「つくしの会」
9月	こころの救急箱（自殺防止）
12月	大阪市人権啓発・相談センター「人権なんでも相談」
2月	日本司法支援センター「犯罪被害者支援業務に関するアンケート」

（８）カウンセラー派遣

①目 的 配偶者からの暴力による被害者を保護している民間シェルターに対し、被害者の心理的援助を行う女性カウンセラーを派遣し、被害者の自立に資する。

②派遣・相談件数

<月別件数>

平成２３度													
派遣先／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
シェルター（I）	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
シェルター（S）	2	2	2	4	2	3	3	3	3	4	4	4	36
	2	2	2	4	2	3	3	3	3	4	4	4	36
シェルター（R）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シェルター（Y）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シェルター（A）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	7	7	9	7	8	8	8	8	9	9	9	96
	7	7	7	9	7	8	8	8	8	9	9	9	96

シェルター名については保護の必要上、頭文字等で表す。上段は訪問回数、下段は相談者数

<前年度比較>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成２３年度	7	7	7	9	7	8	8	8	8	9	9	9	96
	7	7	7	9	7	8	8	8	8	9	9	9	96
平成２２年度	6	6	6	6	6	6	7	10	10	10	11	12	96
	6	6	6	6	6	6	7	10	10	10	11	12	96

(9) その他

①啓発講座事業において相談員が講師を務め、女性相談の知識と技術を提供

月	研修・講座名
6 月	大阪府主催「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム（基礎編）」
10 月	大阪府主催「女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム」

②通所証明書の発行及び個人情報開示件数

月	内容	件数
6 月	個人情報開示	1
7 月	通所証明発行	1
12 月	個人情報開示	1
2 月	個人情報開示	1
	通所証明発行	1

③関係機関との連絡会議への出席

	月 日	内容
1	10 月 7 日（金）	大阪府被害者連絡会議
2	10 月 26 日（水）	弁護士会主宰「東日本大震災による大阪府下への避難者の支援に関する懇親会」
3	11 月 24 日（木）	大阪市人権啓発・相談センターとの連絡会
4	12 月 13 日（火）	日本司法支援センター大阪地方協議会
5	1 月 27 日（金）	女性相談センターとの連絡会議

3 男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業

【事業概要】

- (1) 目 的 男女共同参画に対する正しい理解と認識を深めるため、男女共同参画社会基本法、大阪府男女共同参画推進条例並びに改定おおさか男女共同参画プランの趣旨を踏まえ、大阪府域における男女共同参画施策の課題を分析し、実践的かつ効果的な講座やワークショップ、学習会等を実施する。
- (2) 日 時 平成23年4月1日～平成24年3月31日

【事業内容・実績】

(1)「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム＜基礎編＞」

- ①目 的 初めて男女共同参画施策に関わる職員が、ジェンダーの視点を高め、プログラムを企画・立案し、事業を推進していく力量の形成をめざす。
- ②日 時 平成23年5月19日（木）～6月9日（木） 全6回
- ③場 所 ドーンセンター大会議室3（4F）
- ④対 象 配属年数が1年程度の男女共同参画施策担当の行政職員、関係機関及び関連施設の職員
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：71名（44名）、参加者数：71名（44名）



	日時	テーマ／講師	参加者数
	5月19日（木） 13:30-14:00	オリエンテーション	52名 (32名)
1	5月19日（木） 14:00～16:00	世界の流れ・日本の動きを知る 清野博子（元ドーンセンター館長）	
2	5月26日（木） 10:30～12:30	五感で考えるジェンダー 川中大輔（シチズンシップ共育企画代表・ファシリテーター、 （財）大阪府男女共同参画推進財団理事）	46名 (28名)
3	5月26日（木） 14:00～16:00	担当者のための情報活用ノウハウ ～女性情報、インターネット、著作権～ 木下みゆき（（財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	43名 (24名)
4	6月2日（木） 10:30～12:30	女性相談とは ～女性のエンパワメントのための相談のあり方～ 川喜田好恵（（財）大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー）	47名 (26名)
5	6月2日（木） 14:00～16:30	講座の企画、広報・運営－1 仁科あゆ美（（財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	41名 (22名)
6	6月9日（木） 14:00～16:30	講座の企画、広報・運営－2 仁科あゆ美（（財）大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター）	39名 (23名)
			(延)268名 (155名)

※（ ）内は大阪府内のみを集計

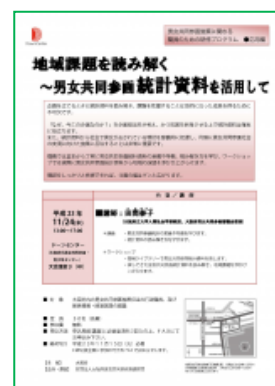
（２）「男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム＜応用編＞」

- ①目 的 男女共同参画の啓発における取組として、既に基本的知識・視点を身に付けた職員を対象に、体験型研修を実施する。

企画を立てる際に統計を読み解き地域の現状や課題を把握する作業は不可欠でありながら、正確に統計を読み解く能力をつける機会は少ないことから、本年は、男女別統計資料を素材に、職員が男女別統計から性別に関わる地域の課題を読み解く視点を身に付け、自市の地域課題を把握するための研修を行う。

＊行政職員にとってドーンセンター情報ライブラリーが有益であり、普段から活用できるものであることをPRする。

＊参加職員同士のネットワークづくりに努める。



- ②日 時 平成23年11月24日（木）13：00～17：00

- ③場 所 ドーンセンター大会議室3（4F）

- ④対 象 大阪府内の男女共同参画施策担当の行政職員、及び関係機関・関連施設の職員

- ⑤参加費 無料

- ⑥内容・参加実績 定員：30名、申込者数：19名、参加者数：18名

		テーマ／講師	参加者数
1	11月24日（木） 13:00～17:00	地域課題を読み解く ～男女共同参画統計資料を活用して～ 【講義】 ・男女共同参画統計の意義や特徴を学ぶ ・統計資料の読み解き方を学ぶ 【ワークショップ】 ・情報ライブラリーで男女共同参画統計資料を探す ・探してきた男女共同参画統計資料を読み解き、地域課題を浮かび上がらせる 田間泰子（大阪府立大学人間社会学部教授、 大阪府男女共同参画審議会委員）	18名

（３）「女性のための相談事業に関わる担当者のための研修プログラム」

①目 的 女性を対象とした相談事業に携わる職員が、女性の悩みの背景にあるジェンダー問題を理解するとともに、男女共同参画社会づくりの視点から、女性相談のあり方を理解し、女性相談の実際について具体的に学び、相談事業の運営に役立ててもらうことを目的に開催する。

②日 時 平成23年10月6日（木）・13日（木）

③場 所 ドーンセンター大会議室2（5F）

④対 象 女性を対象とした相談に携わる事業担当者及び相談員、関係機関及び関連施設の職員

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：59名、決定者数：59名、参加者数：55名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月6日（木） 10:30～12:30	相談現場から見える女性問題：女性の悩みをジェンダーの視点で読み解く 川喜田好恵（日本フェミニストカウンセラー協会 代表理事）	48名
2	10月13日（木） 14:00～16:00	女性相談の実際：構成事例を使って 杉本志津佳（（財）大阪府男女共同参画推進財団カウンセラー）	36名
			（延）84名



（４）学校教員のための研修プログラム「学校現場とデートＤＶー暴力の連鎖を防ぐために」

①目 的 「男女間における暴力に関する調査」（内閣府平成20年度によると、10歳代、20歳代のときに交際相手から被害を受けたことがあると答えた人は、女性13.6%、男性4.3%に及ぶ。

平成22年10月にドーンセンターで開催された内閣府事業「交際相手からの暴力の予防啓発：指導者のための研修」には定員を超える多数の申し込みがあり、学校現場におけるこのテーマへの関心の高さを再認識した。また、近年、学校教職員から情報ライブラリーに寄せられる情報相談にも、若年DV関連の内容が増えてきている。

こうした背景から、学校教員を対象に、児童・生徒への予防啓発の重要性や効果的な指導の具体的方法等についての研修を実施することにより、教育現場での若年DVの予防につなげることを目的とした研修プログラムを実施する。

②日 時 平成23年8月3日（水）・4日（木）

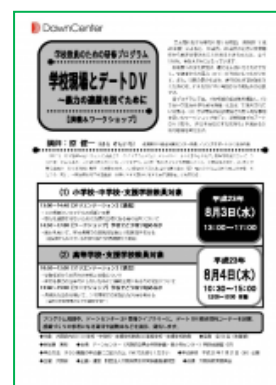
③場 所 ドーンセンター特別会議室（5F）

④講 師 原 健一（佐賀県DV総合対策センター所長／メンズサポートふくおか代表）

⑤対 象 大阪府内の小学校・中学校教員、大阪府内の高等学校教員

⑥参加費 無料

⑦内容・参加実績 定員：50名、申込者数：55名、決定者数：55名、参加者数：56名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	8月3日（水） 13：00～17：00	（1）小学校・中学校・支援学校教員対象 【講義】 ・DV環境にいる子どもの理解と支援 ・暴力を連鎖させないために指導的立場にある者の役割について 【ワークショップ】学校でどう取り組めるか 教材を用いて、学校現場での実践的な暴力予防教育を考える	23名
2	8月4日（木） 10：30～15：00	（2）高等学校・支援学校教員対象 【講義】 ・交際相手からの暴力の実態と支援について ・若者を暴力の当事者にしないために指導的立場にある者の役割について 【ワークショップ】 ・具体的な事例を用いて、学校現場での実践的な指導を考える	33名
			（延）56名

（５）企業向け啓発講座「企業の持続的成長のための処方箋～キーワードは女性社員の活躍～」

①目 的 理論編では、中・小規模企業の経営者を対象に女性社員の活躍を支援することが経営戦略上欠かせないことを説き、そのために導入すべき諸施策について提案することで、女性の積極活用を促進する。

実践編では、企業内での女性の活躍に関心があり、これから取り組みたいと考えている企業の管理職及び人事労務担当者を対象に、企業の取り組み事例を紹介し、女性社員の活躍推進を啓発する。

②日 時 【理論編】平成24年2月23日（木）19:00～21:00

【実践編】平成24年3月1日（木）14:00～16:00

③場 所 ドーンセンター大会議室2（5F）

④対 象 【理論編】中・小規模企業の経営者他

【実践編】中・小規模企業の管理職、人事担当者他

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績

【理論編】定員：50名、申込者数：16名、決定者数：16名、参加者数：7名

【実践編】定員：50名、申込者数：28名、決定者数：28名、参加者数：21名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	2月23日（木） 19:00～21:00	【理論編】経営戦略上欠かせない！女性社員の活躍推進 川口章（同志社大学政策学部教授）	7名
2	3月1日（木） 14:00～16:00	【実践編】事例で学ぶ！女性社員の活躍推進 事例発表企業：酒井食品株式会社、クリロン化成株式会社 コーディネーター：北口祐規子（中小企業診断士、オフィス KITS 代表）	21名
			（延）28名

（６）男性向け啓発講座「心が折れない男の生き方」

- ①目 的 現代社会において、仕事の頑張りすぎによる疲れや、職場の人間関係に馴染めないなどの問題を抱えて独りで悩み、いずれ深刻な事態に陥る可能性のある男性が増えている。

内閣府の「地域における相談ニーズに関する調査」（平成22年8月）でも健康、病気、障害や、メンタルヘルス、ストレスなどが、男性が抱える問題の上位にあげられており、また以前実施した男性向け講座の参加者からも、メンタルヘルスやうつに関する講座を希望する声が上がっている。

現在このような悩みを抱えている男性や、またそのような可能性のある男性が、深刻な事態に陥る前に自身のおかれている現状に気づき、しなやかに・おだやかに・したたかに生きるヒントを探ってもらおう。



- ②日 時 【メンタルヘルス編】平成23年10月19日（水）19：00～21：00
【ワーク・ライフ・バランス編】平成23年10月26日（水）19：00～21：00

- ③場 所 ドーンセンターパフォーマンススペース（1F）

- ④対 象 テーマに関心のある男性

- ⑤参加費 無料

- ⑥内容・参加実績

【メンタルヘルス編】定員：50名、申込者数：108名、決定者数：108名 参加者数：61名

【ワーク・ライフ・バランス編】定員：50名、申込者数：110名、決定者数：110名 参加者数：51名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	10月19日（水）	【メンタルヘルス編】 あなたの心が折れる前に… ～男の悩み相談の現場から～ 吉岡俊介（シニア産業カウンセラー）	61名
2	10月26日（水）	【ワーク・ライフ・バランス編】 しなやかに、おだやかに、したたかに～これからの男の生き方～ 聞き手：吉岡俊介（シニア産業カウンセラー） スピーカー：中森勇人（ジャーナリスト）	51名
			（延）112名

(7) 女子学生向け啓発講座

「働くことは生きること～なが～い眼で見た私の生き方と仕事～」

- ①目 的 長引く世界同時不況や東日本をおそった大震災など、今、日本では先の見えない不安定な状態が続いている。この状況は大学生の就職活動を著しく困難にしており、特に女子大学生の就職難はより深刻さを増している。このような状況の中、不安と閉塞感を感じている女子大学生が、現状に焦って進路を決定するのではなく、長期的な視点で自分のライフプランを考えられるようにする支援が必要とされている。長期的な視点に立つことで、就職活動への不安を軽減させ、就労への意欲を高めてもらう。

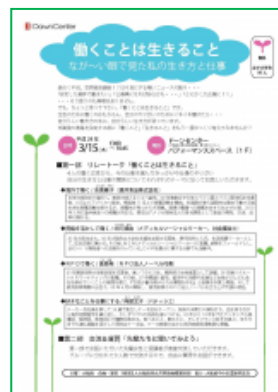
②日 時 平成24年3月15日(木) 13:00～16:45

③場 所 ドーンセンターパフォーマンススペース (1F)

④対 象 女子大学生

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：30名、決定者数：22名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3月15日(木)	【第一部】リレートーク「働くことは生きること」 ・海外で働く／吉原康子（酒井食品株式会社） ・資格を活かして働く／中川麻由（メディカルソーシャルワーカー、社会福祉士） ・NPOで働く／高亜希（NPO法人ノーベル代表） ・好きなことを仕事にする／阿部文子（パティシエ） 【第二部】交流&質問「先輩たちに聞いてみよう」	22名

⑦協 力 大阪府中小企業家同友会

1 働く女性の仕事塾「はなみずきキャリア塾Ⅲ」

【事業概要】

- (1) 目的 働く女性の「仕事」と「生活」の充実、個々のモチベーションアップをめざし、生涯にわたってキャリアを創造する力量形成を目的とした実践的なセミナーを開催する。
- (2) 日時 平成23年4月～平成24年3月 全11回
第1部 13:00～15:15
第2部 15:30～16:30
※ティーブレイク 15:15～15:30
- (3) 場所 ドーンセンター 特別会議室（5F）
- (4) 第1部コーディネーター 古川圭子（毎日放送アナウンサー）
- (5) 対象 女性
- (6) 参加費 全日 25,000 円、A10,000 円、B10,000 円、C8,000 円、
各日 3,000 円



【事業内容・実績】

(1) 「はなみずきキャリア塾Ⅲ：A 広げる」

- ①日 時 平成23年4月23日（土）～7月23日（土）
- ②内容・参加実績 定員：各回50名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	4月23日（土）	第1部「視野を広げる」 スピーカー：上田理恵子（株式会社マザーネット代表取締役社長） 熊和子（株式会社毎日放送ラジオ局長）	24名
		第2部「ヴィクトリア朝の新しい女性」 講師：好田由佳（堺女子短期大学 美容生活文化学科教授）	
2	5月28日（土）	第1部「ネットワークを広げる」 スピーカー：大道寺峰子（毎日新聞大阪本社総合事業局事業部） 遠矢家永子（NPO法人SEAN副理事・事務局長）	19名
		第2部「鴨居羊子の世界」 講師：室井絵里（インディペンデントキュレーター）	
3	6月25日（土）	第1部「幅を広げる」 スピーカー：福原由利（ジブラルタ生命保険(株)神戸エリア伊丹支部） 米田妙子（(株)ダスキン人事部人事労務室主任）	14名
		第2部「アメリカ女性のライフスタイル」 講師：ラモーナ・カーシュ（セントラルフロリダカレッジ国際教育／SELディレクター、米国コミュニティ・カレッジ・コンソーシアム日本担当ディレクター）	

4	7月23日(土)	第1部「夢をかたちにする」 スピーカー：内田香 ((株)ユー・エス・ジェイ コーポレート・サポート本部マネージャー) 高津玉枝 ((株)福市代表取締役)	15名
		第2部「日本の伝統を感じる～舞踊～」 講師：西崎史津香 (西崎流 関西西崎会代表)	
			(延)72名

(2) 「はなみずきキャリア塾Ⅲ：B 楽しむ」

①日 時 平成23年9月24日(土)～12月24日(土)

②内容・参加実績 定員：各回50名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	9月24日(土)	第1部「楽しんで働く」 スピーカー：鈴木京子 ((株)リアライズ代表) 山本愛 ((財)とよなか国際交流協会主任職員)	20名
		第2部「海の向こうに暮らしてみれば」 講師：稲垣智子 (美術作家)	
2	10月22日(土)	第1部「人付き合いを楽しむ」 スピーカー：津田みい子 ((株)日本公文教育研究会 大阪北事務局スーパーバイザー) 山本佳誌枝 (公益財団法人山本能楽堂事務局)	12名
		第2部「演劇ワークショップ」 講師：岡部尚子 (空晴(からっばれ)代表・作・演出・俳優)	
3	11月26日(土)	第1部「チャンスを楽しむ」 スピーカー：久保山緑 (ワールドエクスプレス大阪代表) 中崎郁子 (ハッピーキャリアルートワン主宰)	23名
		第2部「映画鑑賞『おひとりさまを生きる ～あなたは老後をどのように暮らしますか～』」	
4	12月24日(土)	第1部「人生を楽しむ」 スピーカー：泉谷八千代 (NHK奈良放送局長) 小笠原絵里 (建築家 間工作舎／一級建築士事務所)	12名
		第2部「“宮沢賢治”を聴いてみよう」 講師：山崎コマリ (語り手)	
			(延)67名

(3) 「はなみずきキャリア塾Ⅲ：C 築く」

①日 時 平成24年1月28日(土)～3月24日(土)

②内容・参加実績 定員：各回50名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1月28日(土)	第1部「人間関係を築く」 スピーカー：谷口里美(証券会社リテール営業) 本奈美(大阪商工会議所 地域振興部主任)	15名
		第2部「韓国ドラマを楽しむ～女風(ヨブン)～」 講師：山下英愛(立命館大学非常勤講師)	
2	2月25日(土)	第1部「専門力を磨く」 スピーカー：島香奈恵(読売新聞大阪本社人事部) 福本育子(臨床心理士)	19名
		第2部「モダンガールの時代」 講師：山下満智子(大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所副主任研究員)	
3	3月24日(土)	第1部「キャリアを築く」 スピーカー：白井文(前尼崎市長 現グンゼ(株)取締役) 野崎治子((株)堀場製作所管理本部人事担当副本部長)	14名
		第2部「舞台芸術鑑賞：第17回女性芸術劇場『光をあつめて』」	
			(延)48名

2 はなみずきキャリア塾：特別編

【事業概要】

- (1) 目的 「はなみずきキャリア塾」は第1部「ワークの充実」・第2部「ライフの楽しみ」で構成し、働く女性の「仕事」と「生活」の充実、個々のモチベーションアップをめざし、生涯にわたってキャリアを創造する力量形成を目的としている。特別編では、同塾の実施から浮かび上がってきた課題、好評で反響が大きかったテーマ等に特化し、更に掘り下げ、スキルを獲得するなどのプログラムを実施する。

【事業内容・実績】

(1) はなみずきキャリア塾：メンタルヘルス編

- ①目的 2009年より「はなみずきキャリア塾」（別添）を実施する中で浮かび上がってきた課題の1つに、女性が働き続けていく中で、女性であるがゆえに職場や社会等で出会う困難に対して起こるストレスのマネジメントがあげられる。心の持ち力、対人関係、コミュニケーション力、自己尊重など、メンタルヘルスに特化したテーマを設定し、講義とワークショップを通し、心理学の視点からセルフケアの方法を学ぶ。

日程	内容	講師	参加者数
5/14	ストレス耐性をつける	安田香珠子	22名
6/11	心身の病に強くなる	安田香珠子	17名
7/9	自分をもっと好きになる	安田香珠子	23名
9/10	対人関係をスキルアップする	安田香珠子	17名
10/8	後味爽やかな“断り上手”“頼み上手”をめざそう	安田香珠子	34名
11/12	自分も相手も大切にする“怒り方”を学ぼう	安田香珠子	32名
12/10	好感度をUPする“褒め上手”“叱り上手”になろう	安田香珠子	27名
1/14		安田香珠子	32名
2/11		安田香珠子	24名

- ②日時 平成23年5月14日（土）～平成24年3月10日（土）
13:30～16:30 全10回
- ③参加費 全15,000円、各2,000円
- ④講師 安田香珠子（女性問題専門心理カウンセラー、「こころの相談室 Woman」主宰）
- ⑤ゲスト講師（7月） 松井律子（精神科医、まつい診療クリニック院長）
- ⑥内容・参加実績 定員：各回20名、申込者数：420名、参加者数：250名

	日時	テーマ／内容		参加者数
1	5月14日（土）	ストレス耐性をつける	働く女性を襲うストレスに強くなろう	22名
2	6月11日（土）		あなたのその考え方がストレス源かも…！？	17名
3	7月9日（土）	心の病に強くなる	働く女性がかかりやすい心の病と対策	23名
4	9月10日（土）		もしかして、あなたも“燃え尽き”予備軍？	17名
5	10月8日（土）	自分をもっと好きになる	まず“自分”を知ろう	34名
6	11月12日（土）		自分の中の“宝物”に気付いていますか？	32名
7	12月10日（土）	対人関係をスキルアップする	後味爽やかな“断り上手”“頼み上手”をめざそう	27名
8	1月14日（土）		自分も相手も大切にする“怒り方”を学ぼう	32名
9	2月11日（土）		好感度をUPする“褒め上手”“叱り上手”になろう	24名

10	3月10日(土)		信頼関係をつくる“聴く力”をつけよう	22名
				(延)250名

(2) はなみずきキャリア塾：リラクゼーション・ボディワーク編

- ①目的 働く女性のストレスケア、ボディケアを、自分自身で行える力を身につけることを目指し、楽しみながら身体への意識を高める機会とするために、多彩な講師を招いたバラエティ豊かなレッスンを設ける。
- ②日時 平成24年1月14日(土)～3月10日(土) 全10回
午前クラス(10:00～11:30)、夜間クラス(19:00～20:30)
- ③参加費 5回分チケット9,000円・10回分チケット16,000円
各回2,000円



- ④内容・参加実績 定員：各回25名、申込者数：72名、参加者数：57名

	日時	テーマ／講師	参加者数
1	1月14日(土) 午前	自分のカラダの声に耳を傾ける	12名
	1月19日(木) 午後	上山幸恵(フェルデンクライスメソッド)	4名
2	1月15日(日) 午前	カラダに気づく、わたしに気づく	13名
	1月28日(土) 午前	納內衣美(アレクサンダー・テクニーク)	16名
3	2月9日(木) 午後	カラダの中心を呼吸とともに動かす	11名
	2月16日(木) 午後	村上京子(ジャイロキネシス)	9名
4	2月25日(土) 午前	美しい姿勢で新しい季節を迎える	15名
	3月14日(水) 午後	金井真沙美(エイジング美エクササイズ)	7名
5	3月3日(土) 午前	カラダのバランスを整える	9名
	3月10日(土) 午後	猿渡美穂(リラクゼーションヨガ)	3名
			(延)99名

3 はなみずきキャリア塾：ポッドキャストプロジェクト

【事業概要】

- (1) 目的 女性が働き続ける中で、ロールモデル不在や女性初のポジションへの戸惑いが悩みとして聞かれる。「はなみずきキャリア塾」では、さまざまな困難の乗り越え方、キャリアアップ・チェンジ、モチベーション維持、管理職としての人材マネジメント、ワークライフバランスなどについて、ロールモデルとしてのスピーカーが、自身の体験を提示し参加者と共に課題を共有することで好評を得ている。この「はなみずきキャリア塾」をセミナー限りで終わらせず、距離や諸事情により参加できない女性たち、また将来のキャリアを考える若い世代に広く伝えていくために、インターネット（ポッドキャスト）を活用した情報配信を行う。
- (2) 配信日 毎月第4火曜日更新

【事業内容・実績】

- ①内 容 はなみずきキャリア塾に登壇したスピーカーに、各テーマに沿って取材。録音・編集後、当財団ホームページのポッドキャストにて公開。

- ②音 楽 「風の通る街」（企画・演奏：平岡洋子、作曲：奥村悦子）

	配信日	テーマ／スピーカー
第11回	4月26日	仕事の質を高める／西田裕美（読売新聞大阪本社編成部次長）
第12回	5月24日	ぶれない視点を持つ／平岡美香（平岡建築デザイン一級建築士事務所）
第13回	6月28日	コミュニケーションスキルを磨く／柴山順子 (株式会社プロエントコミュニケーションズ代表取締役)
第14回	7月26日	元気の素をもつ／中島智子（株式会社ダスキン新規事業開発部）
第15回	8月23日	完璧をめざさない／梶原冬江（株式会社クロスキン企画・開発課長）
第16回	9月27日	転機を活かす／千葉 潮（合同会社メディアアイランド代表、書籍編集者）
第17回	10月25日	人を活かす／大野智代（株式会社宣成社取締役、企画開発室室長）
第18回	11月22日	緩急をつける／松山文佳（三菱電機情報ネットワーク株式会社 フィールドサービス部関西システム課長）
第19回	12月27日	時間をマネジメントする／鳥淵朋子（アクト研究室）
第20回	1月24日	トップランナーとして／伊藤みどり（積水ハウス株式会社経営企画部 女性活躍推進グループ部長）

4 はなみずきツアー

【事業概要】

- (1) 目 的 働く先輩女性と共に旅をし、古典芸能を楽しむことで、女性同士の交流・ネットワークを形成することを目的として開催。

【事業内容・実績】

(1) 毎日新聞編集委員 畑律江さんに行く 出石永楽館大歌舞伎

- ①日 時 平成23年11月7日(月)
②参加費 23,000 円(交通費、大歌舞伎鑑賞料 10,000 円、食事 3 回、国内旅行保険込み)
③内容・参加実績 定員：20 名、申込者数：10 名、参加者数：10 名

	日時	内容
1	11 月 7 日(月)	古典芸能を楽しむ「第四回 永楽館大歌舞伎」 旅先の美味しいものを食べる・楽しむ 地域振興を応援するー“カバンストリート”に立ち寄り、カバン工房見学

1 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練

【事業概要】

- (1) 目的 企業で幅広く使用されている、Word、Excelなどの基本を学び、仕事の探し方や履歴書・職務経歴書の書き方、面接の受け方など、就職活動に役立つ情報やスキルを提供する。
- (2) 場所 ドーンセンター セミナー室2 他
- (3) 対象 就職を希望する母子家庭のお母さんなど
- (4) 定員 20名（最小催行人数10名）
- (5) 受講料 無料（ただし、テキスト代3,000円）
- (6) 主催 大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課
- (7) 協力 ハローワーク、マザーズハローワーク、JOB プラザ OSAKA 他

【事業内容・実績】

(1) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 5月開講

- ①期間 平成23年5月6日（金）～7月5日（火）9：45～16：45
- ②参加実績 定員：20名、申込者数：15名、参加者数：15名（延べ540名）

(2) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 7月開講

- ①期間 平成23年7月1日（金）～8月31日（水）9：45～16：45
- ②参加実績 定員：20名、申込者数：12名、参加者数：12名（延べ432名）

(3) 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練（パソコン実務習得科（2ヶ月）） 9月開講

- ①期間 平成23年9月1日（木）～11月1日（火）9：45～16：45
- ②参加実績 定員：20名、申込者数：11名、参加者数：10名（延べ360名）

③内容 ＊5月・7月・9月共通

パソコン実務	時間	しごと準備	時間
文書作成ソフト入門	35h	オリエンテーション、修了式、交流会	4h
文書作成ソフト応用	20h	自己紹介、アサーション	6h
表計算ソフト入門	37h	家族・子どもとの関係づくり術	8h
表計算ソフト応用	28h	自分の強みさがし	
ファイル管理ソフト入門	3h	求人状況の現状などについて、	12h
プレゼンテーションソフト入門	8h	様々な働き方、働く女性を取り巻く状況	
インターネット入門	4h	先輩の体験談、仕事の探し方、	16h
パソコン活用実践	15h	キャリアプランの立て方・発表	
実践練習	8h	履歴書・職務経歴書の書き方、面接のコツ	12h
			計 216h

2 働きづらさに悩む若い女性のためのしごと準備講座

【事業概要】

- (1) 目的 これまで女性関連施設が十分に対象としてこなかった働きづらさや生きづらさに悩む若い女性を対象に、全国女性会館協議会の助成により、社会参画や就労に向けての意欲獲得につながる講座を開催する。
- (2) 共催 特定非営利活動法人全国女性会館協議会
(マイクロソフト株式会社「女性のためのUPプログラム全国版」による助成)

【事業内容・実績】

(1) 身体表現ワークショップ

- ① 目的 登場人物の気持ちになってセリフを言うなどの演劇手法を用いて身体を動かしながら頭と心もほぐすことによって、自己表現・プレゼンテーション力を高めることにつながる。演劇ワークショップと呼ばれるこの方法によって、人間関係づくりや他者とのコミュニケーションの苦手意識が社会参画を阻む要因となっている若い女性たちが自分の気持ちを相手に届ける方法を学ぶ。
- ② 日時 平成23年10月6日(木)・13日(木)
13:30～16:00
- ③ 場所 イコーラム第1・2研修室
- ④ 対象 15歳～39歳までの子どものいないシングル女性
- ⑤ 参加費 無料
- ⑥ 内容・参加実績 定員：20名、申込者数：8名



	内容	参加者数
1	来たれ女子！カラダから学ぶ“わたし&あなた”の本当の気持ち 森川万里（俳優）	(延) 16 名

1 2011フェミニストカウンセリング専門講座

【事業概要】

- (1) 目的 女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援に関わる援助職、支援活動をしている方などを対象に、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な知識と技術を提供することで、女性の心身の健康と社会への参画に資する。

【事業内容・実績】

(1) 2011フェミニストカウンセリング専門講座：理論コース

- ①目的 フェミニストカウンセリングの中でも重要なテーマを取り上げ、女性のおかれている状況やそこからくる心理的問題を考えるとともに、ジェンダーに敏感な視点がなければ適切に対応できない、DV、性暴力・虐待サバイバーへのサポートのあり方を学ぶ。
- ②日時 平成23年12月3日（土）～平成24年1月28日（土）
10：30～16：30 ※4日間・全8回（計20時間）
- ③場所 ドーンセンター大会議室
- ④対象 ①女性を対象とした相談事業や、メンタルヘルスに関する事業に関わっている方
②カウンセリングの基礎知識があり、フェミニズムの視点に立った女性への心理的援助に関心のある方
- ⑤参加費 20,000円（各回3,000円）
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：53名、決定者数：52名、参加者数：52名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	12月3日（土）	フェミニストカウンセリングとは ～女性のエンパワメントのための考え方と技法～ 川喜田好恵（ドーンセンターカウンセラー）	36名
2	12月3日（土）	“女”と“男”だけじゃない～多様な性の理解と支援～ 川西寿美子（大阪私立学校人権教育研究会）	36名
3	12月17日（土）	変わりゆく“家族”の枠組み～今、家族に何が起きているのか？～ 加藤伊都子（フェミニストカウンセリング堺カウンセラー）	39名
4	12月17日（土）	性暴力・DV被害者への医療 ～被害者の心身のケアと治療～ 加藤治子（阪南中央病院、はるウィメンズクリニック産婦人科医師、 性暴力救援センター・大阪（SACHICO）室長）	40名
5	1月14日（土）	法と司法に潜むジェンダー ～ハーグ条約から考える法制度の現行と課題～ 長谷川京子（弁護士）	42名
6	1月14日（土）	トラウマと心のケア ～トラウマを持つ女性や子どもへの臨床的サポート～ 亀岡智美（大阪府こころの健康総合センター 精神科医師）	43名
7	1月28日（土）	暴力構造とジェンダー 川喜田好恵（ドーンセンターカウンセラー）	42名

8	1月28日(土)	虐待・暴力サバイバー支援のあり方と フェミニストカウンセリングの役割 井上摩耶子（ウィメンズカウンセリング京都代表）	44名
			(延)322名

(2) 2011フェミニストカウンセリング専門講座：研究コース

- ①目的 理論コース修了生を対象に、理論コースで学んだ知識を実際の現場でどう活かすかを考える。現場での実際のケースに沿いながら、フェミニストカウンセリングでのとらえ方、アプローチや対応の仕方などについてスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図る。(2グループ設定)
- ②日時 2012年2月4日(土)～3月24日(土)
10:30～16:30 ※4日間・計25時間
- ③会場 ドーンセンター 中会議室2・3(4F)
- ④対象 ①本講座の理論コースを修了している方(過去5年間)
②相談員・カウンセラー、ケースワーカーなど援助の現場を持っている方
③上記に該当し、原則全回参加できる方
- ⑤参加費 Aグループ：20,000円、Bグループ：14,000円
- ⑥内容・参加実績 定員：各グループ15名、計30名
申込者数：19名、決定者数：19名、受講者数：18名

	月日	スーパーバイザー	主な対象
A	2月4日(土)	井上摩耶子 (ウィメンズカウンセリング京都代表)	福祉・医療・シェルターなどケースワーク的 関わりを必要とする現場を持つ方対象
	2月25日(土)		
	3月10日(土)		
B	3月10日(土)	川喜田好恵 (ドーンセンターカウンセラー)	女性センター・行政・教育機関など公的など の公的な機関で相談の現場を持つ方対象
	3月24日(土)		

2 スーパービジョン講座

【事業概要】

(1) 目的 スーパービジョン (super vision) とは、対人援助にたずさわる者（特に相談援助職）が常に専門家としての資質の向上をめざすための教育方法である。

実際の相談の現場では、さまざまな課題に直面し、「どう対応したらいいのか」「どのように理解したらいいのか」「自分の対応はこれでいいのか」・・・と迷いや悩みが生じる。そのため、臨床に基づいた研修の機会は、よりよい相談を行うためにも、また、援助者が燃え尽きることなく、仕事を継続するためにも不可欠である。

このスーパービジョン講座では、女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援にたずさわる方が、実際に担当したケースを持ち寄り、ケースの捉え方、アプローチや対応の仕方などについて、経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図るとともに、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な視点や技術を提供することで、女性心身の健康と社会への参画に資する。



【事業内容・実績】

(1) 女性のための相談に関わる相談員・カウンセラーのためのスーパービジョン講座

<DV被害者支援編>

① 目的 実際のケースをもとに、暴力被害による心理的影響への理解を深めながら、被害者の心理的・社会的回復に必要なアプローチや対応の仕方などについて、経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図る。

② 日時 平成24年1月18日(水)～2月8日(水)

③ 場所 ドーンセンター小会議室5 (4F)

④ スーパーバイザー 竹之下雅代 (ウィメンズカウンセリング京都カウンセラー)

⑤ 対象 ①DV被害者支援に関わる援助職の方
②相談・カウンセリングの現場にジェンダーの視点を取り入れたい方
③現在担当している事例があり、資料を提出できる方

⑥参加費 8,000円

⑦内容・参加実績 定員：9名、申込者数：2名、参加者数：2名、決定者数：2名

	月日	内容	参加者数
1	1月18日(水)	スーパービジョンについてのガイダンス	2名
2	2月8日(水)	グループ・スーパービジョン	2名
			(延)4名

(2) 女性のための相談に関わる相談員・カウンセラーのためのスーパービジョン講座

①目 的 実際に担当したケースを持ち寄り、ケースの捉え方、アプローチや対応の仕方などについて、経験豊富なスーパーバイザーとともに検討し、援助職としての資質と専門性の向上を図るとともに、女性の自立とエンパワメントのための心理的援助を行うために必要な視点や技術を提供することで、女性心身の健康と社会への参画に資する。

②日 時 平成24年1月24日（火）～2月28日（火）

③場 所 ドーンセンター小会議室6（4F）

④スーパーバイザー 宮本由起代（特定非営利活動法人心のサポート・ステーション代表理事）

⑤対 象 ①女性を対象とした相談やメンタルヘルス支援に関わる援助職、支援活動をしている方

②相談・カウンセリングの現場にジェンダーの視点を取り入れたい方

③現在担当している事例があり、資料を提出できる方

⑥参加費 13,000円

⑦内容・参加実績 定員：9名、申込者数：5名、参加者数：5名、決定者数：5名

	月日	内容	参加者数
1	1月24日（火）	スーパービジョンについてのガイダンス	5名
2	2月21日（火）	グループ・スーパービジョン①	5名
3	2月28日（火）	グループ・スーパービジョン②	5名
			(延)15名

3 内閣府・NWE C共催事業

「配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ」

【事業概要】

- (1) 目 的 中部・近畿・四国の配偶者暴力相談支援センターや男女共同参画センター等で相談を行う職員を対象に、配偶者からの暴力に関するさまざまな事象への的確な対応や配慮事項についての専門的・実践的な研修を行う。
- (2) 日 時 平成23年11月1日（火）～11月2日（水）
- (3) 場 所 ドーンセンターパフォーマンススペース、特別会議室、大会議室
- (4) 対 象 都道府県及び市区町村の配偶者暴力相談支援センター（婦人相談所を兼ねる配偶者暴力相談支援センターも含む）又は男女共同参画センター等において、相談員等としての経験年数が概ね2年以上の者（地方公共団体における関連施設担当者、民間団体における相談員等も参加可）、100名
- (5) 参加費 無料
- (6) 主 催 内閣府／独立行政法人国立女性教育会館

【事業内容・実績】

(1) 「配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ」

①内容・参加実績 定員：100名、申込者数：155名、参加者数：100名

	月 日	内容
1	11月1日（火）	講義「配偶者等からの暴力の被害者支援の現状と方向性」 内閣府男女共同参画局 講義「配偶者からの暴力の相談の受け方：相談員のメンタルヘルス」 石井 朝子（医療法人社団慶神会武田病院顧問、心理学博士） ワークショップⅠ「スーパービジョンを体験する」 池田ひかり（明治学院大学ハラスメント相談支援センター、女性センター相談員） 井上摩耶子（ウィメンズカウンセリング京都代表） 原田恵理子（名古屋市子ども青少年局子ども育成部主幹） 平川 和子（東京フェミニストセラピーセンター所長）
2	11月2日（水）	講義「加害者への対応」 原田恵理子（名古屋市子ども青少年局子ども育成部主幹） 講義「配偶者からの暴力の実態と支援に役立つ法知識」 番 敦子（日弁連犯罪被害者支援委員会副委員長、弁護士） ワークショップⅡ「困難な問題を抱えた当事者への支援を考える」 A「重複被害を受けた被害者への支援と留意点」 景山ゆみ子（名古屋市男女平等参画推進室主幹） B「子どもを連れた被害者への支援と留意点」 柿田多佳子（長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター、こども・女性支援部女性支援課長） C「被災地における女性への支援と留意点」 田端八重子（もりおか女性センターセンター長）

1 ドーン・シネマクラブ & イコーラム・シネマクラブ

【事業概要】

- (1) 目的 女性の視点、オルタナティブな視点によって作られた作品等の上映を通して、映像文化の発展をめざす。
- (2) 日時 平成23年5月～平成24年2月
- (3) 場所 ドーンセンター視聴覚スタジオ（5F）、イコーラムホール

【事業内容・実績】

	日時	上映作品等	参加者数
第41回	5月20日（金） ・21日（土）	映画鑑賞&トーク『葦牙（あしかび）～子どもが拓く未来～』 <2009年/日本/113分/監督：小池征人> 1990年頃から顕著になってきた児童虐待は年々拡大し、かろうじて救われ、施設に保護されている子どもの数は4万人に及びます。本作品は、岩手県盛岡市の児童養護施設「みちのくみどり学園」で職員たちの暖かなまなざしを受けながら、育っていく子どもたちを通して、社会的養護の現状を描き出します。 スピーカー 萬田久美子（大阪府立芦間高等学校教諭） 田上時子（NP0 法人女性と子どものエンパワメント関西理事長）	（延）81名
第42回	7月18日（月）	第1回イコーラム・シネマ ～「衣」と「食」を考える～ 『未来の食卓』 <2008年/フランス/112分/監督：ジャン＝ポール・ジョー／プロデューサー：ベアトリス・カムラ・ジョー> フランス南部のガール県バルジャック村で、小学校の給食をぜんぶオーガニック（有機農法）にするという前例のない試みに挑戦した村の1年間を追ったドキュメンタリー。 『Fashion Resistance～暴力を着る～』 <2006年/アメリカ/10分/監督・製作・著作：Women of Color Resource Center> 今や主流となったミリタリーファッション。子どもたちは軍事的な玩具で遊び続け、軍事的な外交方針を疑問視している人でさえ迷彩柄に身を包んでいる現実がある。私たちが普段無意識にしていることは、実は社会に大きな影響を与えているのかもしれない。	17名
第43回	10月28日（金） ・29日（土）	山形国際ドキュメンタリー映画祭2011 女性作品コレクションPart 1 『三人の女性の自画像』 <2010年/中国/75分/監督：夢奇（ジャン・モンチー）> 一緒に暮らす母と祖母に反発しながらも、対話を試みる監督。男探しか、真実の愛探しか、大学を卒業したばかりの23歳が、失恋をバネに、身体を使って思い切りシャウトする。 『遊牧民の家』 <2010年/エジプト、ドイツ、アラブ首長国連邦、クウェート/61分/監督：イマン・カメル>	（延）14名

		シナイ半島への荒涼とした砂漠で生きる女性企業家セレマと出会う 辺境への旅のドキュメンタリー。	
第 44 回	12月4日(日)	第2回イコラム・シネマ 『女性監督にカンパイ!』 <監督: 山崎博子/日本/2007年/87分> 世界の著名な12人の女性監督&プロデューサーが映画づくりと生 き方の真髓を語るトークドキュメンタリー 『The Pot 壺〜イスラム社会を生きる女たち〜』 <監督: ディヤーナ・エル=ジェルーディ/シリア/2005年/12分>	8名
第 45 回	2月3日(金) ・4日(土)	山形国際ドキュメンタリー映画祭2011 女性監督コレクションPart2 『柔らかな河、鉄の橋』 <2011年/ベトナム /45分/監督: チャン・タイン・ヒエン、フ アム・トゥー・ハン、ドー・ヴァン・アン、 チャン・ティ・アイン・フウン> ＊アジア千波万波特別賞受賞 ハノイの鉄橋とその周辺で、4人の監督そ れぞれが遭遇した人間模様。路上で野菜を 売る女性、水浴びをする男たち、たむろする少年少女、カップルたち・・・ 庶民の生活が生き生きと描かれる。 『わたしの町』 <2011年/インド/67分/監督: サミーラー・ジャイン> デリーの路上で交錯するジェンダー化された視線をカメラ・アイに し、男たちの視線にさらされる女性運転手の日常をスケッチする。監督 自身の町でもある大都市を舞台に、この町に住まう女の実経験を映像で みせる。	(延)44名



2 第17回女性芸術劇場

【事業概要】

- (1) 目的 女性による文化・表現活動を支援するとともに、女性に対する固定的なイメージや社会意識の変革をめざす舞台芸術作品の公演を行う。

【事業内容・実績】

(1) 第17回女性芸術劇場 出演者オーディション

- ①目的 大阪が生んだ日本の女性写真家のパイオニア・山沢栄子に焦点を当てた評伝劇を制作するにあたり、関西舞台芸術界の精鋭を結集するとともに舞台創りに参加してくれる俳優を広く募集する。
- ②日時 平成23年10月26日(水)
- ③場所 ドーンセンター視聴覚スタジオ(5F)
- ④応募資格 関西を中心に活動されている18歳以上の男女俳優(若干名)
- ⑤内容・参加実績 定員: 若干名、応募者数: 32名、決定者数: 7名

	日時	内容	合格者数
1	10月18日(火)	1次審査 書類選考	32名
2	10月26日(水)	2次審査 1時審査合格者のみ受験	7名

(2) 第17回女性芸術劇場「光をあつめて」

- ①目的 大大阪時代を舞台に活躍した日本の女性写真家のパイオニア・山沢栄子の軌跡を現代に蘇らせ、生涯にわたって挑み続けた姿を描く。また、地域のさまざまな人材・社会資源と連携し、府民に広く演劇鑑賞の機会を提供することを目指す。
- ②日時 平成24年3月23日(金)～25日(日)
- ③場所 ドーンセンターホール(7F)
- ④参加費 前売券 3,000円
(ペア割2枚 5,000円、団体割5枚 12,000円)
当日券 3,500円



- ⑤内容・参加実績 定員: 800名、チケット販売数: 564名、来場者数: 648名

	日時	テーマ/講師	来場者数
1	3月23日(金)	演劇公演「光をあつめて」	4公演
	24日(土)	大正時代末期。絵画の勉強のため単身渡米留学した日下部祥子。	648名
	25日(日)	しかし、彼女がアメリカで出会ったのは<写真>だった。帰国後、祥子は大阪でスタジオを開き、「人間の内面を写し取る」写真を次々と発表。成功をおさめる。が、晩年事故によりカメラを持つことを断念する日が訪れるのだった。 大正～昭和～平成と、旺盛な探究心で写真に人生をささげた姿を愛用のカメラ・グラフィックスが語る一代記。 演出: 深津篤史(桃園会主宰・劇作家・演出家) 脚本: 高橋 恵(虚空旅団主宰・劇作家・演出家)	

		ゲスト出演： 玉岡かおる（作家） 大崎喜子（元オリンピック水泳日本代表、国際水泳殿堂入り） 白井文（元尼崎市長、現グンゼ株式会社取締役） 竹中恵美子（経済学者、大阪市立大学名誉教授）	
--	--	--	--

（３）山沢栄子ポスター展

- ①目 的 山沢栄子が晩年期に制作した抽象写真をポスター化した 18 作品の展覧会。新しい時代を切り拓いた山沢の創造的な感性・表現を現代に問い直す機会を提供する。
- ②日 時 平成 24 年 2 月 8 日（水）～ 3 月 27 日（火）
- ③場 所 ドーンセンターロビー（1F）
- ④参加費 無料



（４）写真ワークショップ「構成写真を撮ろう！」

- ①目 的 山沢栄子が晩年期に制作した抽象写真という方法を体験することを通して、山沢栄子を知る機会とする。
- ②日 時 平成 24 年 3 月 3 日（土）14:00～16:00
- ③場 所 ドーンセンター多目的ルーム（地下 1F）
- ④参加費 1,000 円
- ⑤内容・参加実績 定員：30 名、応募者数：24 名



	日時	テーマ／講師	参加者数
1	3 月 3 日（土）	写真を楽しむワークショップ「構成写真を撮ろう！」 垣本泰美（写真家）	20 名

3 表現ワークショップ

【事業概要】

- (1) 目 的

演劇の手法により身体や声をつかって表現することでエンパワメントするワークショップを開催する。
- (2) 協 力

N P O 法人大阪現代舞台芸術協会

【事業内容・実績】

(1) 朗読ワークショップ「金子みすゞを詠む」

- ①目 的

金子みすゞの詩の朗読を通して、仲間とつながり、創造し、表現することでエンパワメントするワークショップ。
- ②日 時

平成24年1月15日（日）～2月18日（土） 全6回
- ③場 所

イコーラム第1・2研修室、ホール
- ④講 師

棚瀬美幸（劇作家・演出家・南船北馬代表）
- ⑤対 象

小学生以上でテーマに興味のある方
(ただし小学生は親子参加が必須)
- ⑥参加費

1回 1,000 円・小学生 500 円
6回通し 5,000 円・小学生 2,500 円
- ⑦内容・参加実績

定員：30名、申込者数：19名



	月日	内容	参加者数
1	1月15日（日） ・29日（日）、 2月5日（日） 10:00～12:00	A. 自分を動かす・遊ぶ・表現する 自分の想いや考えを自由に表現して自己表現の楽しさを知り、互いの違いを認めあう。	各 36 名
2	2月12日（日） 10:00～12:00 2月18日（土） 10:00～12:00 13:00～15:00	B. 金子みすゞを詠む 朗読をとおして表現力を身につけ、参加者同士で協力し作品をつくりあげることでエンパワメントする。	各 24 名
			(延) 60 名

1 海外スタディツアー

【事業概要】

- (1) 目的 海外の女性に関するさまざまな機関等を訪問し、先進的な政策や関連の各種事業、支援体制、活動等の実例を見て、学ぶことで、日本の実情に合わせた男女共同参画の取り組みについて考える機会をもつ。また海外の女性リーダーや団体・NGO等との交流を促進するとともに、ツアー参加者同士のネットワークを図る。

【事業内容・実績】

(1) スタディツアー韓国編

「女性のエンパワメントのためのプサン&ソウルへの旅」

- ① 目的 韓国・プサンとソウルの女性の地位向上に取り組む機関やNGO等を訪問し、女性政策、DV等の被害者支援体制について学ぶとともに韓国の女性団体等との交流を図る。聖公会大学と大阪府立大学女性学研究センターとの日韓共同ワークショップでは、女性NGOの活動等について情報交換を行う。またツアー参加を通じて参加者間のネットワークを図る。



ツアーの企画は(財)アジア・太平洋人権情報センターと共同で行う。

- ② 日時 平成23年8月24日(水)～28日(日)
 ③ 参加費 1人あたり120,000円+ (燃油サーチャージ、空港税等約1万円)
 ④ 内容・参加実績 定員：20名、申込者数：20名、参加者数：20名

	月 日	内容 (スケジュール/主な訪問先)
1	8月24日(水)	午前：関西空港発 午後：プサン着 プサンヘバラキ女性・児童センター見学 国とプサン市、警察、大学病院との連携で運営されるDVや性被害にあった女性が医療的・心理的に治療を受けることができるワンストップセンター <プサン泊>
2	8月25日(木)	午前：社会福祉法人セギル共同体見学 DV被害者のためのシェルター、緊急一時保護、短期・長期滞在、グループホーム等の施設機能を持つ。 午後：プサン女性の電話見学とスタッフとの交流 DVや性被害などあらゆる暴力から24時間体制で女性を保護、アジアからの移民など多文化家族の支援も行う。 プサン市内見学 <プサン泊>
3	8月26日(金)	午前：韓国高速鉄道KTXでソウルに移動 午後：ソウル女性プラザ(ソウル女性家族財団)見学 女幸プロジェクト、女性起業家支援事業等の事業報告 <ソウル泊>
4	8月27日(土)	午前：ワークショップ「韓国と日本における草の根の女性運動の現状と課題」(共催：聖公会大学NGO大学院実践女性学コースと大阪府立大学女性学研究センター) 韓国・テジョンセンターの挑戦と開発 ・障害をもつ女性のための性暴力相談

		・インターネットを活用した女性運動 - 日本・大阪の女性運動とドーンセンター（仁科あゆ美 大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター） ・日本の性暴力被害電話相談とその課題（伊藤良子 大阪府立大学大学院博士後期課程） ・女性の運動をつなぐネットワークの構築と運営～ウィメンズ・アクション・ネットワークから～（伊田久美子 大阪府立大学教授） 午後：聖公会大学NGO大学院実践女性学コースの学生と交流 <ソウル泊>
5	8月28日（日）	午前：自由時間 午後：ソウル発 関西空港着

旅行手配：株式会社トラベルギャラリー

後援：大阪府立大学女性学研究センター

（２）韓国スタディツアー・公開学習会

- ①目 的 スタディツアー参加者の事前学習として、朝鮮王朝時代から現代に至るまでの流れを大きく理解し、1980年代以降の韓国民主化の中での女性に関わる法や制度の整備と女性運動の関係について、韓国ドラマの紹介を交えて学ぶ。
- ②日 時 平成23年7月28日（木）
- ③場 所 ドーンセンター大会議室2（5F）
- ④参加費 500円
- ⑤内容・参加実績 定員：30名、申込者数：35名、参加者数：30名

	月 日	内 容
1	7月28日（木） 18:30～20:00	現代韓国社会と女性たち～女性パワーの歴史をたどる～ 山下英愛（やました よんえ） 立命館大学非常勤講師

（３）韓国スタディツアー・公開学習会②

- ①目 的 スタディツアー参加者が韓国の女性についてより深く理解するために、1998年金大中政権以降の女性の状況について、韓国ドラマを交えて学ぶ。
- ②日 時 平成23年10月21日（金）
- ③場 所 ドーンセンターセミナー室1（5F）
- ④参加費 500円
- ⑤内容・参加実績 定員：30名、申込者数：20名、参加者数：20名

	月 日	内 容
1	10月21日（金） 18:30～20:30	時代を変えた女性たち～1990年から今日までの韓国で～ 山下英愛（やました よんえ） 立命館大学非常勤講師



（４）韓国スタディツアー・ブログ

「女性のエンパワメントのためのプサン&ソウルへの旅」は財団ブログでも公開。

2 関西アメリカン・センター共催事業

講演会「アメリカの女性起業家に学ぶ」

【事業概要】

- (1) 目 的 全米女性史月間に因み、アメリカの女性起業家によるユニークなビジネスモデルを紹介する中で、ビジネス成功の秘訣を検証する。

【事業内容・実績】

(1)「アメリカの女性起業家に学ぶ～成功するビジネスモデルの作り方～」

- ①目 的 講師には、6 万 5 千人のビジネスウーマンが参加する団体、Women’ s Leadership Exchange の共同創設者であり、総合マーケティング会社の設立者としてリーダーシップを発揮、ビジネス開発の専門家として 25 年間にわたり経営者、起業家、学生の成功をサポートしてきたレスリー・グロスマンさんをお招きし、革新的なアイデアの生み出し方から、起業のノウハウを学ぶ。
- ②日 時 平成24年3月13日（火）
- ③場 所 ドーンセンターセミナー室1（5F）
- ④対 象 テーマに興味のある方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：50名、申込者数：30名、参加者数：26名



	月 日	内 容	参加者数
1	3月13日（火） 14:00～16:00	「アメリカの女性起業家に学ぶ ～成功するビジネスモデルの作り方～」 講師 レスリー・グロスマン (レスリー・グロスマン・リーダーシップ社長、 Women’ s Leadership Exchange 共同創設者) 聞き手 石野伸子（産経新聞編集局編集委員）	26名

1 不妊専門相談センター事業

【事業概要】

- (1) 目 的 不妊に悩む人々の身体的・精神的負担の軽減と、出産を望む人々への支援を図るとともに、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの観点から女性の心身の健康促進に資する。
- (2) 場 所 ドーンセンター相談室・会議室

【事業内容・実績】

(1) 不妊にまつわる電話相談

- ①目 的 不妊にまつわるさまざまな相談（治療について知りたい、パートナーや家族との関係を相談したい等）を専門の相談員が受けるとともに、必要な情報提供を行う。
- ②日 時 毎週水曜日 10:00～16:00 ※第5週、祝日・年末年始を除く
第4土曜日 13:00～16:00 ※4月、8月、12月を除く
- ③相談員 助産師（第4土曜日の13:00～15:00は、原則として産婦人科医師も同席）
- ④相談件数
＜月別主訴件数＞

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
情報提供	7	3	5	8	5	5	5	2	3	6	1	7	57	23.2%
不妊への不安・検査や治療を受けたほうがよいか	1	1	3	4	1	4	1	0	1	2	2	2	22	8.9%
今の治療の内容と妊娠の可能性	4	4	7	1	3	4	2	2	5	3	2	0	37	15.0%
他の治療内容・方法など	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4	1.6%
二人目不妊	2	2	3	6	0	6	4	3	1	1	2	1	31	12.6%
医療機関に対する不満	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	2	1	9	3.7%
パートナーとの関係	1	1	0	1	0	2	0	1	0	4	0	2	12	4.9%
周囲の人間関係	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	6	2.4%
自分自身のこと	0	1	0	1	2	0	1	1	0	1	0	3	10	4.1%
子どものいない人生	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	4	1.6%
仕事との両立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	2	3	2	3	4	6	6	3	4	8	6	7	54	22.0%
合 計	19	15	22	26	16	29	20	15	17	26	17	24	246	100.0%

＜留守電件数＞

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H22年度	17	20	8	26	7	24	3	9	17	9	13	18	171
H23年度	14	21	9	17	10	9	31	15	5	15	16	12	146

(2) サポート・グループ「パートナー関係のこと、話し合ってみませんか」

- ①目的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②日程 平成23年9月7日(水)～12月14日(水)
- ③場所 ドーンセンター 和室(4F)
- ④ファシリテーター 内田和枝(助産師、不妊カウンセラー)
- ⑤内容・参加者数 定員: 15名、申込者数: 5名、参加者数: 4名



	月 日	テーマ	参加者数
1	9月7日(水)	グループの説明・ルール確認/自己紹介・参加動機/パートナー関係で悩んでいること	2名
2	10月5日(水)	参加者なし	0名
3	10月19日(水)	治療経過(自己注射)/治療の男女差、考え方の違い/セックスレスについて、夫婦間の思いについて	1名
4	10月26日(水)	治療の経過と状況/治療に対するパートナーの気持ちについて	1名
5	11月2日(水)	自己紹介・参加動機/今の悩みについて	1名
6	11月16日(水)	参加者なし	0名
7	11月30日(水)	参加者なし	0名
8	12月14日(水)	治療経過/グループによるサポートのこと	1名
			(延)6名

(3) サポート・グループ

「子どものいない人生のこと、話し合ってみませんか」

- ①目的 不妊にまつわる悩みを抱えた女性が、経験や悩みを分かち合える場を提供する。同じ立場の人同士が交流することを通して自身の状況を整理し、心理的負担の軽減を図る。
- ②日程 平成24年1月21日(土)～3月17日(土)
- ③場所 ドーンセンター 和室(4F)
- ④ファシリテーター 金美江(助産師)、矢野恵子(助産師)
- ⑤内容・参加者数 定員: 15名、申込者数: 21名、参加者数: 14名



	月 日	テーマ	参加者数
1	1月21日(土)	自己紹介、共有したいテーマについての話し合い	13名
2	2月4日(土)	夫婦関係、夫婦の価値観のすりあいのつけ方	10名
3	2月18日(土)	周囲へのカミングアウト、親戚・親との関係と夫の態度	8名
4	2月25日(土)	リラクゼーション・ボディワーク(体への意識を高める)	8名
5	3月3日(土)	「今とこれから」について、コラージュ作成(自分の感情の表現)	10名
6	3月10日(土)	治療のやめどきについて/幸せに生きたい、そこまでのプロセス	5名
7	3月17日(土)	子どものいない人生のこと/感想を一言ずつ	10名
			(延)64名

(4) ホームページ (<http://www.ogef.jp/funin-osaka>) の管理・運営

- ①目 的 インターネットを活用して、不妊に悩む人々に役立つ情報を発信するとともに、不妊専門相談センター事業を広くPRする。

②アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年度	634	648	935	773	673	845	641	745	741	759	793	805	8,992
H22年度	1,100	1,126	1,251	1,287	1,224	1,268	1,530	1,015	809	761	733	868	12,972

(5) 不妊関連情報フェアの開催

- ①目 的 不妊に悩む人々に役立つ情報を提供するため、不妊関連事業の開催にあわせて、各種資料を選定・収集し、関連情報コーナーを設置。

②日 時 平成23年6月～平成24年3月

③その他 展示資料リストを作成・印刷し、無料配布した。

	テーマ	展示資料数	リスト作成数
1	不妊のこと、話し合ってみませんか	130	300
2	パートナー関係のこと、話しあってみませんか	52	300

(6) 関係者の研修・連絡会議の開催「ファシリテーション・スキル育成研修」

- ①目 的 不妊専門相談センター事業の円滑な運営のための研修・情報交換を行なうとともに、課題やニーズを共有し、プログラムに反映させる。

今年度は、平成21年度より実施しているサポート・グループを運営するファシリテーターが、これまでのグループ運営についてふり返り、経験や成果・課題等を共有するとともに、経験豊富なスーパーバイザーのもとで「グループでの対人援助スキル」「自己覚知と自己表現」「女性のエンパワメントのための関わり」などのファシリテータースキルを学ぶことを通じて、不妊に悩む方々のためのより効果的なグループ運営について考える研修を実施した。

②日 時 平成23年8月27日（土） 10:00～16:00

③場 所 ドーンセンター特別会議室（5F）

④対 象 これまでに不妊専門相談センターのサポート・グループでファシリテーターを担当した方、またはこれから担当したいと考えている方。

⑤内容・参加者数 定員：10名、申込者数：9名、参加者数：9名

	月 日	テーマ	参加者数
1	8月27日（土）	「不妊」や「子どものいない人生」をテーマにしたグループ運営のためのファシリテーション・スキル育成研修 スーパーバイザー 加藤伊都子（フェミニストカウンセリング堺カウンセラー） 【講義・ディスカッション】 ・サポート・グループとは／ファシリテーターとは ・基本的な進め方（第1回、2回目以降、最終回） ・グループの動かし方／ファシリテーターに必要な対人スキル	9名

1 夏期インターンシップ・プログラム

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画社会の実現に向けて活躍する次世代を育成することを目的に、大学・大学院生をインターンシップ生として受け入れる。

【事業内容・実績】

①受入期間 平成23年8月17日（水）～9月9日（金）

②実習生

	学部・学科・学年	実習生数
1	近畿大学 経済学部 総合経済政策学科 3年	1名
2	近畿大学 経済学部 国際経済学科 3年	1名
3	同志社大学 政策学部 政策学科 3年	1名
4	神戸女子大学 家政学部 3年	1名
5	神戸学院大学 法学部 法律学科 3年	1名
6	神戸学院大学 経済学部 国際経済学科 3年	1名
7	大阪府立大学大学院 人間社会学研究科 博士前期課程 1年	1名
		計7名

③特別講義「ライブセミナー：ドーンセンターの仕事」

目的Ⅰ：ドーンセンターの現場からみえる現代社会を知る

目的Ⅱ：ドーンセンターでの仕事を知るとともに、さまざまな職員のキャリア・仕事観にふれる

	月日	テーマ／担当
1	8月17日（水）	「男女共同参画と日本の進路～財団運営を通して考える」 時岡禎一郎（理事長）
2	8月17日（水）	「ドーンセンターの概要」 吉川真希子（情報担当スタッフ）
3	8月17日（水）	「接遇研修」 山名玲子（事業担当スタッフ）
4	8月17日（水）	「相談事務局の仕事」 近藤裕子（相談担当スタッフ）
5	8月17日（水）	「大阪府の男女共同施策について」 坂田泰子（大阪府男女参画・府民協働課参事）
6	8月18日（木）	「情報ライブラリーの仕事」 木下みゆき（統括ディレクター）
7	8月18日（木）	「財団・共同体の概要」 金光哲司（事務局長）
8	8月18日（木）	「ドーンセンター受付の仕事の説明」 岸部孝子（共同体スタッフ）

	8月19日（金）	「財団事業の説明」 仁科あゆ美（統括ディレクター）
--	----------	------------------------------

④ 日常業務体験、講座・イベント運営

目的Ⅰ：事業運営の裏側を知る

目的Ⅱ：小さな仕事を責任をもってやり遂げる経験をする

	業務名	詳細
1	ドーンセンター情報ライブラリー関連業務	「人材情報データベース」データ入力 業務／休室日作業／ライブラリー運営 補助／資料装備準備
2	「母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練」関連業務	当日運営準備／講座運営補助
3	イコーラム関連業務	「希来里ファミリーまつり」運営
4	インターンシップ成果報告会関連業務	※企画からプレゼンまでを実習生自身 で行う ミーティング／役割分担／プログラム 作成／開催案内作成、広報、参加受付 ／当日運営（開場準備、受付、司会進 行、記録写真撮影 等）
5	その他の業務	相談ハンドブック改訂業務／講座広報 業務（チラシ印刷、発送、館内配布、 ホームページ登録、ブログ更新など） ／社会資源ファイル改訂業務

2 研修・実習・職場体験等の受入れ

【事業概要】

- (1) 目的 若い世代を対象とした研修や職場体験の実習先としてプログラムを提供することで、次世代のキャリア形成に資する。

【事業内容・実績】

(1) 大阪府立学校新任教員研修の受入

- ①目的 大阪府教育センターが実施する、府立学校新任教員の社会体験実習の実習先として研修プログラムを提供する。

②受入高校・人数

	日時	所属	実習生数
1	8月9日(火)・12日(金)	大阪府立吹田高等学校	3名
		大阪府立吹田東高等学校	2名

(2) 大阪府若者サポートステーション職場体験の受入れ

- ①目的 就労自立への意欲を持ちながら、社会参加や就職活動に向かうことにためらいを覚えて行動ができにくい若者をボランティアとして受入れ、「一般の人と触れる」練習や「他者や社会の役に立つこと」を実感し、人生の視野を広げるきっかけとする。

- ②受入期間・人数 平成24年2月29日(水)～3月29日(木)の水・木曜日：1名
平成24年3月14日(水)～3月30日(金)の水・金曜日：1名

(3) 同志社大学図書館司書課程実習生の受入れ

- ①目的 司書資格取得に必要な図書館実習を行う。
- ②受入期間 平成23年11月24日(木)～12月9日(金) うち7日間
- ③実習生数 2名
- ④実習内容 ドーンセンター情報ライブラリー業務(蔵書点検/ミーティング参加/カウンター業務/資料の分類/資料装備/資料配架/製本対象雑誌の抽出)
はなみずきキャリア塾Ⅲ運営補助

(4) 大阪市立助産師学院「助産学実習」の受入れ

- ①目的 助産師として仕事をする上で求められる男女共同参画関連知識を取得する。
- ②日時 平成23年9月2日(金) 13:00～17:00
- ③実習生数 学生20名、教員2名
- ④実習内容 男女共同参画関連問題についての講義
情報ライブラリーにおける情報活用 等

1 「ウィメン・パイオニアズ」DVD＆ブックレット販売

【事業概要】

- (1) 目的 渡辺晴子氏（HKW代表、社団法人日本外国特派員協会監事）が、下記のオリジナル素材を財団に寄贈くださった。全国の女性関連施設、大学、各専門機関などで活用できるように教材用としてDVD・ブックレット化し、販売する。

【事業内容・実績】

(1) 『Women Pioneers－女性先駆者たち』完成披露試写会

- ①目的 DVDとブックレットの完成を記念し、完成披露試写会を開催した。
- ②日時 平成23年7月2日（土）13:00～16:00
- ③場所 ドーンセンター特別会議室（5F）
- ④参加費 無料
- ⑤内容・参加実績 定員：50名、申込者数：39名



	日時	内容	参加者数
1	7月2日（土） 13:00-16:00	DVD上映「市川房枝と婦人参政権の歩み」 トークショー トーク：渡辺晴子（HKW代表、（社）日本外国特派員協会監事） 聞き手：石野伸子（産経新聞編集委員）	27名

(2) 『Women Pioneers－女性先駆者たち』販売

<DVD販売実績>

	作品名	制作年	価格	販売数
1	はじめに 日本女性の地位 縫田暉子（放送ジャーナリスト）	2011	5,000	3
2	高田ユリと消費者運動 高田ユリ（消費者運動家）	2011	5,000	0
3	市川房枝と婦人参政権のあゆみ 市川房枝（政治家、社会運動家）	2011	5,000	22
4	三淵嘉子 法曹界の扉を開く 三淵嘉子（弁護士、裁判官）	2011	5,000	1
5	加藤シヅエと家族計画 加藤シヅエ（家族計画運動家、政治家）	2011	5,000	1
6	阿武喜美子 科学の世界に挑む 阿武喜美子（科学者、農学博士）	2011	5,000	7
7	浅賀ふさと医療社会事業 浅賀ふさ（医療ソーシャルワーカー）	2011	5,000	13
8	江上フジと子ども、婦人番組	2011	5,000	0

	江上フジ（放送ジャーナリスト、婦人問題研究家）			
9	山高しげりと母子福祉 山高しげり（女性運動家、政治家）	2011	5,000	4
10	野上弥生子 小説と婦人運動家たち 野上弥生子（小説家）	2011	5,000	2
11	全巻セット	2011	40,000	50セット (500)
				計 553

＜ブックレット販売実績＞

	書籍名	発行年	価格	販売数
1	ブックレット『Women Pioneers－女性先駆者たち』	2011	1,800	116

2 海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売

日本で未公開の海外女性監督ドキュメンタリー作品等を独自に収集、日本語に翻訳加工して販売する。研修資料としてニーズの高い「恋人からの暴力」及び「不適切な行動」を平成22年度より、「自分らしく生きる」を平成23年度よりDVD化して販売。

<販売実績>

	作品名	制作年	価格	販売数
1	故郷を失った人々 Caught in Between (DVD)	2004	5,000	1
	故郷を失った人々 Caught in Between (DVD) 上映権付		10,000	3
2	Fashion Resistance ～暴力を着る～ (DVD)	2006	5,000	0
	Fashion Resistance ～暴力を着る～ (DVD) 上映権付		10,000	4
3	稟愛 (ビンアイ) ～三峡ダム建設に挑む農民の闘い～ (DVD)	2007	5,000	0
4	Labor Women～アメリカ社会を変える 働くアジア女性の闘い～ (DVD)	2003	5,000	4
5	お母さん (UMMA) ～お母さんを探して～ (DVD)	2005	18,000	2
6	心の旅路～わたしの家族の物語～ (VHS)	2003	15,000	0
7	壺～イスラム社会を生きる女たち～ (VHS)	2005	8,000	1
8	韓国発 映画をつくる女たち (VHS)	2001	18,000	2
9	家族プロジェクト：父の家 (VHS)	2002	18,000	2
10	医師クロードットの場合～アフリカの大地で～ (VHS)	2001	18,000	3
11	自分らしく生きる～やわらかい家族のかたち～ (DVD)	2001	10,000	3
	自分らしく生きる～やわらかい家族のかたち～ (VHS)	2001	10,000	1
12	響き合うところ～歌に生き 仲間と生きる～ (VHS)	2001	15,000	0
13	ドラッグの恐怖～むしばまれる若者たち～ (VHS)	2000	15,000	0
14	恋人からの暴力～死にいたる愛～ (DVD)	1999	12,000	8
15	ウォッチングTV (VHS)	1994	5,000	2
16	わたしの心はわたしの証～イスラム女性のドキュメント～ (VHS)	1996	18,000	1
17	戦場のレイプ (VHS)	1996	18,000	1
18	不適切な行動：高校生間のセクシュアル・ハラスメント (DVD)	1997	15,000	5
19	子どもの権利 (中高生編) (VHS)	1998	12,000	1
				計 44

3 オリジナルビデオ&DVD、ハンドブック等の販売

(1) オリジナルビデオ&DVDの販売

独自の調査研究、主催講座に基づいて企画・制作したオリジナルビデオを販売した。

<販売実績>

	作品名	制作年	価格	販売数
1	働く女性の60年（日本語版・DVD）	2005	5,000	4
2	働く女性の60年（日本語版・VHS）	2005	5,000	0
3	働く女性の60年（英語字幕版・VHS）	2005	5,000	1
4	3歳児神話をこえて Part1 岩堂美智子（VHS）	1999	4,500	0
5	3歳児神話をこえて Part2 村本 邦子（VHS）	1999	4,500	0
6	3歳児神話をこえて Part3 赤松 彰子（VHS）	1999	4,500	0
7	3歳児神話をこえて Part4 村田 和子（VHS）	1999	4,500	0
8	3歳児神話をこえて Part5 汐見 稔幸（VHS）	1999	4,500	0
9	3歳児神話をこえて 全5巻セット（VHS）	1999	20,000	1セット（5）
10	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 1 竹中恵美子（VHS）	1998	5,000	0
11	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 2 佐々木静子（VHS）	1998	5,000	0
12	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 3 岡部伊都子（VHS）	1998	5,000	0
13	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 4 大川恵美子（VHS）	1998	5,000	0
14	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 5 豊後レイコ（VHS）	1998	5,000	0
15	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 6 横井和子（VHS）	1998	5,000	0
16	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 7 桂 信子（VHS）	1998	5,000	0
17	大阪おんな自分流：扉を開けた8人の肖像 8 飯田しづえ（VHS）	1998	5,000	0
				計 10

(2) ドーン・ハンドブック等の販売

当財団が実施してきた事業のノウハウを盛り込んだハンドブックを販売した。なお、当財団の主催講座「ライブセミナー～女性と仕事～」をもとに企画・制作した単行本『仕事論～先輩に聞く、女性と就職～』は販売終了した。

<ドーン・ハンドブック販売実績>

	ハンドブック名	発行年	価格	販売数
1	Dawn Hand Book① 女性のための相談事業ハンドブック	1999	600	23
2	Dawn Hand Book② 女性情報とライブラリー活動	1999	600	3
3	Dawn Hand Book③ メディア・リテラシーとジェンダー	2000	600	9
4	Dawn Hand Book④ 女性のグループ・ネットワークのための組織開発ハンドブック	2001	600	3
5	Dawn Hand Book⑤ 人と情報を結ぶ 情報相談ハンドブック	2001	600	3
6	Dawn Hand Book⑥ 相談現場から見える現代社会と女性センターの役割	2006	800	2
				計 43

1 講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託

【事業概要】

- (1) 目的 主催者の要請により財団職員を講師として派遣するほか、委員委嘱等を受けることを通じて、男女共同参画社会の推進に資する。

【事業内容・実績】

(1) 講師派遣

<講師派遣実績>

	月 日	内容・テーマ	主催者
1	5月18日(水)	よこの会「5月例会」講師	よこの会
2	6月21日(火)・ 23日(木)	平成23年度5年目研修 「豊かな人権感覚」	東大阪市
3	6月28日(火)	男女共同参画研究講座 「門真市の男女共同参画の現状について」	門真市市民部人権政策課
4	6月28日(火)	法人制度改革検討委員会「公益財団法人・一般財団法人それぞれのメリット・デメリットについて」	財団法人とよなか男女共同参画推進財団
5	8月7日(日)	地域リーダー養成講座 「連携・協働による実践プログラム in 三重」	三重県男女共同参画センター
6	9月29日(木)	平成23年度 第2回「市町担当職員等エンパワメント講座」	滋賀県立男女共同参画センター
7	11月17日(木)	男女共同参画施策推進員研修会 「身近なジェンダーに気づこう」	和泉市男女共同参画課
8	12月1日(木)	東海・北陸地区図書館地区別研修 「公共図書館と専門図書館との連携：WIN-WINな関係をめざして」	愛知県教育委員会
9	12月17日(土)	連合滋賀「女と男のいきいきフォーラム：気づき・発見・いまどきのジェンダー」	日本労働組合総連合会 滋賀連合会
10	24年1月31日 (火)	東大阪市人権学習講座 「男女共同参画社会について」	東大阪市
11	24年2月23日 (木)	公開研修講座・情報グループ 「企画の立て方：想いをカタチに」	茨木市男女共生センター
12	24年2月27日 (月)	第8回レファレンス協同データベース事業フォーラム「レファレンス協同データベース事業のNext Step」コメンテーター	国立国会図書館関西館
13	24年2月28日 (火)	平成23年度役職員研修会 「男女共同参画はなぜ必要？：第一歩を踏み出すために」	社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会・泉大津市人権啓発課

(2) 委員等応募

<委員等実績>

	月 日	内 容	主催者
1	(22 年 7 月)～ 23 年 6 月 30 日	レファレンス協同データベース事業の 企画協力員	国立国会図書館
2	5 月～24 年 2 月 21 日、2 月 22 日～ 2 年間	門真市男女共同参画審議会委員	門真市
3	5 月～ 24 年 3 月 31 日	平成 23 年度「女性情報レファレンス事例集」 サポートメンバー	独立行政法人国立女性教育会館
4	6 月 28 日～ 24 年 3 月 31 日	「男女共同参画拠点としての女性関連施設に 関する調査研究」研究協力委員	独立行政法人国立女性教育会館
5	6 月 29 日～ 24 年 3 月 31 日	平成 23 年度「若年層に対する交際相手からの 暴力の予防啓発指導者のための研修・研究事 業」企画委員	内閣府
6	7 月 14 日 (木) 10 月 21 日 (金)	平成 23 年度「おおさか男女共同参画推進ブラ ットフォーム」会議	大阪府府民文化部男女共同・府民 協働課
7	6 月～ 23 年 3 月 31 日	平成 23 年度「男女共同参画拠点としての女性 関連施設に関する調査研究」研究協力委員	独立行政法人国立女性教育会館
8	24 年 3 月 1 日 (木)	平成 23 年度男性の家庭・地域への参画を促進 するための調査研究及びプログラム開発 「男性の家庭・地域参画促進に関する効果的な 事業展開に向けた情報交換会」出席	独立行政法人国立女性教育会館

(3) 大学の講義受託

<同志社大学>

	月 日	テーマ
1	4 月～24 年 3 月	同志社大学社会学部教育文化学科「情報資料論」

<大阪女学院大学・短期大学>

	月 日	テーマ
1	10 月 27 日 (木)	2011 年度人権教育講座「セクハラ・DV・痴漢」
2	・28 日 (金)	2011 年度人権教育講座「メディアと人権」

<滋賀県立大学>

	月 日	テーマ
1	10 月 24 日 (月)	開講科目「性を考える」

(4) 講座事業の受託

<三重県伊賀市>

	月 日	テーマ
1	8月6日(土) 13:30～16:00	【開講式】女性リーダー養成講座がめざすもの 男女共同参画社会を学ぶためのオリエンテーション 伊賀市職員
		女性の力が地域を変える～21世紀は男女共同参画の時代～ 清野博子(元ドーンセンター館長)
2	9月28日(水) 19:00～21:00	現代社会と私たち①:地域と家族 時岡禎一郎((財)大阪府男女共同参画推進財団理事長)
3	10月27日(木) 19:00～21:00	現代社会と私たち②:カウンセリングの現場から社会をみる 宮本由起代(NPO法人心のサポート・ステーション代表理事)
4	11月8日(火) 19:00～21:00	現代社会と私たち③:情報を読み解く 木下みゆき((財)大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター)
5	11月30日(水) 19:00～21:00	さわやかな自己表現:女性リーダーのための人間関係づくり、自己主張のポイントを知る 杉本志津佳(フェミニストカウンセリング堺カウンセラー)
6	12月14日(水) 19:00～21:00	ワークショップ～私たちの伊賀市～ 報告:伊賀市職員 ファシリテーター:川中大輔(シチズンシップ共育企画代表、同志社大学大学院総合政策科学研究科嘱託講師)
7	1月18日(水) 19:00～21:00	グループディスカッション～私たちが考える男女共同参画～ ファシリテーター:伊賀市職員、仁科あゆ美((財)大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター)
8	2月8日(水) 19:00～21:00	【閉講式】グループディスカッションの発表とコメント 今後の活動 伊賀市職員、木下みゆき((財)大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター)

1 共催事業・後援事業

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画社会の実現のために企画された事業で、財団が共催することにより、啓発効果や事業効果の発展が期待できる事業について共催する。また、男女共同参画社会の実現のための積極的に寄与する事業について、後援を行う。

【事業内容・実績】

(1) 共催事業

＜内容・参加実績＞

	月 日	内 容	主催者	参加者数
1	11月17日(木) ～20日(日)	劇団大阪40周年記念公演 「楽園終着駅」「そして、あなたに逢えた」 於：ドーンセンターホール	劇団大阪	(延) 1,122名
2	4月16日(土)～ 24年3月17日(土)	「わたしの政経塾Ⅱ」2011 於：ドーンセンター特別会議室・大会議室	「わたしの政経塾」企画委員会	(延) 366名
3	6月17日(金)	「山川菊栄の思想と活動：姉妹よ、まずかく疑うことを習え」 於：ドーンセンターパフォーマンススペース	「セミナー竹中恵美子に学ぶ～労働・社会政策・ジェンダー」企画委員会	76名
4	7月30日(土)	「知ろう！使おう！活かすのは私たち：第3次男女共同参画基本計画」 於：ドーンセンター特別会議室	北京女性会議ネットワーク関西	47名
5	7月30日(土) ・31(日)	Weフォーラム2011 in 大阪 「つながりの中で生きる力を：地域・学校・家庭で」 於：ドーンセンターパフォーマンススペース、特別会議室、大会議室、中会議室、調理室	Weフォーラム実行委員会	全体会 大人95名 子ども1名 分科会 357名
6	11月29日(火)	厚生労働省 平成23年度在宅就業者総合支援事業 「在宅ワークセミナー（入門編・基礎編）」 於：ドーンセンター特別会議室	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	50名
7	12月17日(土) ・18日(日)	女性学研究センター日韓シンポジウム 「ジェンダー研究の現在」 於：大阪府立大学中之島サテライト	大阪府立大学女性学研究センター	(延) 114名
8	24年3月3日(土) ・4日(日)	GCR@SEAN認定講座 「次世代の子どもへの大人の責任力！」 於：ドーンセンター中会議室	特定非営利活動法人シーン	18名

(2) 後援事業

<内容・参加実績>

	月 日	内 容	主催者	参加者数
1	6月23日(木) ～25日(土)	介護保険ホットライン2011・関西 於：ドーンセンター中会議室1	高齢社会をよくする女性の会・大阪	スタッフ 58名 相談件数 45件
2	8月27日(土) ～28日(日)	第4期GCR@SEAN認定講座 次世代の子どもへの大人の責任力！ 於：高槻市立総合市民交流センター 4階 第4会議室	特定非営利活動法人 SEAN	9名

1 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業

【事業概要】

（１）目的 東日本大震災の被災地においては、長引く仮設住宅での暮らしや生活不安などの影響によるストレスの高まりなどから、女性が様々な不安・悩み・ストレスを抱えることや、女性に対する暴力が生じることなどが懸念される一方、こうした女性の悩みを汲み取る立場にある地方公共団体そのものが「被災者」であるため、こうした悩みへの相談対応に十分手が回らない状況が存在する。

そのため、本年５月１０日から岩手県において、また、９月１日から宮城県において、地方公共団体や民間団体等と共同で、女性の悩み・暴力相談窓口を開設し、電話による相談を受け付けるとともに、相談員が仮設住宅等を訪問し、被災女性から直接相談を受け付けることなどにより、被災地において女性が安心して相談できる相談サービスを提供している。

相談員からは、被災者が仮設住宅に移り、本格的な生活再建に直面し始めたことにもない、相談内容がより深刻化するとともに、その数も増加しつつあるとの報告を受けているが、被災地の地方公共団体のみでこうした深刻な相談に十分な対応を行うことは依然として困難であり、引き続き内閣府において、地方公共団体や民間団体等と協働し、かつ、全国の専門性の高い相談員の協力を得て、女性の悩み・暴力相談を実施する必要がある。

相談を通じて相談者の気持ちに寄り添い、その悩みを傾聴し、一緒に不安の解消に向けた取組を考えるとともに、相談者の状況に応じた支援の窓口につなぐことにより、具体的な問題解決につなげることとする。

また、相談窓口に寄せられた相談から、被災地における女性のニーズを把握し、災害対策本部や避難所を運営する地方公共団体に提供することにより、被災者支援の取組に活かすこととする。

【事業内容・実績】

（１）研修の運営

集中相談事業において、被災地で相談対応を行う予定の被災地及び全国の相談員、女性の悩み相談や暴力被害者支援を行っている全国のＮＰＯや男女共同参画センターなどの相談員で、今後被災者の相談対応を行うことを検討している者を対象に、被災地で女性がどのような悩みや不安を抱えているのか、悩みや不安への相談対応へのあり方について研修を行った。

<岩手県①>

日 時：平成２４年１月２１日（土）～２２日（日）

場 所：岩手県民情報交流センター（１月２１日）

盛岡市民文化ホール（１月２２日）

定 員：３０名、参加者数：２６名（１日目）、２８名（２日目）

	月 日	内容
1	1月21日（土）	主催者挨拶／事業概要説明 内閣府男女共同参画局推進課暴力対策推進室室長 原典久
		社会資源の活用について 一般社団法人社会的包摂サポートセンター 日置真世
		女性に対する暴力とは？（Ⅰ） 全国女性シェルターネット事務局長 遠藤智子
		女性に対する暴力とは？（Ⅱ） 全国女性シェルターネット事務局長 遠藤智子
		被害者・子どもへの支援とは？ 久留米市男女平等推進センター相談コーディネーター、社会福祉士 石本宗子
2	1月22日（日）	トラウマ・PTSDについて ウィメンズカウンセリング京都、フェミニストカウンセラー 周藤由美子
		対面相談や電話相談の受け方 全国女性シェルターネット新潟 吉田久美
		相談の演習（Ⅰ）（Ⅱ） ハーティ仙台代表理事 八幡悦子
		久留米市男女平等推進センター事業コーディネーター、社会福祉士 石本宗子

<岩手県②>

日 時：平成24年1月30日（月）～31日（火）

場 所：エスポワールいわて

定 員：140名、参加者数：113名（1日目）、128名（2日目）

	月 日	内容
1	1月30日（月）	主催者挨拶 内閣府男女共同参画局推進課暴力対策推進室室長 原典久
		事業概要説明 内閣府男女共同参画局推進課暴力対策推進室暴力対策調整係長 齋藤由佳
		復興・復旧の取組① 東日本大震災復興対策本部事務局参事官 藤澤美穂
		復興・復旧の取組② 岩手県復興局生活再建課総括課長 鈴木浩之
		被災地における相談① ※相談員としての対応 全国女性シェルターネット共同代表 近藤恵子
		被災地における相談② 参画プランニング・いわて副理事長 田端八重子
		災害と心のケア① 女性の安全と健康のための支援教育センター理事 白川美也子
		災害と心のケア② 女性の安全と健康のための支援教育センター理事 平川和子、理事 白川美也子
		災害と心のケア③ 女性の安全と健康のための支援教育センター理事 平川和子
2	1月31日（火）	ジェンダー（男女共同参画）の視点に立ったグループ・ファシリテーション ミシガン大学社会福祉大学院教授 吉浜美恵子

		勤務管理等の説明 財団法人大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター 仁科あゆ美 法テラスの説明 法テラス岩手事務局長 保理江 均
		相談拠点責任者との意見交換 岩手県内各相談拠点責任者

<宮城県>

日 時：平成24年2月6日（月）～7日（火）

場 所：エル・パーク仙台

定 員：100名、参加者数：178名（1日目）、175名（2日目）

	月 日	内容
1	2月6日（月）	主催者挨拶 内閣府大臣官房審議官 武川恵子
		事業概要説明 内閣府男女共同参画局推進課暴力対策推進室政策調整員 岡本葉子
		復興・復旧の取組① 東日本大震災復興対策本部事務局参事官 藤澤美徳
		復興・復旧の取組② 宮城県環境生活部共同参画社会推進課課長 佐藤謙一
		被災地における相談① ※相談員としての対応 全国女性シェルターネット共同代表 近藤恵子
		被災地における相談② ハーティ仙台代表理事 八幡悦子
		災害と心のケア① 女性の安全と健康のための支援教育センター理事 白川美也子
		災害と心のケア② 女性の安全と健康のための支援教育センター理事 平川和子、理事 白川美也子
		災害と心のケア③ 女性の安全と健康のための支援教育センター理事 平川和子
2	2月7日（火）	ジェンダー（男女共同参画）の視点に立ったグループ・ファシリテーション ミシガン大学社会福祉大学院教授 吉浜美恵子
		法テラスの説明 法テラス岩手本部犯罪被害者支援課課長 上村正人
		勤務管理等の説明 財団法人大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター 仁科あゆ美
		相談拠点責任者との意見交換 宮城県内各相談拠点責任者

<福島県>

日 時：平成24年1月21日（土）～22日（日）

場 所：郡山市男女共同参画センター

定 員：100名、参加者数：116名（1日目）、116名（2日目）

	月 日	内容
1	1 月 21 日（土）	主催者挨拶 内閣府男女共同参画局 岡島敦子
		事業概要説明 内閣府男女共同参画局推進課暴力対策推進室政策調整員 岡本葉子
		復興・復旧の取組① 東日本大震災復興対策本部事務局参事官 藤澤美穂
		復興・復旧の取組② 福島県生活環境部人権男女共生課 松崎健一
		被災地における相談① ※相談員としての対応 日本フェミニストカウンセリング学会 荻野茂子
		被災地における相談② 女性の自立を応援する会 丹羽麻子
		災害と心のケア① 女性の安全と健康のための支援教育センター理事 白川美也子
		災害と心のケア② 女性の安全と健康のための支援教育センター理事 平川和子、理事 白川美也子
		災害と心のケア③ 女性の安全と健康のための支援教育センター理事 平川和子
2	1 月 22 日（日）	ジェンダー（男女共同参画）の視点に立ったグループ・ファシリテーション ミシガン大学社会福祉大学院教授 吉浜美恵子
		勤務管理等の説明 財団法人大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター 仁科あゆ美
		相談拠点責任者との意見交換 福島県内各相談拠点責任者

（２）社会資源リストの作成

本事業の実施にあたっては、国や関係地方公共団体が実施している被災者の心のケアや孤立防止に関する支援事業、被災者への支援制度等に関する情報を収集し、各臨時相談拠点に設置した。また、男女共同参画センターや配偶者暴力支援センター、法テラス、民間支援団体などの情報を取りまとめ、臨時相談拠点に寄せられた相談内容に応じて、相談員が相談者に紹介できる社会資源台帳を作成し、各臨時相談拠点に設置した。相談員専用のホームページ（パスワード設定）を作成し社会資源台帳の情報を掲載、臨時拠点に設置したパソコン等から閲覧できるようにした。

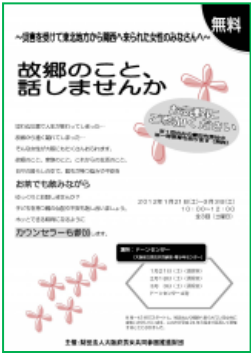
（３）相談員へのスーパービジョン（事例検討会等）の実施

対応の困難な案件が電話相談に寄せられ、その対応について相談員から相談があった場合には、必要に応じてスーパービジョンを行った。また、地域における災害時の女性支援や相談対応の基盤強化を目的として、地元の女性支援や女性相談に携わる者を対象に講義を行うなどの形でもスーパービジョンを行った。

2 被災地から関西に避難されてきた女性のためのサポート・グループ

【事業概要】

- (1) 目的 被災地から関西に避難されている女性が集い、生活の変化に伴うストレス、故郷への思い、家族のこと、慣れない土地で暮らす中でさまざまな悩みなどを語り合える場を提供する。
- (2) 日時 平成23年9月10日～平成24年3月3日
- (3) 場所 ドーンセンター 和室・調理室（4F）
- (4) 参加費 無料（交通費支給）
- (5) その他 一時保育あり（無料）、茶菓子付き



【事業内容・実績】

(1) サポート・グループ「故郷のこと、話しませんか①」

- ①日程 平成23年9月10日（土）～12月10日（土）
- ②ファシリテーター 本多利子（元ドーンセンターカウンセラー）ほか
- ③内容・参加者数 定員：各回15名

	月 日	テーマ	参加者数
1	9月10日（土）	自己紹介／被災地から関西へ避難してきた各々の経緯について	4名
2	9月24日（土）	関西へ移住についての悩み、現状	4名
3	10月8日（土）	自主避難のしんどさ／放射能の終わりのない不安	4名
4	10月22日（土）	震災の記憶の恐怖、不安／クッキングセラピー	1名
5	11月5日（土）	関西での生活について	5名
6	11月26日（土）	今後のこと、自分達にできることについて	5名
7	12月10日（土）	子どもについて／クッキングセラピー	5名
			(延)28名

(2) サポート・グループ「故郷のこと、話しませんか②」

- ①日程 平成24年1月21日（土）～3月3日（土）
- ②ファシリテーター 本多利子（元ドーンセンターカウンセラー）ほか
- ③内容・参加者数 定員：各回15名

	月 日	テーマ	参加者数
1	1月21日（土）	自己紹介／子どもへの放射線の影響	9名
2	2月18日（土）	被災者同士のネットワーク、情報共有について	6名
3	3月3日（土）	今後の生活（関西に残る、東北へ帰る選択）／クッキングセラピー	10名
			(延)25名

1 ドーンセンターの概要

(1) 運営の基本理念と目的（平成16年3月改定）

「男女が対等な立場で、あらゆる分野へ参加・参画することができる社会の創造」を基本理念とし、社会的・経済的な男女格差の是正、女性のエンパワメントのための総合的な支援施設としての役割を果たしていくことを目的とする。

(2) 沿革

ドーンセンターの建設計画は、各界の専門家や女性団体、グループの方々など幅広い府民の参画を得て進められた。センターの事業や施設内容についてもドーンセンター推進会議やクリエイティブフォーラムなどを開催して、府民の方々とともに検討し、方針が決められた。

ドーンセンターの施設管理・事業運営については、大阪府からの委託を受けて、財団法人大阪府男女共同参画推進財団がその全てを担ってきたが、平成18年4月、ハード部門（利用促進・施設管理）に指定管理者制度が導入された。これに伴い、ハード部門は財団とNPO法人による事業共同体が指定管理者として運営を受託（5年契約）、ソフト部門（事業）は従来通り財団が受託した。

平成21年度には、大阪府によって多機能化が図られて、青少年を加えた施設名称に変更、また、府女性相談センターが転入した。

昭和61年度	4月	「21世紀をめざす大阪府女性プラン」策定 (昭和61年度～平成2年度)
	9月	建設予定地（元大手前会館跡地）を決定
	1月	第1回婦人団体、グループアンケート実施
昭和62年度	6月	基本構想公表
	1月	第2回婦人団体、グループアンケート実施
昭和63年度	9月	婦人総合センター（仮称）推進会議の設置 (平成3年7月、ドーンセンター推進会議に改称)
	12月	クリエイティブフォーラム開催 府政モニターアンケート調査実施
	1月	元大手前会館撤去完了
		基本設計、文化財発掘調査（第1期）
平成元年度		実施設計、文化財発掘調査（第2期）
平成2年度	12月	クリエイティブフォーラム開催
	2月	愛称「ドーンセンター」に決定
平成3年度	9月	「女と男のジャンププラン」策定（平成3年度～12年度まで） 文化財発掘調査（第3期）
	12月	クリエイティブフォーラム開催
	3月	建設工事着工（工期28か月）
		シンボルマーク決定
平成4年度	12月	クリエイティブフォーラム開催
平成5年度	1月	シンボルマーク決定
	11月	プレイベント「女性映像フォーラム」開催

平成6年度	11月	ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）開館
平成13年度		大阪府における「NPOとの協働モデル施設」に位置付け
	3月	ウェルネスのフロア（地下1階）の廃止
平成14年度	4月	休館日を水曜日から月曜日に変更
	10月	NPO協働フロア（地下1階）のリニューアルオープン
平成16年度	11月	開館10周年記念行事開催
平成18年度	4月	ハード部門に指定管理者制度導入
		「NPOとの協働モデル施設」「女性のチャレンジ支援のための拠点施設」に位置付け（「改定おおさか男女共同参画プラン」）
	11月	ソウル女性プラザ（韓国）と友好協約締結
平成19年度	9月	情報ライブラリー（2階）開室時間変更
平成20年度	8月	情報ライブラリー（2階）開室日・開室時間変更
平成21年度	4月	大阪府立男女共同参画・青少年センターへ名称変更
	10月	大阪府女性相談センター転入（3階）
平成23年度	4月	第2期指定管理者が運営スタート

（３）建物概要

①所在地	大阪市中央区大手前1丁目3番49号
②敷地面積	3, 170㎡
③構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
④階数	地上10階地下1階
⑤高さ	52m
⑥建築面積	1, 971㎡
⑦延床面積	12, 761㎡
⑧立体駐車場	92台

（４）運 営	事 業：財団法人大阪府男女共同参画推進財団 利用促進・施設管理：ドーン運営共同体
--------	---

（５）歴代館長	津村 明子	平成6年4月～平成9年12月
	上田 忍	平成10年1月～平成13年3月
	竹中 恵美子	平成13年4月～平成19年6月
	清野 博子	平成19年7月～平成22年3月
		※平成22年4月、館長職廃止

（６）利用について

①開館時間	9：00～21：30
②利用時間	9：30～21：30
③休 館 日	毎週月曜日、祝日及び振替休日（ただし、その日が土・日曜日の場合は開館し、翌週火曜日が休館。またその日が月曜日の場合は、翌火曜日も休館）、年末年始
④ホール・会議室等の利用申込	
ア 予約・受付	9：00～20：00
イ 抽選会日時	<ホール、パフォーマンススペース> 12ヶ月前の第1水曜日（※） 受付：14：00～14：30

<会議室等>

3ヶ月前の第1水曜日(※) 受付：9：30～10：00

※第1水曜日が休館日の場合は、次の平日開館日に行う。1月に限っては
1月5日に行い、1月5日が休館日に当たる場合は翌日に行う。

ウ 電話・窓口受付 抽選会翌日の9：30から先着順で受け付け

⑤こどものへや

定期保育 毎週木曜日 9：30～12：30

対 象：1歳以上就学前まで

保育料：1時間につき500円

定 員：6名程度

⑥サポート・カウンセリングルーム

ア 問い合わせ・予約受付 火～金曜日 13：30～18：00

18：45～21：00

土・日曜日 9：30～13：00

13：45～18：00

イ 女性の悩み電話相談 火～金曜日 17：00～20：00

土・日曜日 10：00～16：00

ウ 女性のための面接相談 火～金曜日 17：00～21：00

土・日曜日 10：00～18：00

⑦情報ライブラリー

ア 開室時間 火・水・木・土曜日 9：30～17：30

(貸出、情報相談は17：20まで)

金曜日 9：30～20：00 (貸出、情報相談は19：50まで)

イ 休室日 休館日、日曜日、毎月最終火曜日(火曜日が休館の場合は、翌日の水曜日)及
び特別資料整理期間

⑧駐車場(タワーパーキング)

利用時間 8：45～21：45

最初の1時間 400円(以降30分ごとに200円) 上限2,400円(2012.2.1～)

普通車のみ

(車高・車幅等制限あり。車高1m55cm 車幅1m80cm 車長5m30cm)

※障害者手帳等の提示により、料金を免除

2 ドーン運営共同体の概要

(1) 設立目的

男女財団、青少年財団、施設管理会社、文化関係NPOの4団体による事業共同体として指定管理者に名乗りをあげ、個々の団体の特色を活かし、利用サイドに立った柔軟できめ細かい発想を生かすことで、指定管理者制度の趣旨である利用者サービスの向上と施設の効率的運用の両立を図り、大阪府における男女共同参画社会づくりの拠点施設及び青少年センターとしてのドーンセンターの利用促進を継続発展させる。

(2) 構成員

- 名 称 財団法人大阪府男女共同参画推進財団
代表者 理事長 時岡禎一郎
所在地 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

- 名 称 一般財団法人大阪府青少年活動財団 ※10月1日より一般財団法人化
代表者 理事長 鈴木 孝三
所在地 大阪市浪速区幸町2丁目7-3 りそな・アルテ桜川ビル4階

- 名 称 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 関西支社
代表者 常務取締役支社長 瀬尾 孝夫
住 所 大阪市北区天満橋1丁目8番30号

- 名 称 特定非営利活動法人大阪現代舞台芸術協会
代表者 理事長 岩崎 正裕
住 所 大阪市中央区東心斎橋2丁目1番27号 周防町ウイングス5階

※共同体代表者は、財団法人大阪府男女共同参画推進財団理事長

(3) 指定管理者指定年月日

平成23年3月16日

(4) 指定期間

平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）

(5) 共同体の事務所

大阪市中央区大手前1丁目3番49号

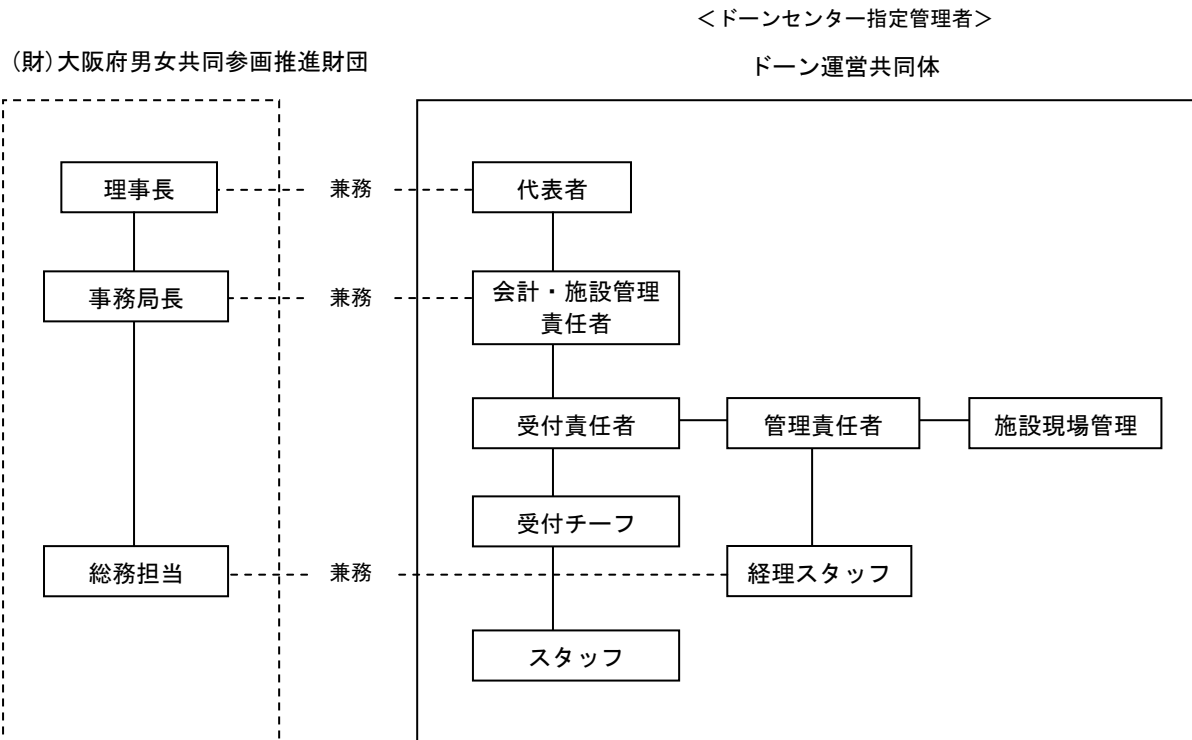
(6) 主要事業

- (1) ホール・会議室等の利用受付及び使用料の徴収業務
- (2) 施設、設備等の維持管理業務（日常清掃業務を除く）
- (3) 一時保育事業

(7) 共同体のあゆみ

平成22年12月 9日 「ドーン運営共同体」発足
 平成23年 3月16日 大阪府より指定管理者に指定
 平成23年 4月 1日 指定管理業務開始

(8) 組織体制



3 指定管理業務

大阪府から指定管理者として指定されたドーンセンターの管理運営を行うとともに、府民にホールや会議室の貸出を行った。

(1) 来館者数

(単位：人)

	会議室等	ホール等	ライブラリー	視 察	その他	合 計	1 日平均
							(25 日)
4 月	13,708	8,665	2,139	0	793	25,305	1,012
5 月	12,993	7,439	1,924	2	908	23,266	1,012
6 月	15,698	10,045	2,368	19	898	29,028	1,116
7 月	16,012	11,183	2,275	14	823	30,307	1,166
8 月	12,369	8,350	2,372	0	754	23,845	917
9 月	12,941	7,980	2,132	3	705	23,761	990
10 月	16,025	10,562	1,983	0	1,008	29,578	1,183
11 月	14,935	11,368	1,813	2	767	28,885	1,204
12 月	11,807	9,655	1,452	37	681	23,632	1,027
1 月	12,257	8,620	1,415	0	808	23,100	1,004
2 月	15,065	7,969	1,758	0	792	25,584	1,066
3 月	16,239	10,307	2,069	0	1,617	30,232	1,163
23 年度計	170,049	112,143	23,700	77	10,554	316,523	1,073
22 年度計	178,721	113,527	26,367	54	12,147	330,816	1,125

(2) 会議室・ホール等の貸出

男女の自立と対等な参加・参画に基づく男女共同参画社会の実現、並びに青少年活動の促進や青少年の健全育成に資する目的をもって行う学習活動等の開催場所として、ドーンセンターの会議室やホールなどを貸出した。

なお、センターの設置目的に支障のない範囲において、府民の健全で文化的な集会及び催物等の実施に対しても会議室等を貸出した。

①会議室・ホール等の利用状況

<会議室等の利用率>

	会 議 室 等 (%)				ホール (%)	パフォーマンス・ スペース (%)	合 計 (%)
	会議室	和 室	調理室等	小 計			
4 月	68.8	36.7	36.5	57.5	50.7	41.3	56.5
5 月	63.8	46.4	41.7	56.5	49.2	39.1	55.4
6 月	64.4	36.5	47.4	57.4	62.5	59.0	57.7
7 月	66.5	44.2	45.9	59.1	68.1	50.0	59.1
8 月	55.0	46.8	40.0	50.4	58.3	48.7	50.7
9 月	61.9	41.7	36.4	53.5	50.0	59.7	53.6
10 月	67.1	49.3	49.9	61.0	58.0	66.7	61.1
11 月	67.0	50.7	40.8	58.8	74.2	61.1	59.6
12 月	55.9	42.8	33.0	48.8	71.7	69.6	50.7
1 月	57.4	47.8	33.6	50.5	76.2	31.9	50.7
2 月	67.3	45.8	41.4	58.6	69.7	52.8	58.8
3 月	67.1	53.2	46.2	60.4	65.3	65.4	60.9
23 年度計	63.6	45.1	41.2	56.1	62.7	53.9	56.3
22 年度計	64.4	40.2	41.4	56.2	62.4	50.1	56.2

<利用目的別比率>

種 別	目 的 内 利 用 (%)					一般利用 (%)
	男女共同参画				青少年	
	財団主催講座等	登録団体	その他	合 計		
会議室等	5.1	24.4	14.1	43.7	7.8	48.5
ホール	6.1	8.5	12.0	26.6	13.2	60.2
パフォーマンス・スペース	1.3	14.0	15.7	31.0	4.8	64.2
23 年度計	5.0	23.2	14.1	42.3	7.9	49.8
22 年度計	6.4	25.6	12.6	44.6	6.7	48.7

<曜日別、時間帯別利用率>

種 別		午 前 (%) (9:30～12:00)	午 後 (%) (13:00～17:00)	夜 間 (%) (18:00～21:30)	計 (%)
会議室等	平日	48.3	67.9	43.6	53.3
	土曜	69.0	89.7	36.0	64.9
	日曜	67.7	90.1	15.2	57.7
	小計	55.5	75.7	37.2	56.1
ホール	平日	52.1	67.9	40.0	53.3
	土曜	81.1	90.6	66.0	79.2
	日曜	94.2	96.2	36.5	75.6
	小計	65.9	77.8	44.4	62.7
パフォーマンス・スペース	平日	37.8	48.9	53.2	46.6
	土曜	71.7	86.8	47.2	68.6
	日曜	92.3	92.3	17.3	67.3
	小計	53.6	63.5	45.7	54.3
合 計	平日	48.0	67.0	43.9	53.0
	土曜	69.6	89.6	37.9	65.7
	日曜	70.0	90.5	16.3	58.9
	小計	55.8	75.3	37.9	56.3

②駐車場の利用状況

当センター利用者の方の利便性を高めるため、普通車 92 台を収容できる立体駐車場を完備しており、平成 23 年度 11, 710 台の利用があった。また、障害者の方は、利用料金を免除しており、340 台の利用があった。

<駐車場利用状況>

区分	駐車台数		一日平均	
		内減免数		日数
4 月	1,085	29	43	25
5 月	710	19	31	23
6 月	1,135	45	44	26
7 月	1,102	28	42	26
8 月	809	29	31	26
9 月	973	34	41	24
10 月	1,096	26	44	25
11 月	1,019	24	42	24
12 月	891	35	39	23
1 月	738	16	32	23
2 月	1,084	26	45	24
3 月	1,068	29	41	26
23 年度計	11,710	340	40	295
22 年度計	11,929	372	41	294

(3) グループ活動の支援

① グループロッカーの設置

- ア 定期的にドーンセンターを利用するグループ・団体の使用物品の保管場所として、また、グループ相互の情報交換を通じ、グループ同士の交流を深めるために、グループロッカーを設置し、貸し出しを行う。
- イ 自主的に結成・運営されているグループで、ドーンセンターを定期的に利用している団体等。申込み多数の場合は抽選
- ウ 貸し出し期間 1年間（平成23年6月1日～平成24年3月25日）
- エ 使用料金 無料とする。
- オ ロッカー数
- | | |
|-----------------------------|-----|
| (ア) 大型(幅36cm×高さ77cm×奥行40cm) | 36個 |
| (イ) 小型(幅34cm×高さ28cm×奥行35cm) | 80個 |
- カ 貸出し件数 74団体（登録団体：68、一般団体：1）

② メールボックスの設置

定期的にドーンセンターを利用するグループ・団体の活動に関する情報交換のため資料等郵便物の配達を受けるため、センター内にメールボックスを設置し、貸し出しを行ってきたが、貸し出し件数が少なく当館での活動が低調な団体もあったため、より良い方法を現在検討中。

③ ワークステーションの運営

- ア チラシやミニコミ誌等の作成、催し物の準備に伴う各種の創作活動を通じて、ドーンセンターを活動の拠点とするグループ活動や、グループ相互の交流を促進するためのスペースとしてワークステーションを無料提供する。
- イ 運営時間 午前9時から午後9時30分
- ウ 設置機器 印刷機、紙折り機、裁断機、製本機、(コピー機は3階へ移動)
- エ 使用料
- (1) 印刷機：製版代 1製版 50円
印刷代 1枚 0.5円（但し、10円単位での精算）
用紙は利用者持参
- (2) コピー機：1枚 10円 カラーは 50円
- (3) FAX：送受信ともA4まで1枚 20円 A3まで1枚 40円
E-mail サービス パソコン使用料 20分 100円
プリントアウト 1枚 10円
- オ 急に用紙が必要になった場合の対応としてコピー用紙の販売を開始した。
- | | |
|-----------|------|
| A4サイズ500枚 | 400円 |
| B4サイズ500枚 | 600円 |
| A3サイズ500枚 | 700円 |

<利用状況>

月 別	印刷機利用団体数	月 別	印刷機利用団体数
平成 23 年 4 月	118 件	平成 23 年 10 月	103 件
平成 23 年 5 月	91 件	平成 23 年 11 月	87 件
平成 23 年 6 月	140 件	平成 23 年 12 月	92 件
平成 23 年 7 月	92 件	平成 24 年 1 月	86 件
平成 23 年 8 月	110 件	平成 24 年 2 月	101 件
平成 23 年 9 月	107 件	平成 24 年 3 月	103 件
合 計		1, 230 件	

④情報交換プラザの運営

センター内外で行われる各種行事の情報提供及びグループ活動の交流や情報の交換が行えるよう、1 階の情報交換プラザにおいてグループ・団体、行政機関等のちらしやパンフレット等を配布した。

	府庁関係	国・他府県	市町村	他の女性センター	自主グループ	合計
23年度	408	243	821	705	1849	4026
22年度	289	298	708	771	1559	3625

4 一時保育事業

子育て中の人々の社会参加を促進・支援することを目的として、ドーンセンターの主催事業への参加者や情報ライブラリー等の利用者を対象に「こどものへや」を設置し、一時保育事業をドーン利用促進事業共同体の委託事業として実施した。

運営にあたっては、民間の保育運営手法を取り入れ、より一層の事業効果を高めるため、公募プロポーザルによって選定したNPO法人関西子ども文化協会との協働（委託）により事業の活性化に努めた。

（１）実施内容

①定期保育

情報ライブラリー等のセンター利用者を対象として、平成２３年４月から平成２４年３月まで毎週木曜日 午前（但し７月、１２月は午後も実施）に実施した。

<保育時間> ９：３０～１２：３０ １３：３０～１６：３０

②「こどものへや」の貸し出し

センター施設を利用する団体・グループが保育を実施する場合に、「こどものへや」の貸出を行った。

③ 保育協力者 ７９名（平成２４年３月３１日現在）

（２）「こどものへや」の利用状況

	定期保育			貸出件数	合 計
	開催日数①	子ども数	保育協力者数	①	①+②
４月	２	４	４	５	７
５月	１	１	２	６	７
６月	５	５	１０	２３	２８
７月	４	８	９	１６	２０
８月	４	７	８	１８	２２
９月	５	１６	１１	２０	２５
１０月	４	５	８	２５	２９
１１月	２	１０	５	１１	１３
１２月	１	１	２	５	６
１月	０	０	０	１０	１０
２月	１	１	２	６	７
３月	４	２３	１８	１０	１４
２３年度計	３３	８１	７９	１５５	１８８
２２年度計	２８	１１０	７６	１２１	１４９

1 東大阪市立男女共同参画センターの概要

(1) 目的

東大阪市立男女共同参画センターは「男女共同参画社会基本法」の基本理念を踏まえ、女性と男性が互いにその人権を尊重し、性別にとらわれることなく、一人ひとりの能力と個性が十分にいかされる社会の実現をめざすための活動を行う拠点施設として設置した。

(2) 業務内容

①情報に関する事業

情報の提供・発信（啓発）・収集、調査研究、機関紙の発行

②学習に関する事業

男女共同参画社会の実現に向けた講座、女性のエンパワーメントを促進するための講座、講演会、ビデオ上映会等の開催

③交流事業

交流の機会提供、利用者間の情報交流の促進、他都市との交流促進

④自主活動支援事業

諸活動の場の提供、センター利用者に対する一時保育

⑤相談事業（女性のための相談）

女性相談員による電話相談、面接相談、多言語相談（英語、中国語、韓国・朝鮮語）、女性弁護士による法律相談、女性社会保険労務士による労働相談

(3) 所在地

東大阪市岩田町4丁目3番22-600号

近鉄奈良線若江岩田駅北側「希来里（きらり）」ビル 施設棟 6階

(4) 開館年月日

平成15年4月14日

(5) 愛称

「イコーラム」

(6) 愛称の由来

愛称を公募した結果、イコール（equal＝等しい、同じであること）とフォーラム（forum＝集会所、公共の広場）をあわせた造語である「イコーラム」に決定した。

(7) 建物概要

①構造等 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地上7階 地下1階

②施設占有面積 1,898.36 m²

(8) 利用案内

- ①開館時間 平日・土曜日 9:00～21:30
日曜日 9:00～18:00
- ②休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、その翌日が休館）
12月29日から1月4日
- ③利用申込 研修室・学習室は使用日の3か月前の属する月の1日から、直接窓口にて申込み可能。
ホール・ギャラリーは使用日の6か月前の属する月の1日から申込み可能。

(9) 運営 財団法人大阪府男女共同参画推進財団

(10) 事業推進委員会

男女共同参画社会の実現をめざし、市と連携してセンターの自主事業企画の提案を行い、男女共同参画の推進を図る目的で設置。

- ①委員 13名（公募市民）、任期2年

②事業推進委員会議事内容

	月 日	議 題
1	6月16日(木)	平成23年度事業説明、委員会開催予定 ほか
2	7月28日(木)	男女共同参画週間記念のつどいについて（報告）、センターだよりについて、フェスタ会議開催について、希来里ファミリーまつりについて ほか
3	9月29日(木)	センターだよりについて（報告）、イコーラムフェスタについて ほか
4	10月20日(木)	イコーラムフェスタについて ほか
5	11月24日(木)	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて ほか
6	1月18日(水)	イコーラムフェスタについて、センターだよりについて ほか
7	2月16日(木)	イコーラムフェスタについて（最終打ち合わせ）
8	3月27日(火)	イコーラムフェスタを終えて、センターだよりについて、今年度を振り返って

2 施設管理業務

指定管理者として指定された管理運営を行うとともに、市民にホールや研修室の貸出を行った。

(1) 利用者数

＜月別利用者数＞

(単位：人)

	ホール	ギャラリー	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	学習室	子ども室	合計
4月	3,846	400	983	875	448	568	619	28	7,767
5月	3,056	600	849	774	402	501	593	15	6,790
6月	3,450	3,120	1,265	1,398	710	709	479	30	11,161
7月	4,545	568	915	757	473	616	450	103	8,427
8月	3,217	200	1,049	1,004	542	596	785	159	7,552
9月	4,908	688	900	766	573	611	915	176	9,537
10月	3,724	2,530	954	928	548	617	999	139	10,439
11月	5,342	1,640	1,023	919	552	591	540	70	10,677
12月	4,110	488	885	877	490	490	669	35	8,044
1月	2,000	3,220	806	699	483	550	558	25	8,341
2月	4,835	1,370	1,603	1,396	611	717	947	32	11,511
3月	5,539	450	1,446	1,248	735	788	1,136	32	11,374
	48,572	15,274	12,678	11,641	6,567	7,354	8,690	844	111,620

＜利用種別＞

(単位：人)

	一般利用	団体登録	公用利用	合計
ホール	39,829	971	7,772	48,572
ギャラリー	2,902	0	12,372	15,274
第1研修室	8,875	1,141	2,662	12,678
第2研修室	8,731	582	2,328	11,641
第3研修室	4,991	772	854	6,567
第4研修室	5,957	882	515	7,354
学習室	5,909	1,651	1,130	8,690
子ども室	456	0	388	844
合計	77,650	5,949	28,021	111,620

＜性別＞

(単位：人)

	男性	女性	合計
ホール	20,566	28,006	48,572
ギャラリー	7,472	7,802	15,274
第1研修室	4,883	7,795	12,678
第2研修室	3,869	7,772	11,641
第3研修室	2,014	4,553	6,567
第4研修室	2,314	5,040	7,354
学習室	2,973	5,817	8,690
子ども室	316	528	844
合計	44,307	67,313	111,620

3 東大阪市主催事業

【事業概要】

- (1) 目 的 男女共同参画社会を推進するための講座や講演会等を開催する。
- (2) 日 時 平成22年4月1日～平成23年3月31日

【事業内容・実績】

(1) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く1」

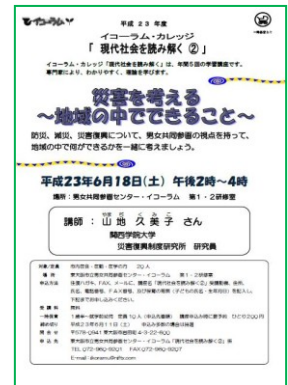
- ①目 的 いま広がっている格差や貧困。ワーキングプアもある現状のなかで、男女共同参画の視点からこの構図を考える。
- ②日 時 平成23年4月16日(土)
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：34名、参加者数：31名



	月 日	テーマ／講師	参加者数
1	4月16日(土) 14:00～16:00	格差・貧困のメカニズム 三山雅子(同志社大学社会学部産業関係学科准教授)	31名

(2) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く2」

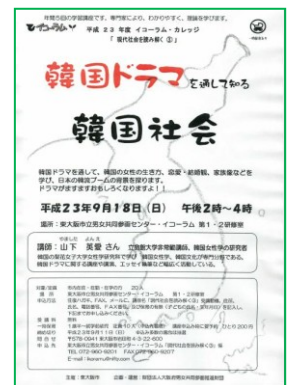
- ①目 的 地域内での災害に関する情報交換やネットワーク構築等を含め、防災、災害復興について、男女共同参画の視点の必要性、また防災、復興計画等の分野への女性の参画について考える。
- ②日 時 平成23年6月18日(土)
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：25名、参加者数：25名



	月 日	テーマ／講師	参加者数
1	6月18日(土) 14:00～16:00	災害を考える～地域の中でできること～ 山地久美子(関西学院大学災害復興制度研究所研究員)	25名

(3) イコーラムカレッジ「現代社会を読み解く3」

- ①目 的 韓国ドラマを通して、韓国の女性の生き方、恋愛・結婚観、家族像等を学び、韓流ブームの背景を探る。
- ②日 時 平成23年9月18日(土)
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：38名、参加者数：35名



	月 日	テーマ／講師	参加者数
1	9月18日(日) 14:00～16:00	韓国ドラマを通して知る韓国社会 山下英愛（立命館大学非常勤講師、韓国女性学の研究者）	35名

（４）イコラムカレッジ「現代社会を読み解く４」

- ①目 的 男性中心に発展してきたスポーツ界で活躍する女性アスリートたちの「アスリート」としてより「女性」としての視点が強調されていることへの葛藤を理解し、またそれが現代女性すべての葛藤であることを認識する。
- ②日 時 平成23年10月15日（土）
- ③場 所 イコラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：20名、参加者数：20名



	月 日	テーマ／講師	参加者数
1	10月15日(土) 14:00～16:00	活躍する女性アスリートたち～女性たちの葛藤～ 熊安貴美江（大阪府立大学女性学研究センター准教授、日本スポーツとジェンダー学会理事）	20名

（５）イコラムカレッジ「現代社会を読み解く５」

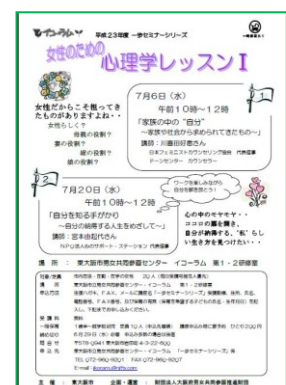
- ①目 的 スウェーデンの高齢者福祉と高齢者や家族の現状を学び、これからの日本の家族や高齢者、また地域で何が必要かを考える。
- ②日 時 平成24年1月21日（土）
- ③場 所 イコラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：54名、参加者数：43名



	月 日	テーマ／講師	参加者数
1	1月21日(土) 14:00～16:00	超高齢社会を考える～福祉国スウェーデンからみた日本の家族～ エルスマリー・アンバックン（関西学院大学人間福祉学部教授）	43名

（６）一歩セミナーシリーズ「女性のための心理学レッスンⅠ」

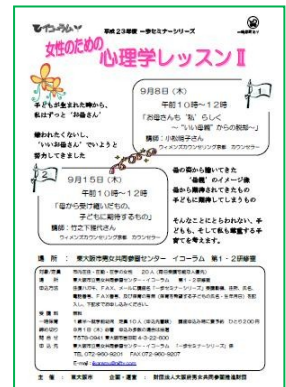
- ①目 的 女性が、家族や社会の枠組みの中で身につけてきたものを切り、今という時代を生きる女性として自分らしい生き方を考える講座とする。
- ②日 時 平成23年7月6日（水）・20日（水）
＊台風のため延期（8月17日（水））
- ③場 所 イコラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：35名



		テーマ／講師	参加者数
1	7月6日(水) 10:00～12:00	家族の中の“自分”～家族や社会から求められてきたもの～ 川喜田好恵(日本フェミニストカウンセリング協会代表理事)	27名
2	8月17日(水) 10:00～12:00	自分を知る手がかり～自分の納得する人生をめざして～ 宮本由起代(NPO法人心のサポート・ステーション代表理事)	20名
			(延) 47名

(7) 一歩セミナーシリーズ「女性のための心理学レッスンⅡ」

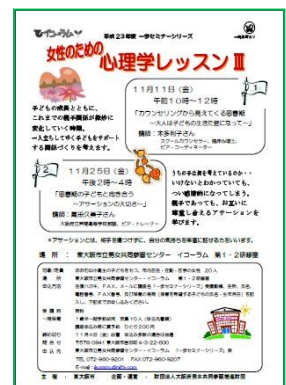
- ①目的 子育て中の女性が、‘母親はこうあるべき’といった、自ら身につけてきたもの、および母親から受け継いできたものを問い直し、自らその期待に縛られることなく子どもをも縛らない、一人の女性として自分らしい生き方を考える講座とする。
- ②日時 平成23年9月8日(木)・15日(木)
- ③場所 イコーラム第1・2研修室
- ④対象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：25名



		テーマ／講師	参加者数
1	9月8日(水) 10:00～12:00	お母さんも‘私’らしく～“いい母親”からの脱却～ 小松明子(ウイメンズカウンセリング京都カウンセラー)	19名
2	9月15日(水) 10:00～12:00	母から受け継いだもの、子どもの期待するもの 竹之下雅代(ウイメンズカウンセリング京都カウンセラー)	22名
			(延) 41名

(8) 一歩セミナーシリーズ「女性のための心理学レッスンⅢ」

- ①目的 思春期という揺れ動く世代に真剣に向き合い、成長する子どもを見守りつつ、一人立ちしていく子どもをサポートする関係づくりとお互い尊重しあうアサーションを学ぶ講座とする。
- ②日時 平成23年11月11日(金)・25日(金)
- ③場所 イコーラム第1・2研修室
- ④対象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：34名



		テーマ／講師	参加者数
1	11月11日(金) 10:00～12:00	カウンセリングから見えてくる思春期 ～大人は子どもの生きた壁になって～ 本多利子(スクールカウンセラー、臨床心理士、 ピア・コーディネーター)	22名
2	11月25日(金) 10:00～12:00	思春期の子どもと向き合う～アサーションの大切さ～ 萬田久美子(大阪府立芦間高等学校教諭、ピア・トレーナー)	27名
			(延) 49名

(9) 一歩セミナーシリーズ「女性のための心理学レッスンⅣ」

①目 的 家族のこと、親戚のことなど家庭全般と仕事、地域活動など、突っ走ってきた人生を振り返り、改めて夫との関係、子どもとの関係、そして介護を含め親との関係を見直し、自身の変化するからだとも向き合い、自分なりのペースと生き方を考える講座とする。

②日 時 平成24年1月19日(木)・21日(土)

③場 所 イコーラム第1・2研修室

④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：28名



		テーマ／講師	参加者数
1	1月19日(木) 10:00～12:00	50代からのスタート～もたれ合わない家族関係をめざして～ 椿本玲子(大阪心のサポートセンター 心理カウンセラー)	19名
2	1月21日(土) 10:00～12:00	更年期を上手にのりきる～ココロもカラダも充実するために～ 北田衣代(阪南中央病院、きただ女性クリニック産婦人科医)	16名
			(延) 35名

(10) 一歩セミナーシリーズ「女性のための心理学レッスンⅤ」

①目 的 出産をめぐる女性の葛藤や価値観、生き方を見つめ、月経・妊娠・出産、避妊や性感染症などの性にかかわることと女性の身体について、正しい知識を得ることで、「子どもを産むのか、産まないのか、産むとすればいつ、だれと、どのような方法で産むかを決めるのは女性の権利」というリプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を知り、からだの主人公である女性が、一人の女性の生き方の中で出産を考える講座とする。

②日 時 平成24年3月17日(土)

③場 所 イコーラム第1・2研修室

④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：13名



		テーマ／講師	参加者数
1	3月17日(土) 10:00～12:00	子どもを産む自由、産まない自由～出産をめぐる女性の葛藤～ 高田昌代(神戸市看護大学教授)	10名

※当初予定していた2回目は、講師の都合により日程変更となり、平成24年度事業として実施。

（１１）男性のための講座「男の介護について考える」

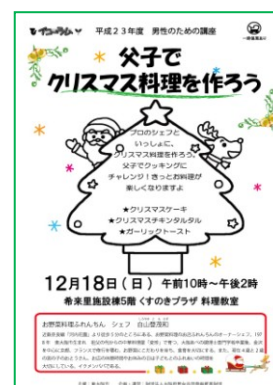
- ①目 的 男性が男性介護の現状や問題点、課題を理解して、同じ立場の人と情報交換を行い、生活力、地域力を向上させることに気づき、さらに公的制度や地域にある支援制度、ネットワークなど必要な情報を利用して、介護について理解を深め積極的に行動していくための方策を探る。
- ②日 時 平成２３年１０月２９日（土）、１１月１２日（土）
- ③場 所 イコーラム第１・２研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の男性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：２０名、申込者数：３７名



		テーマ／講師	参加者数
1	10月29日(土) 10:00~12:00	男性介護の現状と問題点、その解決策について 津止正敏（立命館大学産業社会学部現代社会学科教授、 男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長）	27名
2	11月12日(土) 10:00~12:00	男性による介護について 遠藤哲也（毎日新聞大阪本社編集局学芸部副部长）	17名
			（延）44名

（１２）男性のための講座「父子でクリスマス料理を作ろう」

- ①目 的 男性講師の指導のもと男性保護者と子どもが一緒に料理を通して、コミュニケーションを深め、料理は女性の仕事という固定観念を見直し、男性の子育てについても考える機会とする。
- ②日 時 平成２３年１２月１８日（日）
- ③場 所 希来里施設棟５階 くすのきプラザ料理教室
- ④対 象 東大阪市内在住の小学生と、男性保護者（祖父も可）
- ⑤参加費 無料。材料費として実費
(１組１,５００円。子ども２人目から５００円ずつ追加)
- ⑥内容・参加実績 定員：１２組（１組につき子ども３名まで）、申込者数：２８組（６６名）



		テーマ／講師	参加者数
1	12月18日(日) 10:00~14:00	父子でクリスマス料理を作ろう 白山登茂和（お野菜料理ふれんちんシェフ）	子ども18名 大人12名

(13) 女性リーダー養成講座「翔塾（はばたきじゅく）」

- ①目 的 リーダー的な立場にいる、または既にグループを立ち上げて
いる、これから立ち上げようとしている女性が、リーダーシ
ップとグループマネジメントを理解し、その課題解決に必要なノ
ウハウを学ぶ。
- ②日 時 平成24年1月28日（土）、2月4日（土）・18日（土）、
3月3日（土）・10日（土）
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：26名



		テーマ／講師	参加者数
1	1月28日（土） 13:30～16:30	・オリエンテーション：自己紹介 女性の力を地域に活かす 多田頼子（NPO法人りりあん代表理事）	24名
2	2月4日（土） 13:30～16:30	【リーダーシップ編】 自分らしいリーダーシップを発揮する 越堂静子（ワーキング・ウィメンズ・ネットワーク〈WWN〉代表）	21名
3	2月18日（土） 13:30～16:30	【グループマネジメント編①】 「志」をわかりやすく伝える 山本恵子（ネクストステージ大阪LLP〈有限責任事業組合〉理事長）	14名
4	3月3日（土） 13:30～16:30	【グループマネジメント編②】 グループの運営と情報発信 山田裕子（特定非営利活動法人大阪NPOセンター理事・事務局長）	16名
5	3月10日（土） 13:30～16:30	【事例編】 東大阪市内で活動する女性たち～学んでつながる～ スピーカー：米田由美子（With主催・前イコーラム事業推進委員） 川井ヨネ（NPO法人親子deカフェあ・ん代表理事） ・情報交換会：参加者同士での情報交換	11名
			（延）86名

(14) 表現講座「パープルリボンパッチワークキルトを作ろう」

- ①目 的 パープルリボン・キルトを作成しながら、DVの問題につい
て学ぶ機会とする。
- ②日 時 平成23年8月13日（土）・27日（土）
9月10日（土）・24日（日）
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：15名、申込者数：16名



		テーマ／講師	参加者数
1	8月13日(土) 10:00～12:00	DVについて NPO法人シスターフッド大阪所属カウンセラー パッチワークの基本について 中積 堯子	13名
2	8月27日(土) 10:00～12:00	DVについて NPO法人シスターフッド大阪所属カウンセラー パッチワーク実習 中積 堯子	11名
3	9月10日(土) 10:00～12:00	DVについて NPO法人シスターフッド大阪所属カウンセラー パッチワーク実習 中積 堯子	10名
4	9月24日(土) 10:00～12:00	DVについて NPO法人シスターフッド大阪所属カウンセラー パッチワーク仕上げ 中積 堯子	12名
			(延) 46名

(15) 仕事イキイキ講座

- ①目的 キャリアを築いてきた先輩女性の様々な実例を知り、多様な
選択肢のなかから、自分自身の望むキャリア形成を確認し、ア
クションプランを作成する。
- ②日時 平成23年7月2日(土)・9日(土)・16日(土)・
31日(日)
- ③場所 イコラーム第1・2研修室
- ④対象 東大阪市内在住・在勤・在学の女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：20名、申込者数：17名



		テーマ／講師	参加者数
1	7月2日(土) 10:00～12:00	十人十色のキャリア形成について 萩原紫津子(産業カウンセラー・キャリアコンサルタント)	13名
2	7月9日(土) 10:00～12:00	わたしを活かして働く 桶屋かおる(2級建築士・インテリアコーディネーター) 阿部 文子(パティシエ・料理学校専任教師)	11名
3	7月16日(土) 10:00～12:00	わたしを活かして働く 森松 明子(コアアクティブコーチ・就労相談員) 原田 正子(RTA認定講師・セラピスト)	11名
4	7月31日(土) 10:00～12:00	じぶんを理解し、自分の強みを知る 萩原紫津子(産業カウンセラー・キャリアコンサルタント)	10名
			(延) 45名

(16) ちょこっとレクチャー「ビデオな1日」

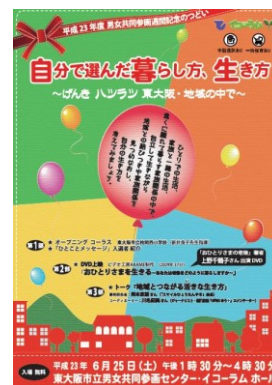
- ①目 的 家族関係や、女性の生き方など、男女共同参画の視点のあるビデオやDVDなどを通して、男女共同参画について学び、気づきを得る。
- ②日 時 平成23年5月～平成24年2月
- ③場 所 イコーラム第1・2研修室
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：各40名



	月 日	内 容	参加者数
1	5月17日(火) 10:00～12:30	『西の魔女が死んだ』＜2008年/日本/115分/監督：長崎俊一＞ 生きづらさを感じる主人公が人と人のふれあいを通し、「強さ」「優しさ」「希望」といった“楽しく生きる”力を取り戻していく作品。	52名
2	6月14日(火) 14:00～16:30	『フラガール』＜2006年/日本/120分/監督：李相日＞ いわき市の炭鉱町で、石炭採掘時の副産物だった温泉を生かしたレジャー施設の開業にあたり、フラダンスショーを成功させるために、娘の頑張りを反対しながらも見つめる母の愛情、ダンス教師と娘たちの絆、その教師が挫折から再び見出した‘踊る欲び’などを描きながら、町の少女たちが過酷なレッスンに耐えて成長していく作品。	31名
3	10月18日(火) 14:00～16:30	『スタンドアップ』＜2005年/アメリカ/126分/監督：ニキ・カーロ＞ 夫の暴力に耐えかね、二人の子どもを連れて家を出た主人公は故郷に戻ってきた。生きていくために選んだ鉱山では、男の職場に入り込んできた女に対する剥き出しの敵意と、露骨な嫌がらせが待っていた。心ない中傷の果てに、息子までいじめられ、家族の絆さえ壊れていく。数少ない同僚の女性たちも事態が悪化するのを恐れて味方になってくれない。それでも女性の権利、人間としての誇りを取り戻すために立ち上がり、訴訟を起こす。米国初の「集団セクハラ訴訟」となった実話に基づいた作品。	27名
4	12月13日(火) 13:30～16:00	『私たちの生涯最高の瞬間』＜2007年/韓国/124分/監督：イム・スルレ＞ 2004年アテネオリンピックの決勝で、世界最強を誇るデンマークと一歩も引かない名勝負を繰り広げたハンドボール韓国女子チームの、苦難の道のりを描いた実話に基づく作品。	25名
5	2月14日(火) 10:00～12:00 14:00～16:00	『クララ・シューマン』＜2008年/ドイツ・フランス・ハンガリー/109分/監督：ヘルマ・サンダース＝ブラームス＞ 19世紀を代表する2大作曲家、ロベルト・シューマンとヨハネス・ブラームスから愛され、自身も作曲家でプロのピアニストであるクララ・シューマン。その才気あふれる女性の生きざまを、ブラームス家の末裔の女性監督が描いた作品。	①28名 ②22名
			(延) 185名

（１７）男女共同参画週間 記念のつどい

- ①目 的 国の定める「男女共同参画週間」にちなみ、「男らしさ」「女らしさ」のイメージに縛られた慣習や制度などを問い直し、性別による固定的な役割分業ではなく一人ひとりがあるのままだに輝き、生き生きとできる社会の実現をめざすきっかけとなるよう、市民に呼びかける。
- ②日 時 平成２３年６月２５日（土）
- ③場 所 イコーラムホール
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料



- ⑥内容・参加実績 定員：２４４名、申込者数：１１６名、参加者数：２７８名

		テーマ／講師	参加者数
1	6月25日（土） 13:30～16:30	自分で選んだ暮らし方、生き方 ～げんき ハツラツ 東大阪・地域の中で～ 【第１部】オープニングコーラス 東大阪市立枚岡西小学校 「ひとことメッセージ」入選者紹介 【第２部】DVD上映「おひとりさまを生きる： あなたは老後をどのように暮らしますか」 (DVD出演：上野千鶴子) <2009年/日本/37分/制作：ビデオ工房 AKAME> 【第３部】トーク「地域とつながる活かな生き方」 事例発表者：岡本定雄（「スマイルひょうたんやま」会長） コーディネーター：川名紀美（ジャーナリスト・毎日放送「NEWS ゆう＋」コメンテーター	278名 (女性228名 男性50名)
2	6月18日（土） ～6月30日（木）	「ひとことメッセージ」入選作品の展示	

（１８）男女共同参画社会にむけて ひとことメッセージ

- ①目 的 6月２３日～２９日の「男女共同参画週間」にちなみ、男女共同参画に向けたメッセージを広く募集することにより、家庭や地域社会における男女共同参画への関心・気づき・取り組みなどを促し、東大阪市内男女共同参画センター及び男女共同参画推進条例の周知を図る。
- ②募集期間 平成２３年４月１日（金）～４月３０日（土）
- ③対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ④内容・応募実績 応募作品数：９８２点、入選作品数：８点

	内 容	作品数
1	応募作品より「小学生の部」「中学生の部」「高校生の部」「一般の部」の各部門ごとに、優秀１点、佳作１点を選考し、そのうち最も優良なものを最優秀として表彰し、対象者には記念品（図書カード）を贈呈。	応募982点 入選8点

（１９）希来里ファミリーまつり「イコーラムから東大阪の女性を元気に！」

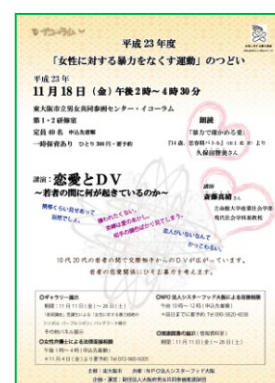
- ①目 的 希来里ビル全館で繰り広げられる希来里ファミリーまつりに
おいて、参加型の催しを実施し、より多くの市民にイコーラム
について知ってもらう機会とする。
- ②日 時 平成２３年８月２１日（日）
- ③場 所 希来里ビル６階イコーラム
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績



	内 容	参加者数
1	「イコーラムから東大阪の女性を元気に！～女性の会社・お店やさん大集合～」と題し、 8人の女性に出展及びプレゼンテーションをしてもらったほか、子どもたちに「イコー ラムうちわ」づくりを体験してもらった。	625 名

（２０）「女性に対する暴力をなくす運動」のつどい

- ①目 的 東大阪市内における「女性に対する暴力をなくす運動強化週間のつどい」では、10～
20代の交際関係にある若い男女間で何が起きているのか、教育
関係者だけでなく、親や民生児童委員など、学校をとりまく地
域の人々が、デートDVの実態を知り、暴力が起こる背景の理
解の促進と、配偶者間のDVにつながらないよう、今何ができ
るのかを考える機会とする。
- ②日 時 平成２３年１１月１８日（金）
- ③場 所 イコーラム第１・２研修室他
- ④対 象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料



- ⑥内容・参加実績 定員：４０名、申込者数：３５名、参加者数：２８名

		テーマ／講師	参加者数
1	11月18日（金） 14:00～16:30	【朗読】「暴力で確かめる愛」（『14歳、思春期バトル』より） 朗読者 久保田智美	28 名
		【講演】恋愛とDV～若者の間に何がおきているのか 講師 齋藤真緒（立命館大学産業社会学部現代社会学科准教授）	
	10:00～12:00	NPO法人シスターフッド大阪による面接相談	0 名
	13:00～16:30	女性弁護士による法律面接相談	3 名
2	11月11日（金） ～26日（土）	【ギャラリー展示】 「表現講座」受講生による「女性に対する暴力根絶のシンボル パープルリボン」 パッチワーク展示。その他パネル展示 【関連図書の展示】	

(21) イコーラムフェスタ2012「笑顔と元気をイコーラムから」

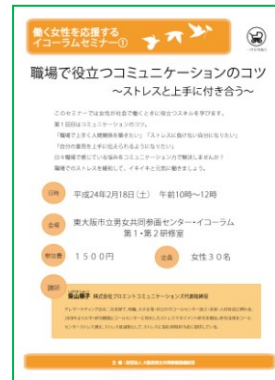
- ①目的 イコーラムの周知をはかるとともに、楽しみながら男女共同参画の実現に向け、その意識を高めてもらう機会とする。
- ②日時 平成24年2月25日(土)・26日(日)
- ③場所 イコーラムホール・ギャラリー・研修室他
- ④対象 東大阪市内在住・在勤・在学の方
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績



		テーマ／講師	参加者数
1	2月25日(土) 13:00～	【オープニング】 オープニング演奏 大阪府立みどり清朋高校吹奏楽部 イコーラム登録団体アピール 【講演】 輝くチャンスを逃さないで～まず一步を踏み出してみよう～ 辻イト子さん(タレント・漫才師・ (有)みかん山プロダクション代表取締役)	240名
2	2月25日(土) ・26日(日) 10:00～16:00	【展示・催し】イコーラム登録団体による展示・各種催し	216名
			(延)456名

(22) 働く女性を応援するイコーラムセミナー①

- ①目的 働く女性が職場に必要なストレスマネジメントと、コミュニケーションスキルを身につける。
- ②日時 平成24年2月18日(土)
- ③場所 イコーラム第1・2研修室
- ④対象 女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：30名



		テーマ／講師	参加者数
1	3月11日(日) 14:00～16:00	職場で役立つコミュニケーションのコツ～ストレスと上手に付き合う 柴山順子(㈱プロエントコミュニケーションズ代表取締役)	15名

(23) 女性のための健康応援セミナー「月経痛に悩まないで」

- ①目的 女性特有の症状や対処法について学び、自分の身体の理解を深めて健康なライフスタイルを確立することを目的とする。
- ②日時 平成24年3月11日(日)
- ③場所 イコーラム第1・2研修室
- ④対象 女性
- ⑤参加費 無料
- ⑥内容・参加実績 定員：30名



		テーマ／講師	参加者数
1	3月11日（日） 14:00～16:00	月経痛に悩まないで～健康でイキイキと過ごすために～ 橋本奈美子（財団法人日本生命済生会付属日生病院産婦人科）	5名

（２４）イコーラムと中保健センターのわくわくコラボ企画「なりたい私になる講座」

①目 的 女性の健康週間（３月１日～８日）にちなみ、中保健センターと男女共同参画センター イコーラムとの協働事業による、女性のからだところの健康に関する講座を開催する。

②日 時 平成２４年２月２７日（月）、３月５日（月）・１３日（火）・２７日（火）

③場 所 中保健センター（希来里ビル３階）・第３回のみイコーラム

④対 象 ６５歳未満の女性

⑤参加費 無料

⑥内容・参加実績 定員：３５名、申込者数：４０名

		テーマ／講師	参加者数
1	2月27日（月） 13:30～15:30	「グッドエイジングな私になりたい」 骨密度測定・体内年齢測定・血流測定など／私のグッドエイジング術 他	30名
2	3月5日（月） 13:30～15:30	「カラダ元気な私でいたい」 こんなに違う男女の健康の課題／女性特有の病気の予防と生活習慣改善術、アロマセラピー	28名
3	3月13日（火） 13:00～15:00	「私らしく心豊かに過ごしたい～私のラッキーカラーをみつける～」 桶村久美子（カラーアナリスト・フリーアナウンサー）	33名
4	3月27日（火） 13:30～15:30	「若々しい美ボディーになりたい」 金井真沙美（エイジング美エクササイズ講師）	30名
			（延）121名

4 情報

【事業概要】

- (1) 目的 男女共同参画関連の資料をそろえ、提供する。
 (2) 日時 平成22年4月1日～平成23年3月31日

【事業内容・実績】

(1) 情報資料室の運営

- ①貸出時間 平日・土曜日 9:00～21:00
 日曜日 9:00～17:00
- ②利用方法 利用者カードを発行し、1人につき図書・AV資料あわせて3点を上限として2週間貸出を行う。
- ③収集資料 蔵書数 2,852点
 AV資料数 232点
 総数 3,084点

④利用件数 (冊)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年度	71	60	65	123	69	102	70	70	44	53	73	94	894
H22年度	62	43	59	53	55	67	66	67	85	35	77	60	729

(2) 情報紙「東大阪市立男女共同参画センターだより イコーラム」発行

- ①発行回数 年3回
 ②発行部数 各2,500部
 ③内容等

No.	発行	内容
No. 24	平成23年 8月	男女共同参画週間 記念のつどい、ひとことメッセージ入選作品、登録団体の紹介・イベント・講座のお知らせ、イコーラムこれからの予定
No. 25	平成23年 11月	日本女性会議2011松江・NWE Cフォーラム報告、希来里ファミリーまつり、登録団体の紹介・イベント・講座のお知らせ、イコーラムこれからの予定
No. 26	平成24年 3月	イコーラムフェスタ、「笑顔」写真応募結果、登録団体のイベント・講座のお知らせ、イコーラムのこれからの予定

- ④取材・編集・協力 男女共同参画センター事業推進委員会

(3) 情報紙「イコーラム情報資料室 図書つうしん」発行

- ①発行回数 年1回
 ②発行部数 200部
 ③内容等

No.	発行日	内容
No. 25	平成23年 9月1日	1面 女性が抱える心の葛藤 2面 9月購入 おすすめ図書

5 登録団体支援

東大阪市内で活動する団体で、男女共同参画社会の形成の促進を図ることを目的の一つとして掲げている団体に対し、その活動の推進を図るための支援を行う。

(1) 支援の内容

ホール・ギャラリーは使用日の7ヶ月前の属する月の1日から、研修室・学習室は使用日の4ヶ月前の属する月の1日から申込みを受付けた。

(2) 登録団体の名称及び活動内容

	登録団体名	活動内容
1	ふれあいおもちゃリサイクルの会	おもちゃの再利用や無料修理などを通じて、物を大切にする心を育み地域における子育て支援を行っている。
2	NPO法人シスターフッド大阪	DVなど暴力被害女性の支援活動を中心に男女平等、女性の自立など幅広い活動を行っている。
3	東大阪地区更生保護女性会	犯罪や非行のない明るい社会をめざし、立ち直り支援等の活動や子育て支援に関わる地域活動を行っている。
4	東大阪ぞうすいの会	アジア料理教室やバザーなどを通じて異文化への総理解を深め、ボランティア活動等で男女共同参画社会を推進している。
5	みどりの会	老人ホームへの手作り品の贈呈など、高齢者の生きがいづくりを中心にボランティア活動を実施。
6	特定非営利活動法人 東大阪日本語教室	東大阪市周辺に住んでいる外国人と市民が日本語学習の場を通じて交流を深めている。
7	共生社会 プロジェクトWe	ジェンダーに敏感な視点で社会を見つめ直し、男女共同参画社会を推進するための調査、研究等の活動を行っている。
8	東大阪子ども家庭支援Genki	「やさしい 住みやすい 社会づくり」の理念のもと子どもとその背景にある家庭の支援を行っている。
9	ココロほぐしの種まきサークル	墨遊びや筆遊びを通じ自分を見つめるなど、女性がエンパワーするための生涯学習を行っている。
10	ボランティアサークル老東大部フレンド	高齢者のための福祉を目的とした活動を中心に、男女共同参画推進のため男性の意識改革を進めている。
11	希来里PCクラブ	パソコンの技術習得を図る活動を通して得た情報や人とのつながりをよりよい男女共同参画社会の推進に向け活かしている。
12	Hobby Room 縁	絵画などを学びながら、男女共同参画社会への関心を深め、多様な生き方の気づきを得ることをめざしている。
13	With (ウィズ)	男女共同参画社会を推進する活動を通し、多くの女性たちと学びあい、共にエンパワーしていくことをめざしている。
14	マカロン	ジェンダーにとらわれない子育てをテーマに、子育てを通じて自身のジェンダー意識を問い直す活動を行っている。
15	大阪コリアン音楽交流会	音楽を通じ男女ともに活動することで、地域の文化交流、人権の尊重を学ぶネットワークづくりを推進している。

16	翔クラブ	男女が共に地域で自由にコミュニケーションを図りながら、様々な生き方、考え方を学んでいる。
17	佐藤一正絵画教室	男女を問わず絵画を学ぶことで、自己表現の楽しさを見出すと共に、技量・表現のスキルアップをめざしている。
18	社会資源開発研究会	高齢者・障がい者（児）への自立支援と介護の社会的支援に関わることで男女共同参画社会の実現に向けて活動している。
19	特定非営利活動法人 東大阪エイフボランティアネットワーク	健康で明るく住みよい地域社会の実現をめざして、女性の組織力を結集して地域の連帯を高め、広く公益に貢献している。
20	E I C	パソコンの技術習得と講師としての資質を高めるよう研鑽し、男女共同参画社会の推進に向けて活かしている。
21	くれよん	未就学児の子ども、親子を対象に子育て支援活動を行っている。
22	<< I 愛 YOU >>	My 新聞づくりを通して生き活きとした男女共同参画社会をつくるための活動を行っている。
23	手話教室 おててくらぶ	聴覚障がい者とのコミュニケーションや会話ができるように市日常会話などの手話の勉強をしている。
24	チャイルドラインひがしおおさか	「チャイルドライン」等の活動を通して、「子どもの権利」擁護活動と啓発活動を行っている。

6 イコーラム相談事業

【事業概要】

(1) 目的 イコーラムでは男女共同参画社会をめざして、ドメスティック・バイオレンス（夫・恋人からの暴力）をはじめ女性が抱えるさまざまな問題について女性による女性のための相談窓口を設置。

(2) 相談窓口（相談はすべて無料、秘密厳守）

①電話相談 匿名で相談ができる。女性相談員と一緒に考えサポートする。

火曜日～日曜日 10:00～17:00

TEL 072-960-9206

②面接相談 要予約 火曜日～日曜日 10:00～17:00

TEL 072-960-9205

心理面接相談 専門の女性相談員が自立へのサポートを行う。

火・木・土曜日 10:00～12:00 13:00～16:00

第4火曜日 10:00～12:00 13:00～16:00

18:00～20:00（第5週の相談はない）

法律相談 法律上の問題に関して女性弁護士が相談を受ける。

毎月 原則第1水曜日 13:00～16:00

1人1回 30分（予約は相談日の2週間前から受付）

労働相談 労働の問題に関して女性の社会保険労務士が相談を受ける。

毎月 原則第2土曜日 13:30～16:20

1人1回 50分

多言語相談 日常生活の慣習、労働、人間関係などについて女性相談員が外国語（英語／中国語／韓国語・朝鮮語）の女性通訳をつけて相談に応じる。

（※日本語が話せない方の予約受付は

火曜日～金曜日 10:00～17:00

TEL 06-4309-3311 国際情報プラザ（市役所内））

火曜日～日曜日 10:00～17:00

1日1人 最長3時間まで

※面接相談については一時保育（1歳6ヶ月～就学前幼児）が利用できる（有料）。

【事業内容・実績】

(1) 相談業務の実績

平成23年度（4月～翌3月）の相談総件数は1,635件（電話相談957件、面接相談678件）

＜月別電話相談件数＞

（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年度	74	85	75	71	91	105	59	116	66	68	76	74	957

＜月別面接相談件数＞（面接相談：心理面接相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H23年度	56	63	60	58	60	49	54	64	57	42	57	58	678

①相談窓口別集計

相談窓口別	H23 年度(件)	%
電話相談	957	58.5
心理面接相談	592	36.2
法律相談	78	4.8
労働相談	6	0.4
多言語相談	2	0.1
計	1,635	100

②主訴別集計 (面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計)

	H23 年度					
	電話相談		面接相談		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
生き方	58	6.1	58	8.6	116	7.1
こころ	265	27.7	56	8.3	321	19.6
からだ	18	1.9	16	2.4	34	2.1
仕事上の問題	11	1.1	21	3.1	32	2.0
夫婦関係	234	24.5	178	26.3	412	25.2
親子関係	111	11.6	178	26.3	289	17.7
人間関係	118	12.3	67	9.9	185	11.3
性・性的被害	8	0.8	7	1.0	15	0.9
暮らし	59	6.2	14	2.1	73	4.5
法律	23	2.4	83	12.2	106	6.5
その他	52	5.4	0	0.0	52	3.2
計	957	100.0	678	100.0	1,635	100.0

③主訴別のうち「夫婦関係」内訳集計 (面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計)

	H23 年度					
	電話相談		面接相談		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
性格、生活上の不和・不満	16	6.8	51	28.7	67	16.3
別居、離婚	55	23.5	15	8.4	70	17.0
性的問題	0	0.0	1	0.6	1	0.2
暴力	145	62.0	99	55.6	244	59.2
家出、蒸発	0	0.0	0	0.0	0	0.0
婚外関係	3	1.3	4	2.2	7	1.7
経済的不安、金銭問題	11	4.7	3	1.7	14	3.4
その他	4	1.7	5	2.8	9	2.2
計	234	100.0	178	100.0	412	100.0

④相談者年代別集計 （面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	H23 年度			
	電話相談		面接相談	
	件数	%	件数	%
10 代以下	3	0.3	1	0.2
20 代	40	4.2	37	5.5
30 代	156	16.3	184	27.1
40 代	364	38.0	201	29.7
50 代	93	9.7	129	19.0
60 代	90	9.4	93	13.7
70 代以上	57	6.0	32	4.7
不明	154	16.1	1	0.2
計	957	100.0	678	100.0

⑤相談における対応別集計 （面接相談：心理相談、法律相談、労働相談、多言語相談の合計）

	H23 年度			
	電話相談		面接相談	
	件数	%	件数	%
継続	0	0.0	522	77.0
傾聴	538	56.2	10	1.5
助言	173	18.1	93	13.7
機関紹介	246	25.7	53	7.8
計	957	100.0	678	100.0

(2) DV相談の実績

<年間相談件数>

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
総相談件数	957	592	78	6	2	1,635
うちDV相談(件)	220	162	38	0	1	421
DVの占める割合(%)	23.0	27.4	48.7	0.0	50.0	25.7

<月別相談件数>

(単位: 件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
4月	16	13	2	0	0	31
5月	19	6	5	0	0	30
6月	16	13	2	0	0	31
7月	26	7	2	0	0	35
8月	31	13	8	0	0	52
9月	34	12	1	0	0	47
10月	12	19	4	0	0	35
11月	17	21	3	0	0	41
12月	6	17	4	0	1	28
1月	15	14	2	0	0	31
2月	14	10	3	0	0	27
3月	14	17	2	0	0	33
計	220	162	38	0	1	421

①DV加害者の内訳

(単位: 件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
夫	196	128	34	0	1	359
内夫	3	1	1	0	0	5
元夫	21	33	3	0	0	57
恋人	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
計	220	162	38	0	1	421

②DV被害者の年齢

(単位: 件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
10代以下	0	0	0	0	0	0
20代	11	10	2	0	0	23
30代	62	62	12	0	1	137
40代	64	44	17	0	0	125
50代	19	26	5	0	0	50
60代	28	9	1	0	0	38
70代以上	8	7	1	0	0	16
不明	28	4	0	0	0	32
計	220	162	38	0	1	421

③DVの種類

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
身体的	65	25	11	0	0	101
精神的	108	111	22	0	1	242
性的	9	0	0	0	0	9
経済的	36	25	5	0	0	66
社会的	2	1	0	0	0	3
計	220	162	38	0	1	421

④DV相談経路

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
センター広報	29	4	6	0	0	39
市政だより	58	4	13	0	0	75
福祉事務所	1	2	1	0	0	4
保健センター	4	1	0	0	0	5
知人友人	14	5	2	0	0	21
電話相談	0	9	3	0	0	12
大阪府女性相談センター	2	3	3	0	0	8
警察	5	0	1	0	0	6
他機関	7	1	1	0	0	9
その他	10	5	7	0	1	23
不明	21	20	1	0	0	42
再相談	69	108	0	0	0	177
計	220	162	38	0	1	421

⑤DV相談対応状況

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
相談継続	0	118	0	0	0	118
傾聴・助言	109	18	26	0	0	153
機関紹介	111	26	12	0	1	150
法律	9	0	3	0	0	12
福祉事務所	10	1	1	0	0	12
保健センター	0	0	0	0	0	0
家庭裁判所	2	8	8	0	0	18
警察	1	1	0	0	0	2
大阪府女性相談センター	9	1	0	0	0	10
東大阪子ども家庭センター	15	2	0	0	0	18
イコーラム心理面接	28	0	0	0	0	28
イコーラム法律	28	12	0	0	0	40
イコーラム労働	0	0	0	0	0	0
イコーラム多言語	0	0	0	0	0	0
その他	9	1	0	0	0	10
計	220	162	38	0	0	421

(3) 暴力相談の実績

<年間相談件数>

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
総相談件数	957	592	78	6	2	1635
うち暴力相談（件）	75	65	4	0	0	144
暴力の占める割合（％）	7.8	11.0	5.1	0.0	0.0	8.8

<月別相談件数>

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
4月	5	4	0	0	0	9
5月	4	8	1	0	0	13
6月	4	3	0	0	0	7
7月	9	6	0	0	0	15
8月	4	4	0	0	0	8
9月	5	4	0	0	0	9
10月	6	5	0	0	0	11
11月	10	3	1	0	0	14
12月	9	8	0	0	0	17
1月	6	4	0	0	0	10
2月	3	8	1	0	0	12
3月	10	8	1	0	0	19
計	75	65	4	0	0	144

①暴力加害者の内訳

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
夫	0	0	1	0	0	1
内夫	0	0	0	0	0	0
元夫	0	0	0	0	0	0
恋人	12	4	0	0	0	16
その他	63	61	3	0	0	127
計	75	65	4	0	0	144

②暴力被害者の年齢

（単位：件）

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
10代以下	3	6	1	0	0	10
20代	10	0	0	0	0	10
30代	17	20	1	0	0	38
40代	19	26	1	0	0	46
50代	11	5	1	0	0	17
60代	6	3	0	0	0	9
70代以上	2	3	0	0	0	5
不明	7	2	0	0	0	9
計	75	65	4	0	0	144

③暴力の種類

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
身体的	12	8	1	0	0	21
精神的	50	46	2	0	0	98
性的	6	7	1	0	0	14
経済的	6	4	0	0	0	10
社会的	1	0	0	0	0	1
計	75	65	4	0	0	144

④暴力相談経路

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
センター広報	11	1	0	0	0	12
市政だより	10	0	2	0	0	12
福祉事務所	1	0	0	0	0	1
保健センター	0	1	0	0	0	1
知人友人	3	4	1	0	0	8
電話相談	0	2	1	0	0	3
大阪府女性相談センター	2	0	0	0	0	2
警察	2	0	0	0	0	2
他機関	6	0	0	0	0	6
その他	1	0	0	0	0	1
不明	10	1	0	0	0	11
再相談	29	56	0	0	0	85
計	75	65	4	0	0	144

⑤暴力相談対応状況

(単位：件)

	電話	心理面接	法律	労働	多言語	合計
相談継続	0	59	0	0	0	59
傾聴・助言	53	3	2	0	0	58
機関紹介	22	3	2	0	0	27
法律	1	0	0	0	0	1
福祉事務所	0	0	1	0	0	1
保健センター	0	0	0	0	0	0
家庭裁判所	0	0	1	0	0	1
警察	5	2	0	0	0	7
大阪府女性相談センター	0	0	0	0	0	0
東大阪子ども家庭センター	2	0	0	0	0	2
イコーラム心理面接	4	0	0	0	0	4
イコーラム法律	6	1	0	0	0	7
イコーラム労働	1	0	0	0	0	1
イコーラム多言語	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	0	0	0	3
計	75	65	4	0	0	144

平成23年度 事業実施一覧

	事業区分	連携・協働相手	会計区分	事業名称	規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	大阪府男女共同参画推進事業	大阪府(府民文化部)受託事業	情報事業	1	女性に関する情報の収集及び提供に関する事業 (ドーンセンター情報ライブラリーの運営)	火～土	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			相談事業 暴力対策事業	2	女性の抱える問題に関する相談事業 (ドーンセンターサポート・カウンセリングルームの運営/カウンセラー派遣)	火～日	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			啓発学習事業	3	男女共同参画社会の実現に資する啓発講座事業 (市町村行政職員等研修/学校関係者研修/企業研修 他)	20コマ	ドーンセンター		19,26	2,9		3,4		6,13,19,26	24			23	1,15
2	女性のキャリア形成支援事業 (女性の能力開発・ネットワーク事業)	在日米国商工会議所 (ACCJ)関西支部助成事業	能力開発事業	1	働く女性の仕事塾「はなみずきキャリア塾Ⅲ」	月1回	ドーンセンター	23	28	25	23		24	22	26	24	28	25	24
		はなみずき基金事業	能力開発事業	2	はなみずきキャリア塾:特別編 (メンタルヘルス編/リラクゼーション・ボディワーク編)	8回	ドーンセンター		14	11	9		10	8	12	10	14,15,19,28	9,11,16,25	3,10,14
		はなみずき基金事業	能力開発事業	3	はなみずきキャリア塾:ポッドキャストプロジェクト	6月以降	財団HP	26	24	28	26	23	27	28	22	27	24		
		はなみずき基金事業	能力開発事業	4	はなみずきツアー	1回	外部								7				
3	経済的に困難な女性のための 就労支援事業 (女性の能力開発・ネットワーク事業)	大阪府(商工労働部)受託事業	能力開発事業	1	母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練	2ヶ月×3コース	ドーンセンター		○	○	○	○	○	○					
		マイクロソフト株式会社助成事業	能力開発事業	2	働きづらさに悩む若い女性のためのしごと準備講座	2コマ	イコーラム							6,13					
4	女性に対する暴力対策等人材 養成支援事業	賛助会費充当事業	相談事業	1	2011フェミニストカウンセリング専門講座	理論8回 研究6回	ドーンセンター									3,17	14,24,28	4,25	10,24
		自主事業	相談事業	2	スーパービジョン講座	2回	ドーンセンター										18,24	8,21,28	
		内閣府・NWEC共催事業	相談事業	3	配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進 ワークショップ	2日間	ドーンセンター								1,2				
5	文化表現事業	はなみずき基金事業	文化表現事業	1	ドーン・シネマクラブ&イコーラム・シネマクラブ	5回	ドーンセンター イコーラム		20,21		18				28,29		4		3,4
		はなみずき基金事業	文化表現事業	2	第17回女性芸術劇場 (演劇公演「光をあつめて」/山沢栄子ポスター展/写真ワークショップ)	3日間公演 2関連事業	ドーンセンター							18,26				○	○
		自主事業	文化表現事業	3	表現ワークショップ	6コマ	イコーラム										15,29	5,12,18	
6	国際協力事業	ヒューライツ大阪・大阪府立 大学共催事業	国際交流事業	1	海外スタディツアー	5日間	外部				28	24～28		21					
		関西アメリカンセンター共催 事業	国際交流事業	2	講演会「アメリカの女性起業家に学ぶ」	1コマ	ドーンセンター												13
7	女性の健康支援事業	大阪府(健康医療部)受託事業	不妊専門相談 事業	1	不妊専門相談センター事業	電話週1回 2グループ 他	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	次世代育成事業	自主事業	広報事業	1	夏期インターンシップ・プログラム	2週間程度	ドーンセンター					8/17～9/9							
		自主事業	広報事業	2	研修・実習・職場体験等の受入れ	随時	ドーンセンター					9,12	2		11/24～12/9				○
9	販売事業	自主事業	広報事業	1	「ウィメン・パイオニアズ」DVD & ブックレット販売	随時	オンラインショップ 他				○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	広報事業	2	海外女性監督ドキュメンタリー作品等の収集・加工・販売	随時	オンラインショップ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	広報事業	3	オリジナルビデオ & DVD、ハンドブック等の販売	随時	オンラインショップ 他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	講師派遣・アウトリーチ	自主事業	広報事業	1	講師派遣・委員等応嘱・大学の講義受託	随時	外部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	NPO・市民活動支援事業 (共催事業)	劇団大阪	共催事業	1	劇団大阪40周年記念公演	4日間	ドーンセンター								17～20				
		「わたしの政経塾」企画委員会	共催事業	2	「わたしの政経塾Ⅱ」2011	12回	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		「セミナー竹中恵美子に学ぶ ～労働・社会政策・ジェン ダー」企画委員会	共催事業	3	「山川菊栄の思想と活動:姉妹よ、まずかく疑うことを覚え」	1回	ドーンセンター			17									
		北京女性会議ネットワーク関西	共催事業	4	「知ろう!使おう!活かすのは私たち:第3次男女共同参画基本計画」	1回	ドーンセンター				30								
		Weフォーラム実行委員会	共催事業	5	Weフォーラム2011 in 大阪「つながりの中で生きる力を」	2回	ドーンセンター												
		三菱UFJリサーチ&コンサル ティング株式会社	共催事業	6	構成労働省 平成23年度在宅就業者総合支援事業」	1回	ドーンセンター									29			
		大阪府立大学女性学研究セ ンター	共催事業	7	女性学研究センター日韓シンポジウム「ジェンダー研究の現在」	2回	ドーンセンター										17,18		
		NPO法人SEAN	共催事業	8	GCR@SEAN認定講座「次世代への子どもへの大人の責任力!」	2回	ドーンセンター												

平成23年度 事業実施一覧

	事業区分	連携・協働相手	会計区分	事業名称		規模等	実施場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	NPO・市民活動支援事業 (後援事業)	高齢社会をよくする女性の会・大阪	—	1	介護保険ホットライン2011・関西	3日間	ドーンセンター			23～25									
		NPO法人SEAN	—	2	第4期GCR@SEAN認定講座「次世代への子どもへの大人の責任直！」	3日間	外部					27,28							
	NPO・市民活動支援事業	自主事業	広報事業	1	ポスタープリントサービス	随時	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	東日本大震災被災者支援事業	内閣府受託事業	調査研究事業	1	東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力(集中)相談事業	2ヶ月	東北										18,19	2/8～3/28	
		自主事業	広報事業	2	被災地から関西に避難されてきた女性のためのサポート・グループ	10回	ドーンセンター						10,24	8,22	5,26	10	21	18	3
13	ドーンセンター指定管理事業	大阪府(府民文化部)受託事業	施設管理費	1	指定管理事業	通年	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		自主事業	施設管理費	2	一時保育事業	木曜・午前	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	東大阪市立男女共同参画センター指定管理事業	東大阪市受託事業	イコラム事業費	1	施設管理業務	通年	イコラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		東大阪市受託事業	イコラム事業費	2	東大阪市民催事業	通年	イコラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	財団の運営		運営費	1	理事会	第62～66回	ドーンセンター			1	15			20			13		22
			運営費	2	評議員選定委員会	1回	ドーンセンター				1								
			運営費	3	プロジェクト2011 (東日本大震災被災者支援/新法人移行)	随時	ドーンセンター他									○	○		○
			運営費	4	職員研修の実施	5コマ 2派遣	ドーンセンター他						29,30	12,20,26	1			4,5	
16	広報・PR		広報事業	1	ホームページの運営	通年	財団HP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			広報事業	2	ニュースレターの発行	年4回	ドーンセンター	1			1			1			1		
			広報事業	3	賛助会・サポーター制度運営／賛助会員の集い	通年 つどい1回	ドーンセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	28
			広報事業	4	視察の受入れ	随時	ドーンセンター		17	2	20,27		2		10	2,7,21			

§ 6 平成23年度 決算

1 財源構成

(1) 事業活動収入の内訳

資金形態	平成22年度		平成23年度	
基本財産運用収入	1,250,034	0.9%	1,250,016	0.6%
会費収入	1,246,000	0.9%	786,000	0.4%
事業収入	7,580,556	5.4%	10,311,390	5.1%
助成金収入	6,573,000	4.7%	900,000	0.4%
受託金収入	98,186,741	70.1%	154,108,989	76.7%
負担金収入	18,845,528	13.4%	26,857,749	13.4%
雑収入	101,750	0.1%	1,051,234	0.5%
寄付金収入	6,355,938	4.5%	5,638,600	2.8%
合 計	140,139,547	100.0%	200,903,978	100.0%

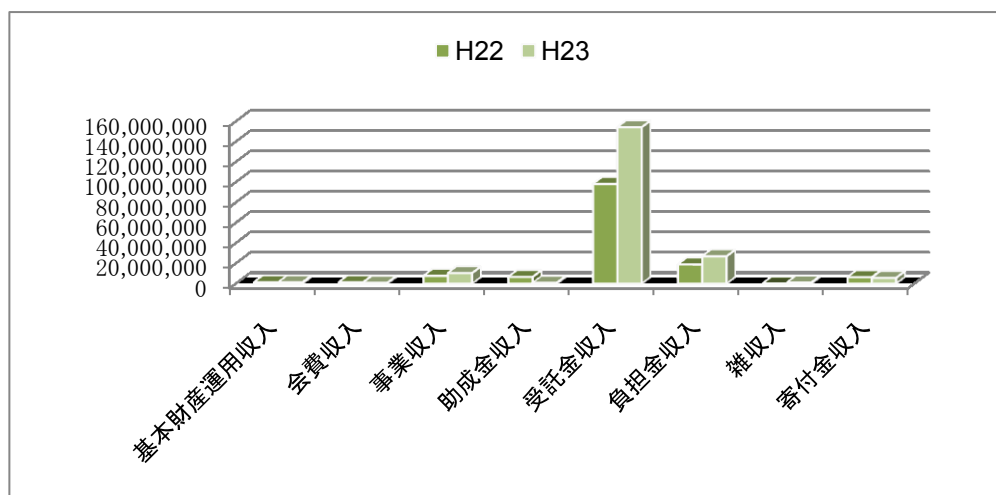
(2) 受託金の内訳

受託元	平成22年度		平成23年度	
内閣府	35,630,692	36.3%	31,822,350	20.6%
大阪府(生活文化部)	53,683,781	54.7%	53,683,781	34.8%
大阪府(健康医療部)	4,205,000	4.3%	4,012,000	2.6%
大阪府(商工労働部)	0	0.0%	5,090,858	3.3%
東大阪市	0	0.0%	59,500,000	38.6%
雇用能力開発機構	3,047,100	3.1%	0	0.0%
J I C A	1,620,168	1.6%	0	0.0%
合 計	98,186,741	100.0%	154,108,989	100.0%

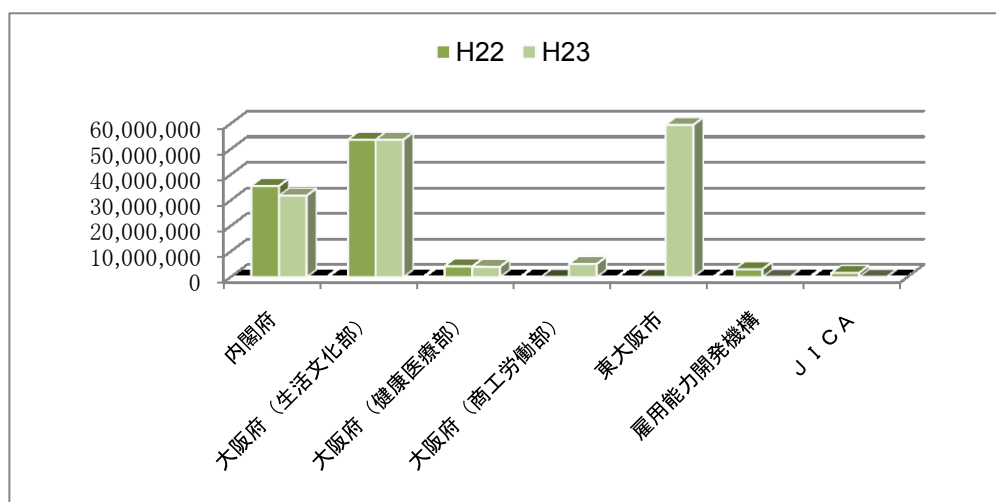
2 事業活動支出の内訳

資金形態	平成22年度		平成23年度	
財団運営費	136,179,401	63.5%	80,411,120	56.6%
施設管理費	0	0.0%	14,528,754	10.2%
事業費	78,267,243	36.5%	47,148,726	33.2%
合 計	214,446,644	100.0%	142,088,600	100.0%

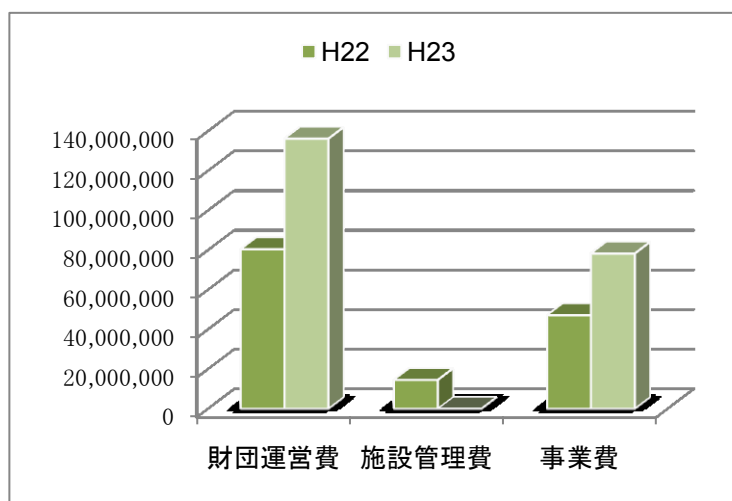
<事業活動収入の内訳>



<受託金の内訳>



<事業活動支出の内訳>



3 収支計算書 2011年4月1日～2012年3月31日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
1 基本財産運用収入	1,250,000	1,250,016	△ 16	
2 会費収入	1,000,000	786,000	214,000	
3 事業収入	11,548,000	10,311,390	1,236,610	
4 助成金収入	7,600,000	900,000	6,700,000	
5 受託金収入	162,670,000	154,108,989	8,561,011	
6 負担金収入	34,100,000	26,857,749	7,242,251	
7 雑収入	200,000	1,051,234	△ 851,234	
8 寄附金収入	5,000,000	5,638,600	△ 638,600	
事業活動収入計	223,368,000	200,903,978	22,464,022	
2 事業活動支出				
1 財団運営費	142,045,000	136,179,401	5,865,599	
2 施設管理費	4,100,000	0	4,100,000	
3 事業費	98,452,000	78,267,243	20,184,757	
事業活動支出計	244,597,000	214,446,644	30,150,356	
事業活動収支差額	△ 21,229,000	△ 13,542,666	△ 7,686,334	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
1 特定預金取崩収入	19,503,000	19,502,440	560	
2 投資活動支出				
1 特定預金支出	5,000,000	5,000,000	0	
投資活動収支差額	14,503,000	14,502,440	560	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	
2 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△6,726,000	959,774	△7,685,774	
前期繰越収支差額	66,077,000	66,076,350	650	
次期繰越収支差額	59,351,000	67,036,124	△7,685,124	

4 貸借対照表 2012年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 流動資産		1 流動負債	
現金預金	41,299,631	未払金	38,844,136
未収金	34,016,485	前受金	663,000
前払金	653,908	預り金	2,908,186
立替金	3,481,422	リース債務	1,271,340
定期預金	30,000,000	流動負債合計	43,686,662
流動資産合計	109,451,446	2 固定負債	
2 固定資産		退職給付引当金	0
(1) 基本財産	100,000,000	リース債務	2,224,845
(2) 特定資産	5,794,347	固定負債合計	2,224,845
(3) その他固定資産	3,496,185	負債合計	45,911,507
固定資産合計	109,290,532	正味財産の部	
		科 目	金 額
		1 指定正味財産	100,000,000
		大阪府補助金	100,000,000
		(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)
		2 一般正味財産	72,830,471
		(うち特定資産への充当額)	(5,794,347)
		正味財産合計	172,830,471
資産合計	218,741,978	負債及び正味財産合計	218,741,978

§ 7 平成23年度 メディア掲載一覧

1 新聞掲載

下記の事業に関する記事が掲載された。

(1) ドーン・シネマクラブ『葦牙（あしかび）～子どもが拓く未来～』関連

	月日	媒体	見出し
1	2011 年 5 月 15 日	読売新聞朝刊	虐待受けた子の成長 映画に 20、21 日大阪で上映

(2) 『Women Pioneersー女性先駆者たち』DVD&ブックレット製作関連

	月日	媒体	見出し
1	2011 年 6 月 23 日	産経新聞朝刊	わが道切り拓いた先駆者 女性 10 人の声よみがえる インタビューDVD復刻 7 月 2 日、大阪で完成披露試写会
2	2011 年 7 月 1 日	朝日新聞朝刊	女性先駆者 10 人 業績をDVD化
3	2011 年 8 月 1 日	毎日新聞朝刊	女性先駆者の姿DVDに 市川房江ら 10 人のインタビュー 大阪の研究者ら 35 年ぶり再編集

(3) 男女共同参画社会に資する啓発講座事業「心が折れない男の生き方」関連

	月日	媒体	見出し
1	2011 年 9 月 25 日	産経新聞朝刊	「心が折れない男の生き方」講座 来月に 2 回連続、参加者を募集
2	2011 年 11 月 3 日	朝日新聞朝刊	「男」を脱いでしなやかに 「心の折れない生き方」講座
3	2011 年 11 月 12 日	朝日新聞(東京本社版) 朝刊	「男の鎧」重すぎませんか 心折れて妻が救いに 過信しないで相談を

(4) 第 17 回女性芸術劇場「光をあつめて」関連

	月日	媒体	見出し
1	2012 年 1 月 16 日	産経新聞朝刊	女性写真家のパイオニア、山沢栄子ポスター展
2	2012 年 2 月 10 日	日経新聞朝刊	文化往来 男女格差是正の舞台、補助金に頼らず 17 回目
3	2012 年 2 月 23 日	読売新聞朝刊	日本女性写真家の先駆者 山沢栄子さん足跡たどる
4	2012 年 2 月 29 日	毎日新聞朝刊	女性写真家のパイオニア 山沢栄子作品展 大阪
5	2012 年 3 月 14 日	朝日新聞夕刊	写真家・山沢栄子の歩み 舞台化

(5) 内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業」関連

	月日	媒体	見出し
1	2012 年 2 月 5 日	三陸新報	心のホットライン開設 気仙沼市
2	2012 年 2 月 10 日	岩手日報	被災地女性の相談強化 家庭激変で深刻な事例 内閣府、12 日から大船渡にも拠点開設 抱える悩み、問題解決支援 気軽に電話や窓口へ
3	2012 年 2 月 18 日	三陸新報	話してみませんか 女性の悩み暴力相談 気仙沼に専門員設置
4	2012 年 2 月 28 日	朝日新聞朝刊	家庭の悩み抱え込む 失業に焦る夫 DV相談多数 放射能で母子避難 離婚危機 気持ちはき出せる場所 各地に

§ 8 參考資料

財団法人大阪府男女共同参画推進財団 設立趣意書

1975 年の「国際婦人年」及びこれに続く「国連婦人の 10 年」を契機として、世界各国では、女性の地位向上や女性に対するあらゆる差別の撤廃に向けての取り組みが積極的に進められてきました。

我が国においても、男女雇用機会均等法の制定をはじめ国内関係法の整備を行い、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を批准するとともに、新国内行動計画を策定し、女性関係施策を推進しております。

大阪府においても第 1 期、第 2 期行動計画に続き、平成 3 年 9 月には第 3 期行動計画「女と男のジャンプ・プラン」を策定し、知事を本部長とする大阪府女性政策企画推進本部のもとに女性問題の解決を図るための施策を積極的に推進しております。

大阪が地球時代にふさわしく、人間と自然の調和を保ち、かつ文化の薫り高い国際都市へ発展していくためには、男女が共に人間として尊重され、性差にとらわれることなく、豊かな人間関係のなかで、人生のあらゆる段階で支えあうことのできる社会、即ち、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加・参画に基づく男女協働社会を実現することが不可欠であります。

しかしながら、男女の固定的な役割分担意識はまだ根強く、男女の自立及びあらゆる分野への対等な参加・参画を不十分なものとしています。また、近年における高齢化、情報化、国際化等の急激な進展により、女性問題に係る新たな課題が生じてきております。

男女協働による真に豊かな社会を実現するためには、行政の力だけで達成できるものではなく、民間においても女性問題の解決に向けて社会的な気運の醸成を図るとともに、企業、民間団体さらには府民一人ひとりが知恵と創意を発揮して積極的な活動を展開することが重要です。

財団法人大阪府男女共同参画推進財団は、そうした行政並びに府民、民間団体等が連携した多様な活動を効果的に推進するために中心的な役割を果たすとともに、男女の自立とあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進するため、情報の収集及び提供に関する事業、能力開発に関する事業、女性の抱える問題に関する相談事業、女性の交流の促進並びに文化及び表現活動の支援に関する事業、調査研究及び啓発学習に関する事業、女性の健康に関する事業及びドーンセンターの管理運営を行うこと等により、男女協働社会の実現に寄与することを目的として設立するものであります。

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、財団法人大阪府男女共同参画推進財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を大阪市中央区大手前1丁目3番49号に置く。

(目的)

第3条 この法人は、男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進する事業を行い、もって男女共同参画社会の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 女性に関する情報の収集及び提供に関する事業
- (2) 女性の能力開発に関する事業
- (3) 女性の抱える問題に関する相談事業
- (4) 女性の交流の促進並びに文化及び表現活動の支援に関する事業
- (5) 男女の自立並びにあらゆる分野への対等な参加及び参画を促進するための調査研究及び啓発学習に関する事業
- (6) 女性の健康に関する事業
- (7) 前各号に掲げる事業及び施設の管理運営の受託に関する事業
- (8) 前7号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

第2章 資産、会計及び事業計画

(資産の構成)

第5条 この法人の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 寄附金品
- (3) 資産から生ずる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) その他の収入

(資産の種別)

第6条 資産は、基本財産及び運用財産の2種とする。

- 2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。
 - (1) 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産
 - (2) 基本財産とすることを指定して寄附された財産
 - (3) 理事会において運用財産から基本財産に繰り入れることを議決した財産
- 3 運用財産は、基本財産以外の財産とする。

(資産の管理)

第7条 資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

- 2 基本財産のうち現金は、郵便官署若しくは確実な金融機関に預け入れ、信託会社に信託し、又は国債、公債その他確実な有価証券に換えて保管しなければならない。

(基本財産の処分の制限)

第8条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供することができない。ただし、この法人の事業遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会において、理事数の4分の3以上の同意を得、かつ、大阪府知事の承認を得て、その一部を処分し、又はその全部若しくは一部を担保に供することができる。

(退職積立金の処分の制限)

第9条 大阪府補助金による退職積立金については、別に定める職員の退職金に充当する以外、これを処分し、又は担保に供することができない。

なお、上記職員の退職金に充当するための取崩しについては理事会の議決を得るものとする。

(経費の支弁)

第10条 この法人の経費は、運用財産をもって支弁する。

(事業計画及び予算)

第11条 この法人の事業計画及び予算は、理事長が作成し、毎会計年度開始前に理事会の議決を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。

(暫定予算)

第12条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

- 2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第13条 理事長は、毎会計年度終了後3カ月以内に、事業状況報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録等を作成し、監事の監査を経て、理事会の承認を得なければならない。

（長期借入金）

第 14 条 この法人が資金の借入れをしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、理事会において理事数の 3 分の 2 以上の同意を得、かつ、大阪府知事の承認を得なければならない。

（会計年度）

第 15 条 この法人の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第 3 章 役員

（種別）

第 16 条 この法人に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 理事 5 名以上 15 名以下
うち理事長 1 名。なお、必要のあるときは専務理事を置くことができる。
- (2) 監事 2 名

（選任）

第 17 条 理事及び監事は、理事会において選任する。

- 2 理事長は、理事の互選により定める。
- 3 専務理事は、理事会の同意を得て理事長が指名する。
- 4 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。
- 5 理事のいずれか 1 名とその親族その他の特別の関係にある者の合計数は、理事数の 3 分の 1 を超えてはならない。
- 6 監事は、相互に親族その他の特別の関係にある者であってはならない。

（職務）

第 18 条 理事長は、この法人を代表し、業務を統括する。

- 2 専務理事は、理事長を補佐し、日常の業務を処理し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、業務を議決し、執行する。
- 4 監事は、次の職務を行う。
 - (1) 法人の財産の状況を監査すること。
 - (2) 理事の業務執行の状況を監査すること。
 - (3) 財産の状況又は業務の執行について不正の事実を発見したときは、これを理事会及び大阪府知事に報告すること。
 - (4) 前号の報告をするため必要があるときは、理事会を招集すること。

（任期）

第 19 条 役員の任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

- 3 役員は、辞任又は任期満了の後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(解任)

第 20 条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会において、理事数の 4 分の 3 以上の議決により、これを解任することができる。ただし、理事会において、その役員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったと認められるとき。

(報酬等)

第 21 条 役員は、無給とする。ただし、常勤及び理事会が定める非常勤の役員は、有給とすることができる。

- 2 役員には費用を弁償することができる。
- 3 前 2 項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が定める。

第 4 章 理事会

(構成)

第 22 条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第 23 条 理事会は、この寄附行為で別に定めるもののほか、この法人の運営に関する重要な事項を議決する。

(種類及び開催)

第 24 条 理事会は、通常理事会と臨時理事会の 2 種とする。

- 2 通常理事会は、毎年 2 回開催する。
- 3 臨時理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。
 - (1) 理事長が必要と認めたとき。
 - (2) 理事数の 3 分の 1 以上の理事から会議の目的を記載した書面によって開催の請求があったとき。
 - (3) 監事が第 17 条第 4 項第 4 号の規定により、召集したとき。

(招集)

第 25 条 理事会は、理事長が招集する。ただし、前条第 3 項第 3 号の規定による場合は、監事が招集する。

- 2 理事長は、前条第 3 項第 2 号の規定による請求があったときは、その日から 14 日以内に臨時理事会を招集しなければならない。

- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。

(議長)

第26条 理事会の議長は、理事長が当たる。

(定足数)

第27条 理事会は、理事数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 理事会の議事は、この寄附行為で別に定めるもののほか、出席した理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(書面表決等)

第29条 やむを得ない理由のため、理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の理事を代理人として表決を委任することができる。

2 前項の場合における前2条の規定の適用については、その理事は出席したものとみなす。

(議事録)

第30条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成し、これを保存しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 理事数

(3) 出席した理事の数及び氏名（書面表決者及び表決委任者については、その旨を付記すること。）

(4) 審議事項及び議決事項

(5) 議事の経過の概要及びその結果

(6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、その会議において出席した理事の中から選任された議事録署名人2人以上が、議長と共に署名押印しなければならない。

第5章 委員等

(設置)

第31条 本財団に、第4条に定める事業の円滑な促進を図るため、必要に応じ、委員を置き、又は委員会を設置することができる。

2 委員の選任、委員会の設置、運営その他必要な事項は、理事会の同意を得て、理事長が別に定める。

第6章 事務局

(設置)

第32条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。

3 事務局の職員は、理事長が任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

(書類及び帳簿の備付け)

第33条 事務所には、次に掲げる帳簿及び書類を常に備えておかなければならない。

- (1) 寄附行為
- (2) 理事、監事及び職員の名簿及び履歴書
- (3) 許可、認可等及び登記に関する書類
- (4) 寄附行為に定める機関の議事に関する書類
- (5) 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類
- (6) 資産、負債及び正味財産の状況を示す書類
- (7) その他必要な帳簿及び書類

第7章 寄附行為の変更及び解散

(寄附行為の変更)

第34条 この寄附行為は、理事会において理事数の4分の3以上の同意を得、かつ、大阪府知事の認可を得なければ変更することができない。

(解散)

第35条 この法人は、民法第68条第1項第2号から第4号までの規定によるほか、理事会において、理事数の4分の3以上の同意を得、大阪府知事の承認のあったとき解散する。

(残余財産の処分)

第36条 解散後の残余財産は、理事会の議決を経て、大阪府知事の許可を得、この法人と類似の目的を有する公益法人又は大阪府に寄附するものとする。

第8章 雑則

(委任)

第37条 この寄附行為の施行について必要な事項は、寄附行為に定めるほか、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附 則

- 1 この寄附行為は、この法人の設立許可のあった日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、第 16 条第 1 項から第 3 項までの規定にかかわらず、設立者の定めるところとし、その任期は、第 18 条第 1 項の規定にかかわらず、平成 8 年 3 月 31 日までとする。
- 3 この法人の設立初年度の事業計画及び予算は、第 10 条の規定にかかわらず、設立者の定めるところによる。
- 4 この法人の設立初年度の会計年度は、第 14 条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から平成 7 年 3 月 31 日までとする。

附 則

(施行期日)

この寄附行為は、平成 6 年 9 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この寄附行為は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この寄附行為は、平成 22 年 1 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この寄附行為は、平成 22 年 3 月 11 日から施行する。

財団法人大阪府男女共同参画推進財団のあゆみ

平成 6 年度	4. 1	財団法人大阪府男女協働社会づくり財団設立 (理事長：谷川秀善 事務所：大阪府立婦人会館内)
	5. 11	第 1 回理事会開催
	6. 18	財団設立記念イベント（ウィメンズフォーラム）の開催
	6. 20	第 2 回理事会開催（理事長に吉沢健就任）
	7. 29	ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）竣工
	8. 8	大阪府から財団へ施設引き継ぎ
	8. 29	財団事務所移転（ドーンセンター内）
	10. 27	第 1 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 7	開館記念式典
	11. 11	オープニングイベント開催（～11. 13）
	11. 26	大阪国際女性フォーラム開催（～11. 27）
	2. 27	第 2 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 17	第 3 回理事会開催
平成 7 年度	6. 29	第 4 回理事会開催
	7. 17	第 3 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 10	ドーンフェスティバル（1 周年事業）の開催（～11. 12）
	11. 30	第 4 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2. 29	第 5 回ドーンセンター運営推進委員会開催
平成 8 年度	3. 28	第 5 回理事会開催
	6. 21	第 6 回理事会開催
	7. 15	第 6 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 8	ドーンフェスティバルの開催（～11. 10）
	12. 16	第 7 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	ドーンセンター来館者 1 0 0 万人突破
	2. 24	第 8 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第 7 回理事会開催
平成 9 年度	6. 24	第 8 回理事会開催
	7. 16	第 9 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	7. 31	第 9 回理事会開催
	10. 21	第 1 0 回理事会開催（理事長に松廣屋慎二就任）
	10. 27	ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
	10. 28	ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
	11. 7	ドーンフェスティバルの開催（～11. 8）
	12. 26	第 1 1 回理事会開催
	2. 23	第 1 0 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第 1 2 回理事会開催
平成 1 0 年度	4. 16	第 1 3 回理事会開催

	6. 26	第 1 4 回理事会開催
	7. 24	第 1 1 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 6	ドーンフェスティバルの開催（～11. 7）
	12. 8	第 1 2 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2. 26	第 1 3 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 18	第 1 5 回理事会開催
平成 1 1 年度	5. 1	第 1 6 回理事会開催
	6. 21	第 1 7 回理事会開催
	7. 16	第 1 4 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	8. 31	第 1 8 回理事会開催（理事長に木村良樹就任）
	10. 4	ドーンセンター運営推進委員会施設運営部会開催
	10. 7	ドーンセンター運営推進委員会事業推進部会開催
	11. 11	ドーンフェスティバル（女性センターフォーラム）の開催（～11. 11）
	2. 24	第 1 5 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 31	第 1 9 回理事会開催
平成 1 2 年度	4. 23	平成 1 2 年「女性週間全国会議」開催（～4. 24）
	5. 2	第 2 0 回理事会開催
	6. 26	第 2 1 回理事会開催
	7. 3	第 1 6 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	8. 31	第 2 2 回理事会開催（理事長に梶本徳彦就任）
	9. 26	第 2 3 回理事会開催
	11. 9	ドーンフェスティバル（男女共同参画フォーラム）の開催（～11. 10）
	11. 21	第 1 7 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 1	第 2 4 回理事会開催
	2. 17	ドーンフェスティバル（2 1 世紀へ夢描くグループフェスタ 2001）の開催
	2. 26	第 1 8 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 29	第 2 5 回理事会開催
平成 1 3 年度	5. 7	第 2 6 回理事会開催
	5. 24	第 1 9 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	6. 29	第 2 7 回理事会開催
	8. 17	第 2 0 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 30	第 2 1 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 8	第 2 2 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 9	ドーンフェスティバル 2 0 0 2 の開催
	3. 28	第 2 8 回理事会開催
平成 1 4 年度	4. 24	第 2 9 回理事会開催（理事長に山登敏男就任）
	6. 25	第 3 0 回理事会開催（財団名称の変更の承認）
	7. 30	第 2 3 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 27	第 2 4 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	2. 21	第 2 5 回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 26	第 3 1 回理事会開催

	3. 29	ドーンフェスティバル2003の開催
平成15年度	4. 1	財団名称を財団法人大阪府男女共同参画推進財団に変更
	4. 23	第32回理事会開催
	6. 6	ドーンセンター来館者400万人突破
	6. 26	第33回理事会開催
	7. 25	第26回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	第27回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 5	第28回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 26	第34回理事会開催（財団「新・10年プラン」策定）
平成16年度	4. 1	理事長に時岡禎一郎就任
	4. 1	NPOとの協働専門委員会設置
	4. 20	第35回理事会開催
	6. 23	第29回ドーンセンター運営推進委員会開催
	6. 29	第36回理事会開催
	11. 12	女性エンパワメントフォーラム2004（ドーンセンター10周年記念事業） の開催（～11. 13）
	12. 3	第30回ドーンセンター運営推進委員会開催
	1. 1	ドーンセンター運営推進委員会利用者団体登録審査部会設置
	3. 4	第31回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 24	第37回理事会開催
平成17年度	4. 22	第38回理事会開催
	6. 28	第39回理事会開催
	7. 1	第32回ドーンセンター運営推進委員会開催
	11. 11	第40回理事会開催
	12. 9	第33回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 10	第34回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 24	第41回理事会開催
	3. 28	「ドーン利用促進事業共同体」が大阪府から指定管理者に指定
平成18年度	4. 1	「ドーン利用促進事業共同体」が指定管理業務開始
	6. 23	第42回理事会開催
	6. 30	第35回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 15	第36回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 19	第43回理事会開催（「事業・NPO協働評価委員会」の設置）
	3. 13	第37回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 20	第44回理事会開催（財団「中期経営計画」策定）
平成19年度	4. 1	ドーンセンター事業・NPO協働評価委員会の設置
	6. 27	第45回理事会開催
	7. 6	第38回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12. 21	第39回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 18	第40回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3. 28	第46回理事会開催

平成20年度	4.18	第47回理事会開催
	6.24	第48回理事会開催
	7.25	第49回理事会開催
	8.1	第41回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.19	第42回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.24	第50回理事会開催（「第一次自立化プラン」策定）
	3.25	第43回ドーンセンター運営推進委員会開催
平成21年度	4.24	第51回理事会開催
	6.19	第52回理事会開催
	7.3	第44回ドーンセンター運営推進委員会開催
	12.3	第53回理事会開催
	2.19	第54回理事会開催
	3.11	第55回理事会開催
	3.19	第45回ドーンセンター運営推進委員会開催
	3.30	第56回理事会開催（「第二次自立化プラン」策定）
平成22年度	4.1	財団「自立化」スタート
	6.18	第57回理事会開催
	9.17	第58回理事会開催
	1.9	配偶者暴力等被害者支援緊急対策事業（パープルダイヤルー性暴力・DV 電話相談―）事業落札（2/8～3/27）
	1.11	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理者に指定
	1.14	第59回理事会開催
	2.16	第60回理事会開催（一般財団法人への移行方針承認）
	3.16	「ドーン運営共同体」が大阪府からドーンセンター指定管理者に指定
平成23年度	3.23	第61回理事会開催（「第二次自立化プラン（改定版）」策定）
	4.1	東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）指定管理業務開始 「ドーン運営共同体」が指定管理業務開始
	6.1	第62回理事会開催
	7.1	評議員選定委員会の開催
	7.15	第63回理事会開催
	10.20	第64回理事会開催
	12.20	東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業落札
	1.13	第65回理事会開催
平成24年度	3.21	平成24年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業落札
	3.22	第66回理事会開催
	4.1	一般財団法人に移行

一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団

〒540-0008 大阪府中央区大手前 1-3-49
ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

事務局

総務担当	TEL 06-6910-8625	FAX 06-6910-8624
事業担当	TEL 06-6910-8615	
情報担当	TEL 06-6910-8616	
相談担当	TEL 06-6910-8588	

URL <http://www.ogef.jp/> 発行：平成24年6月

頒布価格 500円